

2020 no.2

RADIOLOGICAL SAITAMA



[誌上講座]・検診施設にて思う

Digital Breast Tomosynthesis

・第5回診療放射線技師 BRT セミナー〈メインテーマ 救急〉
若手セミナー抄録集

[総会資料]・第9回定期総会資料

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Saitama Association of Radiological Technologists
<http://www.sart.jp>
E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

CONTENTS

2020/5
MAY
VOL.68

誌上講座

- 「検診施設にて思う Digital Breast Tomosynthesis」
慶應義塾大学病院 放射線技術室 予防医療センター
根本 道子 ————— 11
- 第5回診療放射線技師 BRT セミナー〈メインテーマ 救急〉 ————— 16
- 「心電図を学ぼう」
～胸痛患者の心電図異常～
春日部市立医療センター 中央診療部 放射線科 中嶋 幸孝 ————— 17
- 「3次救急症例から学んだ画像診断」
～外傷初期診療を中心に～
さいたま赤十字病院 田中 里奈 ————— 23
- 「外傷診療における診療放射線技師の役割」
～外傷診療に対して何を考えるべきか～
国立病院機構 災害医療センター 萩原 健司 ————— 27

技術解説

- 「医療放射線情報一元管理システム—Radimetrics—」
バイエル薬品株式会社 ラジオロジー事業部 山内 宏祥 ————— 34

総会資料

第9回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

- 第9回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会 ————— 36
- 2019年度事業報告(案) ————— 37
- 2019年度(公社)埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項 ————— 52
- 2020年度事業計画(案) 学校教育の中での活躍 ————— 54
- 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款 ————— 56
- 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程 ————— 61
- 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 ————— 71
- 2020年度当初予算 ————— 72

巻頭言

- 第9回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏 ————— 1

会告

- 第9回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
定期総会のお知らせ ————— 2

お知らせ

- (公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を
診療放射線技師が会員価格で受講ができます。 ————— 3
- 埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内 ————— 4
- 賛助会員さまへのお知らせ ————— 5
- 第36回日本診療放射線技師学術大会(宮城県開催) ————— 7
- 「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」 ————— 8

本会の動き

- 2019年度受賞者 ————— 74
- 『瑞宝雙光章』を受章して ————— 75
- 2019年度第18回胸部認定試験開催報告 ————— 76
- 2019年度 第11回CT認定講習会 開催報告 ————— 77
- 第2回 SART学術ナイトセミナー ————— 78
- 第18回 上部消化管検査認定講習会 開催報告 ————— 79
- 乳腺セミナー ～腫瘤編～ 開催報告 ————— 80

各支部勉強会情報

- 各支部勉強会情報 ————— 81

各支部掲示板

- 第一支部 ————— 82
- 第三支部 ————— 83
- 第六支部 ————— 85

求人コーナー

- 求人コーナー ————— 87
- 求人広告掲載申し込みFAX用紙 ————— 88

議事録

- 2019年度 第4回常務理事会議事録(抄) ————— 89
- 2019年度 第6回理事会議事録 ————— 91
- 2019年度 第7回理事会議事録(抄) ————— 96

会員の動向

- 会員の動向(2020年2月18日現在) ————— 101

役員名簿

- 2019・2020年度役員名簿 ————— 102

- 正会員入会申込書 ————— 104
- 退会届 ————— 106
- 会員異動届 ————— 107
- 年間スケジュール ————— 108
- 編集後記

新人技師の皆さまへ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



このたびは、診療放射線技師国家試験合格おめでとうございます。

医師・歯科医師・診療放射線技師・看護師などの資格は、国家試験合格し登録と同時にその身分が与えられる。つまり病院や診療所に属さないフリーの技師としても診療放射線技師業務が可能となる。それに対し、弁護士・税理士・司法書士・行政書士などの士業（サムライ業）は国家試験に合格したのち、職能団体に登録する必要がある。弁護士であれば日本弁護士連合会、行政書士であれば日本行政書士連合会などがあり、登録には数十万円という費用がかかるが、未登録でその職種を名乗ると罰金刑になる可能性もある。士業として独立して行うためには必ず職能団体に加入しなければならないし、何らかの理由で適性を欠く者は登録を拒否される可能性がある。実は、私も平成3年に行政書士国家試験に合格しているが、日本行政書士連合会に登録していないので正式には行政書士ではないし名乗ることは違法となる。診療放射線技師免許を得た皆さまは、免許を得た時点で私たちの仲間となったのである。さらには良くも悪くもマスコミで報道されるときには「診療放射線技師」と表示されることになる。

診療放射線技師を目指した理由はさまざまであると思うが、技師会の会長という立場でお願いをさせていただくのであれば、ぜひ、日本診療放射線技師会および各都道府県技師

会に加入していただきたいと願う。技師会は国民や県民のために私たちに何ができるかを考え、実現していく団体である。社会や世の中が変わるにはそれなりに時間がかかる。しかし、小さなこと、大きなことをあきらめないで「国民の公衆衛生の向上および国民保健の維持発展」に向かってさまざまな企画を行っている。そのために、個々の診療放射線技師が研鑽するだけではなく、行政や立法にさまざまな手段で働き掛けている。診療放射線技師として働き掛けができるのは学会ではなく、職能団体である技師会だけである。

先輩診療放射線技師としてアドバイスさせていただくとすれば、診療放射線技師としての専門知識だけでなく医療全般の幅広い知識を有していただきたい。それは診療放射線技師の前に医療人であるからである。また院内の組織だけでなく、外部の組織に属しその運営に携わっていただきたい。そこには組織や個々のメンバーに目的があり、企画を立案して実行していく。そのために喧々諤々の議論をするだけでなく、意見の違う者たちと協調し、実現していくというプロセスを学ぶことができる。どんな正論を唱えても、協調性がなければ目的は達することはできない。人は一人では生きていくことはできないし、自分一人ですることは極めて限られている。そこで学んだことは職場においても必ず役に立つ。身近な組織でいえば、研究会などである。

カッコイイ社会人、医療人、診療放射線技師になっていただきたい。

第 9 回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏

日 時：2020年6月14日（日） 14：00 から 15：40

総会会場：埼玉会館 4階 会議室

〒330-0063 浦和区高砂 3-1-4 (TEL) 048-829-2471

記

- 第1号議案 2019年度 事業報告（案）
- 第2号議案 2019年度 決算報告（案）
- 第3号議案 2019年度 監査報告
- 第4号議案 名誉会員の承認
- 第5号議案 その他
- 2019年度 補正予算 報告
- 2020年度 事業計画・予算 報告

新型コロナウイルス感染症の感染予防および飛散防止の観点から、会員の皆さまの健康と安全を第一に考え、可能な限り委任状提出による出席をお願い致します。

ご理解とご協力を重ねてお願い致します。

なお、ご意見・ご質問などはメールにてご連絡ください。

*総会資料につきましては会誌5号、決算関係はHPをご覧ください。

【問い合わせ先】

（公社）埼玉県診療放射線技師会 常務理事 結城朋子 t-yuuki@sart.jp

（公社）埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を診療放射線技師が 会員価格で受講ができます。

このたび、職能団体のチーム医療を目的として、（公社）埼玉県診療放射線技師会と（公社）埼玉県臨床検査技師会で、お互いが企画する講習会を会員価格で受講することができる取り決めを行いましたのでお知らせ致します。

これまで職能団体の役員同士の交流はありましたが、会員同士の交流の機会はあまりありませんでした。最近では、診療放射線技師が心電図や血液データなどに興味を持ち、臨床検査技師の方が画像に興味を持っていると聞きます。そこでお互いの会員レベルの学術的交流を目的として企画致しました。

今後は、他職種との学術的な交流を深めるきっかけになればと考えております。

埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内

当会では、イベントや勉強会情報があるときに、不定期でメールマガジンを配信しております。登録数は徐々に増えてきておりますが、まだまだ少ない状況です。

そこで、今回このようなページを企画致しました。ご覧の皆さまには、ぜひ当会ホームページよりメールマガジンにご登録いただけますようお願い申し上げます（お名前とメールアドレスだけで登録できます）。

以下、No93で配信したメールマガジンの例です。多くの皆さまの登録をお待ちしております。

【埼放技メールマガジン】No.93

▼編集情報委員会からのお知らせ▼

埼放技メールマガジンのご利用ありがとうございます。
学術案内などの日程を埼玉県診療放射線技師会 HP に掲載しております。

<http://www.sart.jp/>

第35回日本診療放射線技師学術大会（埼玉県開催）

開催日：2019年9月14日（土）から16日（月・祝）

会場：大宮ソニックシティ

◆…【近日開催イベント・お知らせのご案内】…◆

平成31年4月16日（火）締め切り 告示（2019・2020年度 役員選挙について）

【支部】<http://www.sart.jp/radiotech/branch/> からお進みください。

平成31年1月24日（木）第四支部勉強会のお知らせ

平成31年1月24日（木）第五支部情報交換会のお知らせ

【学術案内】<http://www.sart.jp/radiotech/information/> からお進みください。

平成31年1月25日（金）第1回 SART 学術ナイトセミナー～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～

平成31年1月26日（土）平成30年度胸部認定試験開催のお知らせ

平成31年1月26日（土）第6回サイコメ実臨床セミナー「災害医療」一緒に学びませんか！

平成31年2月2日（土）第29回埼玉県大腸がん検診セミナー

平成31年2月2日（土）地元開催の全国大会で研究成果を発表しよう～研究発表支援セミナー～

平成31年2月9日（土）日本放射線公衆安全学会 第28回講習会 プログラム

改正 RI 法における医療現場の対応の最終準備

平成31年2月15日（金）第43回 SAITAMA MRI Conference ご案内

平成31年2月22日（金）第75回 埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内

平成31年2月24日（日）平成30年度 SART TART 支部合同勉強会 骨軟部撮影セミナー 2019

【埼放技メールマガジン】

アドレスの変更・削除などは、以下のアドレスへご連絡ください。mail_magazine2007@sart.jp

賛助会員さまへのお知らせ

編集情報委員会常務理事
八木沢 英樹

会誌「埼玉放射線」への“技術解説・広告”のご依頼

日ごろから埼玉県診療放射線技師会へのご支援・ご協力ありがとうございます。
“2020年度賛助会員様”の特典の1つに、会誌「埼玉放射線」に技術解説・広告掲載があります。
会誌掲載投稿のお願いを申し上げます。詳細については以下に記します。

掲載内容：技術解説（製品紹介）A4 3頁+広告A4 1頁 = 計 4頁
会誌「埼玉放射線」発行月：1月・5月・7月・10月となります。

原稿締め切り：発行月1ヶ月前の第1月曜日までに電子メールでお送りください。
なお、掲載希望月は賛助会員さまでお決めいただき、あらかじめ電子メールにてお知らせください。
また、1企業さまにつき年度内に1回の掲載とさせていただきます。
(2020年7月・10月・2021年1月・5月発行月までに1回)

原稿詳細：以下に示します。

企画書および執筆要綱

埼玉放射線「技術解説（製品紹介）」

企画協力：(公社)埼玉県診療放射線技師会 会誌「埼玉放射線」

企画意図

急速に進歩する医療業界においては、常に最新機器や医薬品・放射線被ばくの観点から、施設や線量測定技術などの情報や、今後の動向を探ることが重要である。広い視野を持った業務遂行、被ばくに関する説明など、今後における業務の一助となることを目的とする。

対象読者

「埼玉放射線」の読者である(公社)埼玉県診療放射線技師会の会員(診療放射線技師)および、「埼玉放射線」の配布先関係者(発行部数1450部)。

＜執筆要項＞

【執筆者】 当会、賛助会員企業さま

1、本文「技術解説」A4 3頁

【本文】

- ・でき上がり（図表画像データ含む）
◇左段 22 字× 29 行 右段 22 字× 34 行（1386 字 / 頁）

【図表・画像データ】

- ・でき上がり
◇本文約 200 字程度で換算をしてください。
◇2 段組の片側 10 行分を想定しております。
◇大きな図表の場合は、600 字程度（段抜き 15 行程度）。

【その他】

- ・納品は、MS-Word の雛形に展開し、電子メールでお願い致します。
- ・可能であれば会社のロゴをお願い致します。
◇会社のロゴは、広告原稿と別に取り扱いを致します。
◇会社のロゴは、初頁 2 段組の片側 5 行分を想定しております。

【注意事項】

- ・技術的内容を含めてご執筆ください。自社製品の特徴など、宣伝を伴った文言を用いても構いませんが、他社との比較を行う場合は、技術的な論拠に基づき、客観的な内容としてください。
- ・商品名や型番は、本文内に表記してください。
- ・編集構成の都合上、体裁に関しましては、お任せください。
- ・入稿後に編集を行い、印刷原稿が組み上がった時点で、電子著者校正をお願い致します。
- ・図表・広告を含め、全て白黒印刷となります。

2、広告 A4 1頁

本企画では、執筆料のお支払いなどはございません。ただし、A4 版 1 頁の広告スペースを無償にて提供致します（通常スポット広告 A4 版 1 頁で 2 万円）。

広告原稿としては、「埼玉放射線」掲載上、違和感のない製品紹介を中心とした内容（一般的な商業誌に掲載するものと同様の広告を想定）とし、特定イベント案内などの広告は、ご遠慮ください。

【問い合わせ・納品先】（公社）埼玉県診療放射線技師会 編集情報委員会 八木沢 英樹

勤務先：JCHO 埼玉メディカルセンター 放射線科

E-mail：h-yagisawa@sart.jp TEL：048-832-4951



第36回 The 36th Japan Conference of Radiological Technologist (JCRT)

日本診療放射線技師学術大会 In Sendai

国民と共にチーム医療を推進しよう
Let's promote team medical care with the nation

人と技術をつなぐ令和の未来へ
To the future of Reiwa connecting people and technology

会期
Date

2020年
10月23日(金) 25日(日)

会場
Venue

仙台国際センター

会長
President

中澤 靖夫 *Yasuo Nakazawa*
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長
Chairman

立花 茂 *Shigeru Tachibana*
公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

- 主催 公益社団法人 日本診療放射線技師会
- 共催 公益社団法人 宮城県放射線技師会
- 後援 厚生労働省 (予定)
宮城県 (予定)
仙台市 (予定)

運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL: 022(388)3777 FAX: 022(388)3778

「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」

編集情報委員会
常務理事 八木沢 英樹

本会会員は、専用アカウント（ID / PW）を用いてメディカルオンライン無料閲覧サービスを受けることができるようになりました。

※メディカルオンライン（Medical Online）とは、医学論文をダウンロード提供する医療の総合ウェブサイト。医学文献の検索全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する、会員制の医学・医療の総合サイト。

サービスの内容：メディカルオンラインに掲載の本会誌「埼玉放射線」（全文・アブストラクト）、および他学会誌アブストラクトを無料で閲覧・検索することができます。

2020年度アカウントについて
<～2021年3月末日まで有効>

学会様専用 ID：1100007180-05
パスワード：7m9426sn

雑誌名：埼玉放射線

雑誌 URL：http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ew2saita

貴会雑誌 URL をクリックしますと、機関誌アーカイブ画面へ遷移します。

画面右側の会員認証欄に上記 ID/PW ご入力後、機関誌の閲覧が可能となります。

（添付：学会誌閲覧方法.pdf ご参照）

*重要 アカウントの更新・移行期間に関して

専用アカウントは、1個発行し、年度毎（4月～3月）で変更致します。

今回は、2021年2月上旬に新アカウントを事務局さま（本 Mail アドレス）へご案内致します。

*メディカルオンラインでの検索は自由、アブストラクトは全誌閲覧可能です。

なお、埼玉放射線以外で全文ダウンロードボタンを押すと

「あなたは文献をダウンロードする権限がありません」と表示されます。

あらかじめご承知願います。

*メディカルオンラインご利用に際してのお願い

一定時間内に論文を大量にダウンロードする事は、会員規約で禁止事項としています。

◆メディカルオンライン会員規約◆

<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>

※大量ダウンロードが発生した場合

そのご利用端末に対し、最大で1時間の利用停止措置の案内がメディカルオンラインより自動配信されます。

配信後においてもさらに続きますと、メディカルオンラインのサーバーに必要以上の負荷が掛かるため
本会専用アカウントの利用停止に至る場合があります。

株式会社メテオ

コンテンツ部

東京都千代田区神田須田町 2-7-3

TEL : 03-5577-5877 FAX : 03-5577-5878

学会誌 閲覧方法

学会誌無料閲覧サービスをお申込みいただきありがとうございます。
閲覧方法(手順)について、ご説明させていただきます。



① 雑誌名URL:<http://mol.medicalonline.jp/>.....
インターネット上で雑誌名URLにアクセスすると、
メディカルオンライン掲載中の貴学会誌アーカイブが
表示されます。

② 学会様専用アカウント(ID・PW)でログインを行い、
閲覧したい巻号をクリックします。



③ 論文タイトルが表示されますので、
ご覧になりたい「アブストラクト」、
「全文ダウンロード」をクリックしてください。



メディカルオンラインでの検索は自由。
他学会誌・商業誌はアブストラクトのみ無料で閲覧できます。

*ご利用に関しては、“Medical*Online会員規約”に準じます。
<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>
一定時間内に大量に論文をダウンロードした場合、該当の端末でのご利用を一時的に
停止させていただきます。また、サイト内に広告が表示される場合がございますので
予めご了承下さい。

「検診施設にて思う Digital Breast Tomosynthesis」

慶應義塾大学病院 放射線技術室 予防医療センター
根本 道子

1. はじめに

当院では2013年より診療用としてDigital Breast Tomosynthesis (DBT) を使用している。そのため、導入を検討している方々から意見を求められる機会がある。

しかしながら、現在は人間ドックにて、検診用としてFPDによる2Dマンモグラフィを使用しており、助言に値するコメントができるか、悩むことが多い。

現在DBTを常に使用している立場ではないが、「熟考した上でDBTを導入・運用」し、その後「DBTのある環境」から「DBTのない環境」となり、「それでもたまにはDBTを使用する」状況であるが故に実感するDBTの長所や短所、今後への期待などがある。

また自身の日常業務はマンモグラフィよりも超音波検査に携わる時間の方が圧倒的に多いため、「超音波検査を行う者の立場から見たDBTの必要性」も感じる。

当院では、マンモグラフィも超音波検査も、検査を施行した技師が読影補助としてのレポートを作成し、診断科医師がチェックして診断結果とする。自身が撮影した画像の品質で、レポート作成時の負担が左右されるため、読影する側が必要とするマンモグラフィを理解しやすい環境にある。

そこで今回、症例を交えつつ「この乳腺の所見、DBTで検査していたらなあ。」と、検診施設で思うケースを紹介し、医学的有用性以外にもDBT導入検討の際に配慮すべきポイントや、質問を受ける機会が特に多い事柄についてまとめた。

いずれも自身の経験による内容ではあるが、少しでも現場で尽力されている方々の参考となれば幸いである。

概要は以下の通りである。

2. 有用性

平成30年度の診療報酬改定に向けて、日本医学放射線学会から厚生労働省に提出された医療技術再評価提案書（保険既収載技術用）¹⁾より引用すると、乳房トモシンセシスの有効性などについては「現行の乳房撮影に加えてトモシンセシスを行うことにより、正常組織との重なりを避けて病変が明瞭に描出でき、逆に二次元乳房撮影では疑わしい所見が正常であることがわかるなど特異度が改善され、詳細な観察に基づいて乳がん画像診断精度が向上し、早期乳がんの発見率向上が期待できる。」となっている (<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000181687.pdf> でダウンロードのPDF資料19～23ページに乳房トモシンセシスの記載があり、参考文献や有効性の根拠となる研究結果など、その他にも詳しい情報が確認できる)。

まさに上記の通りであり、自身も実感しているのは、

■ Dense Breast に埋もれる病変が見えてくる (図1)

■ distortion が明瞭に見えてくる (図1. 図2)

■ FAD にすべきかどうか

悩むことが格段に少ない (図3.1～3.4)

■ 乳房内の構造を読む目や習慣が養われる

— と言った長所であり、レポートを記載する際に非常に有用である。

DBTがない環境となった現在は、そのような所見の難しさをあらためて痛感している。

構造を読む目や習慣が養われると、MRI・CT・超音波との比較を行う際に役立つ。

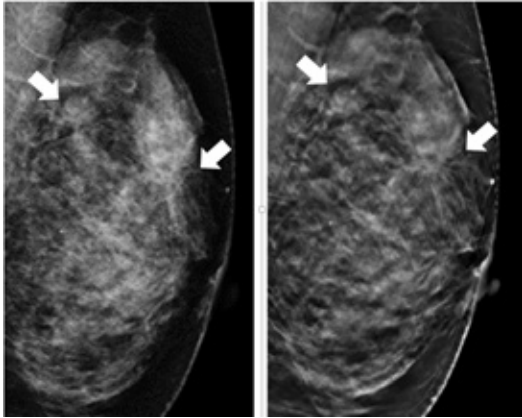


図1 Dense Breast に埋もれる病変
(mass・distortion)
(左：2D 右：DBT)

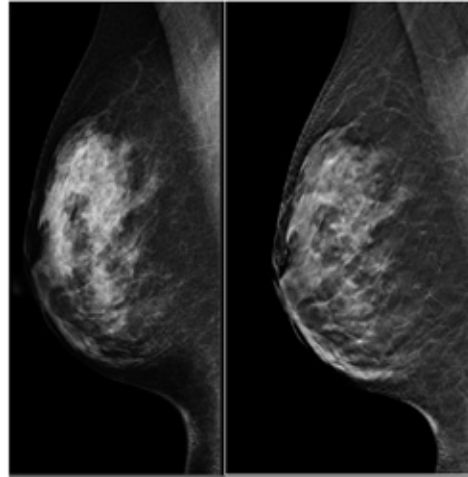


図3-2 FADに悩む所見(右側：正常)
(左：2D 右：DBT)

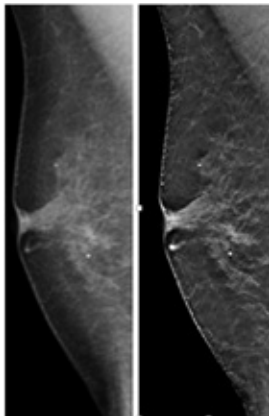


図2 distortion
(左：2D 右：DBT)

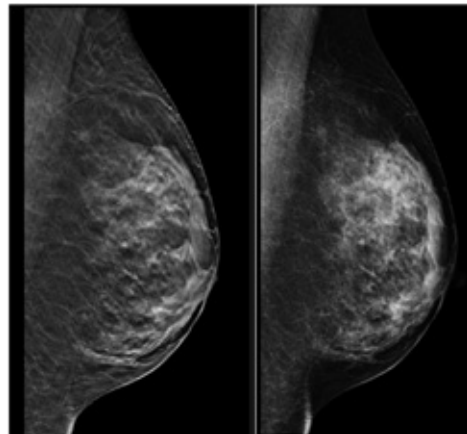


図3-3 FADに悩む所見(左側：悪性)
(左：2D 右：DBT)

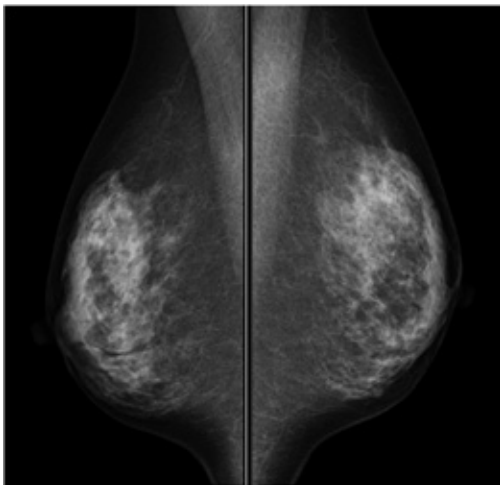


図3-1 FADに悩む所見(両側)
(左：検診2D 右：検診2D)

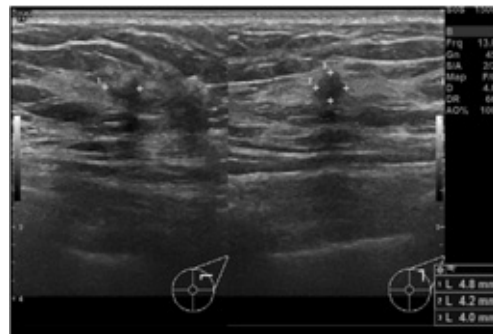


図3-4 FADに悩む所見(図3-3)の超音波画像
(左側2時方向 外側)

短所としては、

- 石灰化の形状が分かりにくい
- コントラストを加味した判定が困難
- 被ばく量の増加

一などが考えられる。

石灰化については二次元乳房撮影（2D）でも観察できるため大きな問題とはならず、それでも見えにくい微小な石灰化の観察は、拡大撮影を適宜追加している。余談だが、当施設ではDBT導入以降、拡大撮影は行うが密着スポット撮影を行うことは皆無となった。

2Dだけ撮影する場合と比較すると、当然DBTを加えた方が被ばく量は多くなる。しかし、装置によって多少バラツキはあるものの、デジタルシステムが普及する以前のS/Fシステムと同程度かわずかに多い程度であり、付与される情報量を踏まえて被ばくの不利益と医療行為による利益とのバランスを考えた場合、不必要な過剰被ばくとは考えにくい。ただし、脂肪性乳房や極端に厚さの少ない乳房には対しては検討の余地がある。

撮影時間短縮と被ばく軽減の両方の観点から、DBTデータで再構成する2D画像を用いることによって2D撮影を省略することが望ましいが、現時点で（私見ではあるが）納得の行く画質を提供できるシステムを見いだせていない。

3. 使用感

- 撮影装置を含めシステム全体が大きく圧迫感がある
- 設置スペースを広く確保する必要がある
（部屋はそのまま機器更新ならば要注意）
- 撮影中X線管が動くためフェイスガードがやや手前にあり胸壁側に入れにくい
- 各パーツが大きく重いため拡大撮影時に取り付け・取り外しが大変
- メーカーにもよるが画像の表示方向や挿入文字が調整困難なケースがある
- 1回の検査における操作卓での操作が多くて煩雑
- 撮影後の画像表示が早くポジショニングの良し悪しが確認しやすい
- メーカーごとに撮影補助の工夫が盛り込まれ

ている

全体的な印象として、アナログやCRのコンパクトさ・シンプルさを知っている世代には、撮影に限定して言うと、使いにくいと感じる部分が多い。とはいえ、X線照射直後から画像確認ができるのは心強い。暗室や自動現像機の記憶がある世代には、「現像の途中で写真がボツになった」「撮影条件が不適切で再撮になった」と言った苦い経験があり、その心配がほぼゼロに等しいFPDシステムの恩恵は非常に大きいその上に、読影の際に最も悩ましいと感じる乳腺の重なりをずらして観察できるDBTシステムへの期待も大きい。

以前見学した施設の装置では、トモシンセシスを撮影する際にフェイスガードを外しており、フェイスガードだけでも結構な大きさがあるため、置き場所の確保も考えなければならぬ様子であった。時間的制約のある中で、複数名続けて検査するには、1回ごとの着脱だけでも大変な苦勞である。

当施設の装置は、フェイスガードを取り外すことなくDBT撮影可能で、さらにMLOの際には胸壁側へ退避させて、術者のポジショニングスペースを確保できる工夫が採用されている。

メーカーによってさまざまな特徴があり、機器選定の際には十分な調査が必要である。

4. 導入・運用するに当たって

- DBTを行うか否かをどのように区別するか
- 読影の負担
- データの取り扱い
- コストに関係すること

上記については、導入の際に最も悩み、苦勞した。同様に悩む方が多いようで、質問を受けるのもこの内容が多い。

解決には、施設・部門・職種を越えた連携が必要であった。

乳腺外科医師、放射線診断科医師に相談し、一緒にビューワを使用した読影勉強会に参加し、デモ機での運用経験のある関連施設の医師にも意見を伺って検討した結果、当施設では診療で行うマンモグラフィの全例を、CC・MLO共に2D+DBT対象とし、2D撮影後に再ポジショニングす

ることなく続けて DBT 撮影可能な装置を導入した。

全例対象とした主な理由は、当院の診療マンモグラフィの7割以上が部分切除後の経過観察であり、イレギュラーな重なりによる病変の見落としを防ぐため、また、術後患者以外は紹介患者がほとんどであり、他施設で2Dはすでに撮影済の場合が多く、あらためて精密検査としてのマンモグラフィを行うならば、それ以上の情報を得る必要性が高いと考えたためである。CC・MLOの2方向で行うのは、DBTにおいてもブラインドエリアによる欠損を少なくするためと、FADの除外を考えたとき、どちらか1方向で疑われるFADを多く経験し、その見極めに役立つと考えたためである。

そのかいあって、導入後に自身が携わっていた数ヵ月の間だけでも、数人の偶発的発見症例を経験した。関連病院から手術目的で来院した紹介患者で、患側と反対側に見つかった例や、同側ではあるが診断済の病巣とは異なる腺葉に見つかった例であった。

読影については、2Dでは行っていなかった読影レポートを添付するように放射線診断科に協力を仰いだ。デモ機で運用していた他施設の乳腺外科医師から「診察室に数十枚ものDBTを送られても、とても読影できない。有用性はわかるが診察室にはその結果が分るようにして届けてもらわないと、無意味なものになる。」とのアドバイスをいただき、それに準じた。

DBTデータの扱いについては、全データをPACSへ転送するとサーバ容量を圧迫するため、一時的に部門内で保管し、3～5mm間隔で技師が抜粋した画像のみをPACSへ転送した上で、有意所見のkey画像をレポートに添付している。レポート発行後、診察やカンファレンスが終了したころに、部門内でDBTデータは削除している。もちろん、レポート作成の際には専用ビューワを使用し、2DとDBT全データで画像確認を行っている。

コストについては、残念ながら現時点でもDBTに対する診療報酬加算はない。学会を通じて再三申請は提出されているようである（「1. 有

用性」で引用した医療技術再評価提案書の本文にて詳細が確認可能)。DBTが認可された当初は、一般撮影領域のトモシンセシスでの断層加算を適応できると解釈されており、以前の資料を参考にして誤って加算請求を行わないよう気を付けなければならない。どの施設でも、高額機器導入の際には、生産性を見積もり収益増に貢献する内容を、医学的有用性と併せて管財課や検討委員会に提出しなければならない。前述した「医療技術再評価提案書」の中に、「予想影響額」として参考になる数値が記載されているため、書類作成時に活用できる。

5. 超音波検査をする側から

- 超音波検査開始前に確認できる検査の種類が多い方が見落とし防止につながる
- 所見の位置や周囲組織との関連性の把握ができる
- 乳頭直下の所見確認が容易
- マンモグラフィと超音波での総合診断においても特異度向上に貢献

自身が現在所属する検診部門では、乳腺超音波検査の前に、マンモグラフィ(2D)と人間ドックの標準コースの内容である胸部CTが終了した状態となるよう調整している。CTは乳房全体がFOVの中に入っていない場合もあるが、CTで偶発的に結節や構築の乱れを疑い、その部分を注意深く超音波で観察することで発見できた悪性所見も複数経験しているため、確認できる情報は全て有効に活用している。また、超音波検査において初見で発見し、過去画像を確認すると、CTでのみ疑わしい兆候が確認できた症例も経験した。その症例は全例マンモグラフィ(2D)でも検出できていたかという点、残念ながらそうでもない。「CTで見えているのになぜマンモグラフィで描出できないのか」と大変悔しく、「DBTで検査していたらなあ」と思ってしまう。裏を返せば、それだけ断層検査は、所見を検出しやすいモダリティと考えられる。

所見の位置や周囲組織との関連性の把握、超音波で観察しにくい乳頭下の確認も、DBTなら容易となる。特に、マンモグラフィ(2D)で所見

が疑われても、CCもしくはMLOの1方向のみである場合、検診では本人に症状がないため、超音波で所見を狙って検査する領域が広範囲となり大変苦勞するが、DBTならば断層面の奥行情報からおおまかにでも立体的位置関係を把握できる。

超音波で腫瘍か孤立した脂肪か迷う場合に、DBTで周囲組織との位置関係を確認し、「これは脂肪」と判断できることもある。マンモグラフィと超音波の総合診断を考えた場合でも、「病変を見つける」だけではなく、「迷うことなく正常と判断できる」ことにDBTは貢献できると考える。

6. おわりに

以上、「検診施設にて思うDBT」とはすなわち、「早く当部門でもDBT導入したいなあ」と言う私的な希望でもあるが、検診部門への導入については慎重に検討しているところである。

日本乳癌学会が示す乳癌診療ガイドライン²⁾において、「乳房トモシンセシスは高濃度乳房に対する対策型乳がんマンモグラフィ検診の補助的乳がん検診モダリティとして推奨されるか？」と言う問いに対して、推奨グレードは3（行わないことを弱く推奨する）となっている。

これは「がん検診の有効性を示す死亡率減少効果が認められないこと」から設定されたグレードであるが、人間ドックのような任意型検診を受診する方々の多くは「異常なし」を確認することが重要な場合もある。疑わしい所見への不必要な再検査によって、受診者への精神的・経済的負担が増えることを抑制することも必要である。

それは、結局のところ検査の特異度を上げることにつながるが、読影力には個人差があり、認定制度で標準化は進んでも、難しい所見はどうしても迷うものである。より多くの医療者が「正常」か「異常」かを見極めやすくなり、その結果、精密検査や外来受診者が適正数となることは、医療費や診療の混雑にも、何らかの良い影響をもたらすのではないだろうか。

それぞれの施設における背景によって、優先すべきことは少しずつ異なるため、診療放射線技師の要望だけではなく、さまざまな要素を考慮して

使用を検討するシステムというのが、現在の日本におけるDBTの位置付けであると考えている。

7. 参考文献

- 1) 医療技術再評価提案書（保険既収載技術用）
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000181687.pdf>
- 2) 乳癌診療ガイドライン 2018年度版
<http://jbcgs.gr.jp/guideline/2018/index/kenshingazo/cq2/>

第5回診療放射線技師 BRT セミナー 〈メインテーマ 救急〉

開催日：2019年9月7日（土）13時から17時

場 所：浦和コルソホール（コミュニティープラザ・コルソ7階）

若手セミナー 抄録集

「救急医療に必要な診療放射線技師としての知識～他者の経験を自分のものに～」

座長：上尾中央総合病院 茂木 雅和

・「心電図を学ぼう」～胸痛患者の心電図異常～

春日部市立医療センター 中嶋 幸孝

・「3次救急症例から学んだ画像診断」～外傷初期診療を中心に～

さいたま赤十字病院 田中 里奈

・「外傷診療における診療放射線技師の役割」～外傷診療に対して何を考えるべきか～

国立病院機構 災害医療センター 萩原 健司

第5回 診療放射線技師BRTセミナー 参加費 無料	
Basic study of Radiological Technologist	
〈メインテーマ 救急〉	
場所：浦和コルソホール(コミュニティープラザ・コルソ7F)	
日時：2019年9月7日(土)13:00～17:00(受付開始 12:30～)	
13:00 ～13:20	【総合司会進行役】 国立がん研究センター中央病院 三松 真 開会の挨拶 国立がん研究センター東病院 永井 優一 製品紹介 光製薬株式会社
13:20 ～14:40	若手セミナー 「救急医療に必要な診療放射線技師としての知識～他者の経験を自分のものに～」 【座長】上尾中央総合病院 茂木 雅和 ・心電図を学ぼう～胸痛患者の心電図異常～ 春日部市立医療センター 中嶋 幸孝 ・三次救急症例から学んだ画像診断 さいたま赤十字病院 田中 里奈 ・外傷診療における診療放射線技師の役割 国立病院機構 災害医療センター 萩原 健司
14:40 ～14:50	休憩
14:50 ～15:50	基調講演【座長】 国立病院機構 さいがた医療センター 軍司 大栄 【救急撮影超入門～救急医療の質は診療放射線技師の手に掛かっている～】 演者：国立病院機構 水戸医療センター 放射線科 田中 善啓
15:50 ～16:00	休憩
16:00 ～17:00	特別講演【座長】 上尾中央総合病院 滝口 泰徳 【救急疾患を読み解く！～救急医の頭の中を覗いてみませんか？～】 演者：済生会横浜市東部病院 救命救急センター・重症外傷センター 妹尾 聡美
17:00	閉会の挨拶 国立がん研究センター中央病院 石原 敏裕
※日本X線CT専門技師認定機構 3単位 / 肺がんCT検診認定機構 5単位 / 日本救急撮影技師認定機構 2単位 ※本セミナーは、どなたでも参加可能です。 ※セミナー終了後に情報交換会を予定しております。	
主催：光製薬株式会社	
〒111-0024 東京都台東区今戸2丁目11番15号 電話：03(3874)9351 E-mail:toiawase@hikari-pharm.co.jp	

「心電図を学ぼう」 ～胸痛患者の心電図異常～

春日部市立医療センター 中央診療部 放射線科
中嶋 幸孝

1. はじめに

心電図は、疾患鑑別や心血管系疾患の診断・治療を行う上で必要な検査である。救急診療の胸痛患者においては診療の中心となる。

救急診療の場で診療放射線技師は迅速な搬送、スムーズな撮影が求められる。また撮影の質を高めるために採血・既往歴・心電図などの患者情報を得ることは重要と考える。心臓カテーテル検査に携わる医療スタッフにとって、心電図は必須の知識である。

本稿では、緊急性の高い胸痛患者の心電図異常、心筋虚血における基本的な心電図変化について症例を交えて紹介する。

2. 心電図の成り立ち

2-1 心電図から読み取れること

心電図は心臓の電気的な活動の様子をグラフに記録する。心臓のみの筋電図とも言える。救急診療で用いられる心電図は12誘導心電図を指す。

心電図変化から読み取れることは不整脈といった脈拍の異常、心臓拡大の状況、電解質異常、心筋虚血など、多岐の病態に及ぶものとされる。

2-2 活動電位

心筋が興奮する前、細胞内は電気的にマイナスを帯びている。外部から電氣的または機械的な刺激を受けると一気に興奮し、細胞の中はプラスを帯びる。興奮が冷めていくと、再び細胞内は電気的にマイナス、細胞外はプラスの電気を帯びる(図1)。

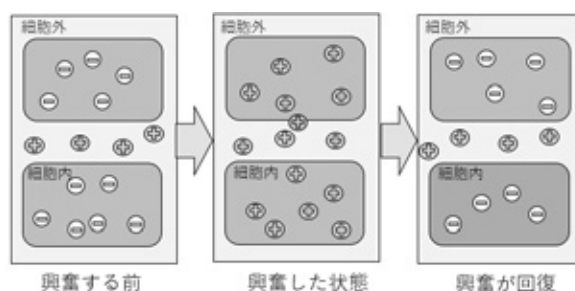


図1 心筋細胞の電位変化

この変化をグラフ(図2)で見えていくと、強い刺激が心筋に加わり、心筋内の反応が閾値に達すると心筋は一気に興奮する。興奮によって静止膜電位が0に近づくことを脱分極という。一度、脱分極すると興奮状態が続き、やがて自然に興奮が回復して元の静止膜電位に戻る。この回復過程を再分極という。脱分極の開始から再分極の終了までの心筋細胞の電気的活動サイクルを活動電位と呼び、心電図波形の元となる。活動電位は細胞内外のイオン交換によって電位を形成し、主にNa、Ca、Kイオン交換によって形成される。

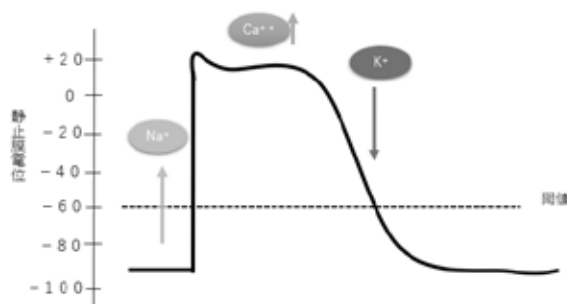


図2 活動電位の形成

次に心筋レベルの活動電位を見ていく。心筋の興奮は原則として、心内膜側から心外膜側に向かっていく。心外膜側の活動電位は持続時間が短く、心内膜側では持続時間が長いのが特徴である(図3)。

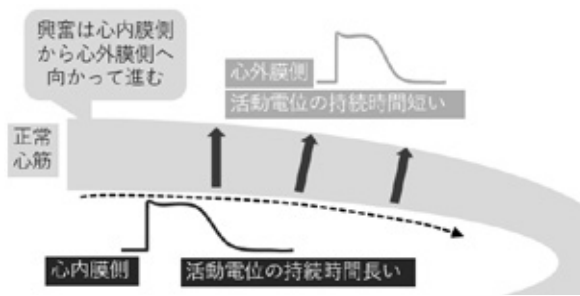


図3 正常心筋の活動電位

心臓の内側から外側に電気が流れる過程を体表から見たとき、心内膜側から心外膜側の活動電位を減算した体表心電図 QRST 波として計測する(図4)。

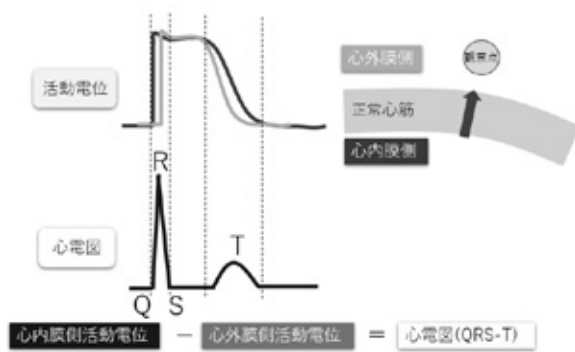


図4 心筋の活動電位と心電図波形

2-3 心電図波形の名称と意義

心臓の拍動を司る興奮の電気の流れ道を刺激伝導系と呼び、洞結節で作られた電氣的興奮は心房筋→房室結節→ヒス束→プルキンエ線維を通して心室筋を収縮させ、その後回復過程に入る。この電氣的興奮を心尖部側より観察し、心電図波形を得る(図5)。

波の構成と意義については以下に示す。

- ① P 波：心房筋に興奮が伝わる波
- ② QRS 波：心室筋に興奮が伝わる波
- ③ T 波：心室筋の興奮が回復する過程の波
- ④ ST 部分：QRS 波の終わり (J ポイント) から T 波の始まりまで
- ⑤ PQ 間隔：心房から心室へ興奮が伝わる時間
- ⑥ QT 間隔：心室筋の興奮から興奮消退までの時間

QRS の終わりにあたる ST 部分の J ポイントが心筋虚血の判定指標となる。

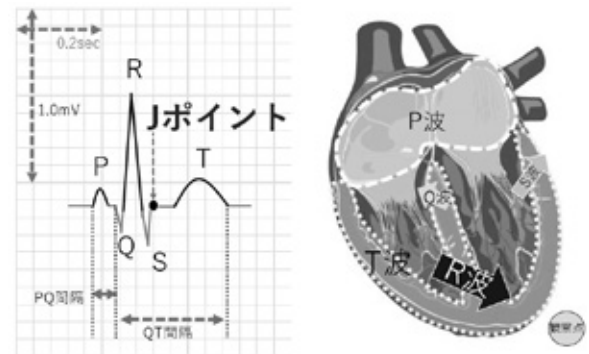


図5 心電図波形の構成

3. 12 誘導心電図

12 誘導心電図は 10 個の電極を装着し、12 通りの記録を行う。これにより心臓の立体的な電気活動を捉えることができる。

12 誘導心電図は胸部誘導と四肢誘導から構成される。

- ①四肢誘導 双極肢誘導：I、II、III 誘導
単極肢誘導：aV_R、aV_L、aV_F 誘導
- ②胸部誘導 単極肢誘導：V1、V2、V3、V4、V5、V6 誘導

3-1 四肢誘導

I、II、III 誘導は前額面の 2 極間の電位差をみている。I は左手からみた左手と右手の電位差、II は左足側からみた右手と左足の電位差、III は左足からみた左手と左足の電位差となる。

aV_R、aV_L、aV_F 誘導は電極を貼った位置から心臓の興奮の観察を記録する。aV_R は右肩、aV_L は左肩、aV_F は足側から心臓を観察する(図6)。

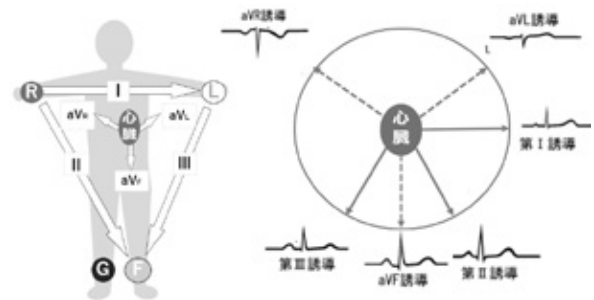


図6 四肢誘導の電極と波形

3-2 胸部誘導

胸部誘導は心臓の電気的変化を水平面に投影して、心臓を取り囲むように電位をみている。胸部誘導電極の装着を図7に示す。各波形をみるとV1よりもV6のR波が大きくなる(図8)。これは心臓の電気的活動が水平面で右側から左側方向に流れることを波形に反映している。

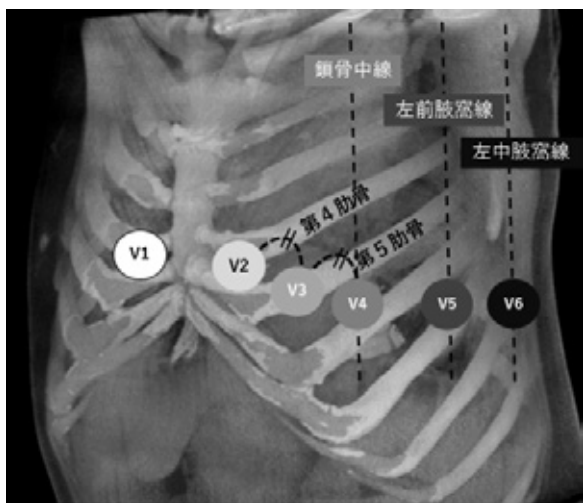


図7 胸部誘導電極の装着

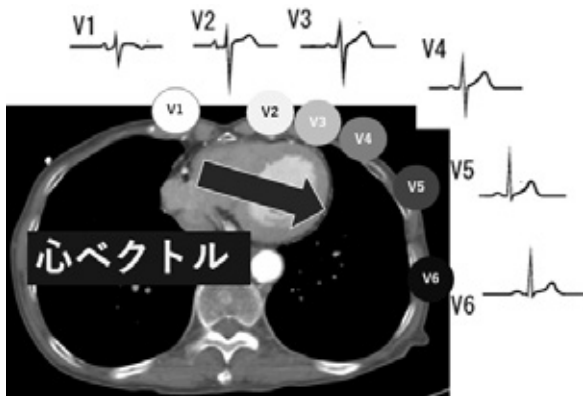


図8 胸部誘導の波形

3-3 正常12誘導心電図の特徴

正常12誘導心電図の特徴と波形を以下に示す(図9)。

- ① P波：I、II、III、aV_F、V4～V6誘導で上向き方向の成分が大きい陽性波
- ② QRS波：II誘導で概ね陽性波
 - aV_R誘導は下向き成分優位の陰性波
 - V1誘導は下向き成分優位の陰性波
 - V3～V4誘導で陽性波と陰性波が同

じくらい(移行帯)

V5、V6誘導で陽性波優位

③ T波：概ねQRS波と同じ向き

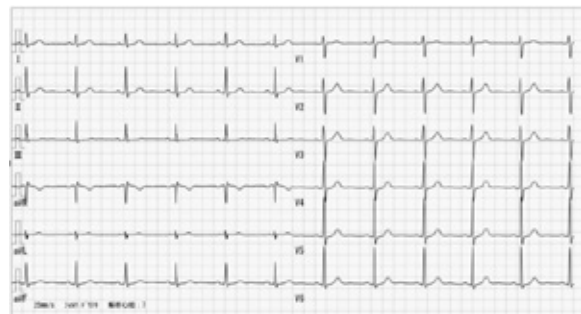


図9 正常心電図波形

4. 虚血性心疾患の心電図

4-1 判定指標のポイント

ST部分は原則として、連続するP波の立ち上がり部分を結んだ基線(等電位線: isoelectric line)に一致する(図10)。

心筋虚血は心室筋の興奮(QRS波)から回復(T波)の過程で障害が起き、電気的変化が起こる。

急性期の虚血性心疾患症例において、QRSの終わりにあたるST部分のJポイントに基線から上昇または下降といった心電図変化が及ぶ。

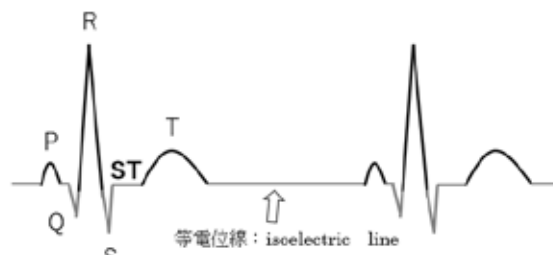


図10 基線とST部分

4-2 狭心症の心電図変化メカニズム

冠動脈に優位狭窄があり、末梢側の心内膜側に虚血が局在している狭心症の場合、心内膜側と心外膜側で心臓の興奮状態の差、活動電位の差が心電図上でST変化として記録される。この様子を体表面上に装着した電極から観察すると、活動電位の正常心筋の高い活動電位から低い活動電位を見ることとなり、結果ST下降として記録される(図11)。

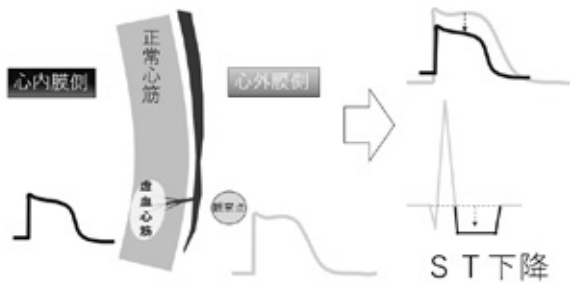


図 11 狭心症の心電図変化例

4.3 心筋梗塞の心電図変化メカニズム

冠動脈が閉塞し、支配領域に対して心外膜まで貫壁性に虚血が進んだ状態を考える。この場合、体表面上に装着した電極から観察すると、異常心筋の低い活動電位から正常心筋の高い活動電位を見ることがとなる。その様子がST上昇として記録される(図12)。

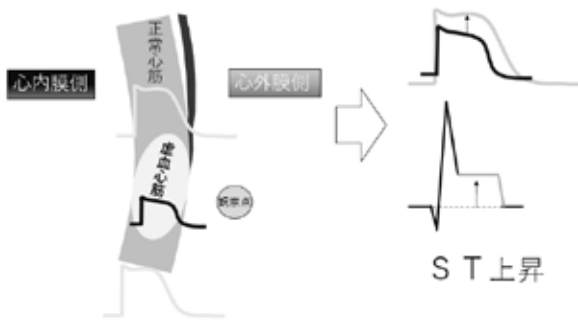


図 12 心筋梗塞の心電図変化例

4.4 ST 上昇の判定

急性冠症候群ガイドライン(2018年改訂版)によると、隣接する2つ以上の誘導で junction (Jポイント) から1mm以上上昇した場合(V2-3誘導では、40歳以上の男性の場合は2.0mm以上、40歳未満の男性の場合は2.5mm以上のST上昇、女性の場合は年齢問わず1.5mm以上)で、急性心筋梗塞のST上昇と判定される。

4.5 12誘導心電図と心筋領域の関係

冠動脈に閉塞がおき、特定の心筋領域が障害された場合、障害された領域に対する誘導に心電図変化が及ぶ。急性心筋梗塞領域に対する12誘導心電図の関係を表1に示す。

表1 急性心筋梗塞領域と12誘導心電図の関係

梗塞部位	梗塞波形が出現する誘導												主な閉塞枝	
	I	II	III	aV _R	aV _L	aV _F	V1	V2	V3	V4	V5	V6		
前壁中隔							●	●	●	●				左前下行枝
広範囲前壁	●				●	●	●	●	●	●	●	●	○	左前下行枝
側壁	●				●								●	左前下行枝 左回旋枝
高位側壁	●				●									
下壁		●	●			●								右冠動脈
後壁							*	*						左回旋枝 右冠動脈

●:主にST上昇する ○:ST上昇する可能性がある ☆:R波増高

また、心臓CTのVR像に対して電極を貼り付けて考えてみると、冠動脈の支配領域と12誘導心電図との関係がよく理解できる(図13)。前壁中隔はV1からV4で、下壁はII、III、aV_F、側壁はV5、V6、高位側壁はaV_L、I誘導で反映していることとなる。aV_Rは心基部側から観察し、電気的活動する方向から遠ざかる方向を反映していることがわかる。

急性心筋梗塞症例において、病態予測や多枝病変の責任血管の同定にこの関係の理解が必要である。

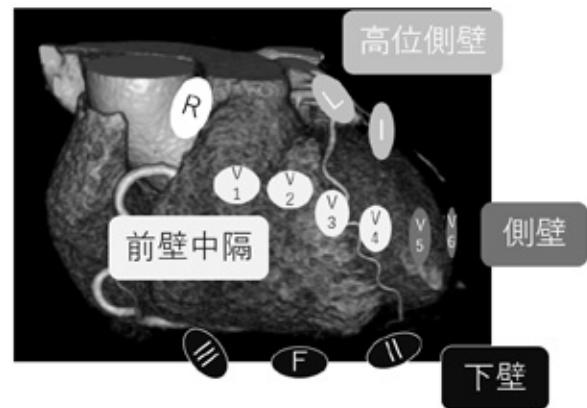


図 13 冠動脈の支配領域と12誘導心電図の関係

4.6 心筋梗塞の時間的変化と異常波形

心筋梗塞の心電図波形は発症からの時間経過によって変化を伴い、異常波形を呈する(図14)。

心筋障害の程度、壊死の状態により変化が異なる。

異常波形を以下に示す。

- ① ST 上昇: 冠動脈の閉塞または高度狭窄を示す

- ②異常 Q 波（幅 0.04sec 1mm、振幅 R 波の 4 分の 1 以上）：心筋壊死部の存在を示す
- ③冠性 T 波（心筋梗塞時、左右対称陰性 T 波）：心筋虚血の存在を示す

心筋梗塞による T 波の増高、ST の上昇がみられる場合、急性期の心電図変化で、心筋壊死に至っていない救済可能な心筋領域があり、迅速な治療が必要となる。

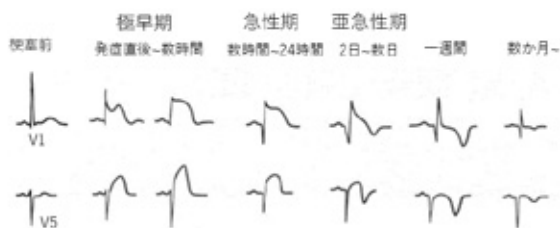


図 14 心筋梗塞の時間的心電図変化
心筋梗塞発症直後～数時間では、T 波が尖鋭化 (Hyper acute T wave) や ST 上昇がみられる。数時間～24 時間で異常 Q 波が出現する。数日後以降に ST が減高し、T 波が陰転化する冠性 T 波がみられる。数か月後には、R 波の減高と異常 Q 波が残る。

4.7 ミラー効果

心筋梗塞が起きた場合、電極位置の対側の波形が ST 部分や Q 波に現れる。これをミラー効果と呼び、虚血性心疾患の診断に有用な心電図変化となる (図 15)。

前 (側) 壁誘導 (I、aV_L、V₂～V₆ 誘導) に対して、下壁誘導 (II、III、aV_F) は、互いに対側誘導に当たる。

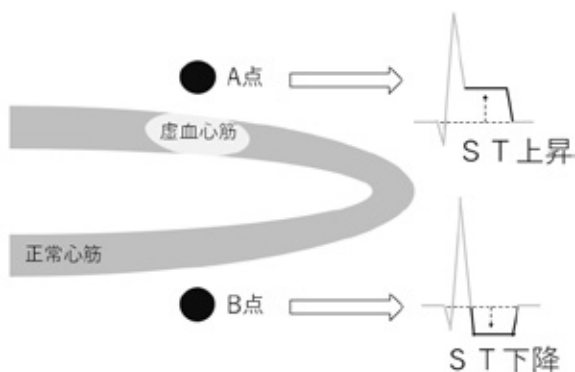


図 15 ミラー効果
A 点側に心筋虚血が存在し、ST 上昇を記録した場合、対側の B 点に ST 部分のミラーとした ST 下降が観察される。

5. 症例

ここでは ACS (acute coronary syndrome) 症例について 2 例提示する。

5-1 症例 1 急性下壁心筋梗塞

《患者情報》

68 歳 男性

《現病歴》

夜間 0 時より、胸部絞扼感、背部痛、呼吸苦が現し、救急搬送された。

《リスクファクター》

#1 2 型糖尿病、#2 高血圧、#3 高脂血症

《血液データ》 (搬送直後 発症 2 時間後)

WBC:10790、トロポニン I:0.08、CK-MB:10

《心電図所見》

搬送直後の心電図で II、III、aV_F で ST 上昇と対側性変化として I、aV_L に ST 下降を認める (図 16)。

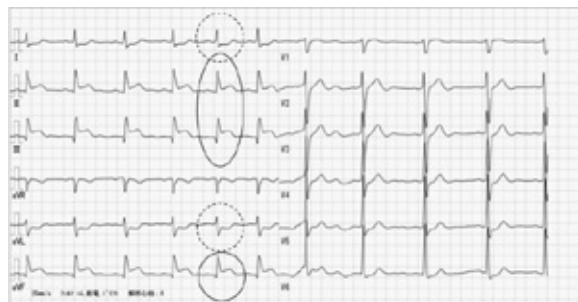


図 16 症例 1 12 誘導心電図
II、III、aV_F で ST 上昇 (O) を I、aV_L に ST 下降 (O) を認める。

《画像所見》

CAG では RCA に完全閉塞を認め、PCI が施行された (図 17)。



図 17 RCA LAO 像

5-2 症例2 急性前壁中隔心筋梗塞

〈患者情報〉

56歳 男性

〈現病歴〉

労作時の息切れを自覚し、精査中。

来院2日前より、胸痛を認めていた。

夜間未明に胸痛と呼吸苦が出現したため、救急搬送された。

〈リスクファクター〉

#1 高血圧、#2 高脂血症

〈血液データ〉（搬送直後 発症2時間後）：

WBC:11270、トロポニンI:9.0、CK-MB:23

〈心電図所見〉

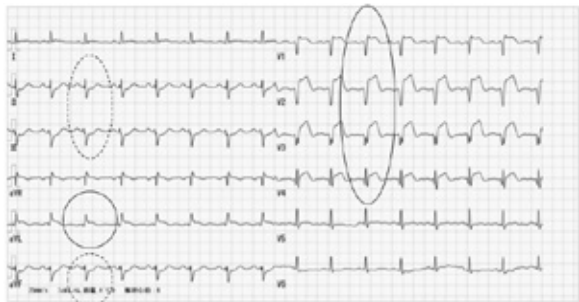
V1～V4、aV_LにST上昇、V1～V4に異常Q波と対側性変化としてII、III、aV_FにST下降を認めた（図18）。

図18 症例2 12誘導心電図

V1～V4、aV_LにST上昇、V1～V4に異常Q波（○）をII、III、aV_FにST下降（○）を認める。

〈画像所見〉

LAD #6 distalに99%狭窄を認め、造影遅延を伴い末梢まで造影された（図19）。

LADに対して、PCIが施行された。

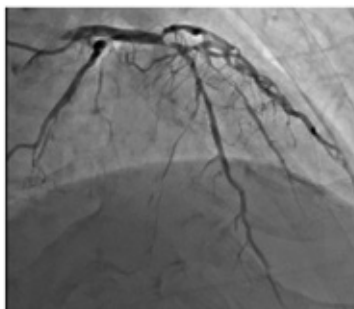


図19 LCA RAO + cranial像

6. まとめ

心電図の成り立ちから虚血性心疾患の代表的な心電図異常について概説した。

救急診療は迅速に検査から治療へ移行することを求められる。検査前に患者情報を取得することで、患者重症度を知り、円滑な患者受け入れが可能となる。また検査目的の理解が深まることで、的確な検査の実施につながる。

本稿が救急診療に必要な患者情報として、胸痛患者に対する心電図の理解の一助になれば幸いである。

参考文献

- 1) 早川弘一、村松準、他：心電図マニュアル、照林社、61-70、2008
- 2) 日本循環器学会：急性冠症候群ガイドライン（2018年改訂版）、19-23、2018
- 3) 渡辺重行、山口巖：心電図の読み方 パーフェクトマニュアル、羊土社、24-41、2015

「3次救急症例から学んだ画像診断」

～外傷初期診療を中心に～

さいたま赤十字病院
田中 里奈

1. はじめに

今日の医療機器の進歩に伴い、医療における画像診断の役割はより高まってきている。救急医療においても、マルチスライスCT装置の登場で広範囲を短時間で撮影できるようになったことや、画像再構成の高速化などによりその役割は増大してきた。それに伴いわれわれ診療放射線技師は、迅速かつ的確に画像情報を提供し、さらに読影の補助を担う専門家としての能力が期待されてきている。

特に、救急領域の画像診断は肺循環器障害や心大血管疾患、高エネルギー外傷など多岐にわたる。今回、当院での搬送数が多い外傷診療について述べていく。

2. 外傷初期診療について

2-1 高エネルギー外傷

高エネルギー外傷とは高所墜落や自動車事故など、身体に大きな外力が加わって起こる外傷を指す。外傷による死亡には大血管損傷や致命的脳損傷で即死もしくは数分で死亡する場合、または病院搬送後に呼吸障害や出血が原因で数時間後に死亡する場合、敗血症や多臓器不全で数日以内に死亡する場合が挙げられる。救急初期診療は病着後の「防ぎ得る死亡」を回避することを目的とする。

2-2 外傷初期診療の流れ

外傷患者の搬送が決定すると受け入れ準備、Primary Survey、Secondary Survey、根本治療といった手順で処置を行う。

受け入れ準備では、超音波やX線（CT室、ポータブルX線）の準備、ガウン、マスクの着用などが当たる。

患者到着後に第一印象の確認すなわち Primary

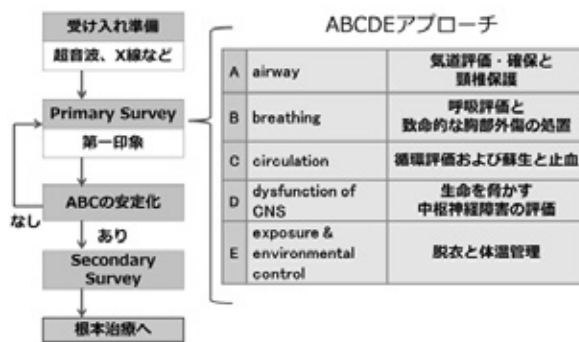


図1 ABCDE アプローチ

Surveyを行う。Primary Surveyは生命維持のための生理機能に基づいたABCDEアプローチという流れで行う（図1）。

Primary Surveyが完了しA-B-Cの安定が確認できたらSecondary Surveyに移行する。これには、「切迫するD」に対する頭部CT検査、病歴の聴取、身体所見の観察、検査、感染予防が当たる。「切迫するD」と表現される意識レベルの急激な悪化、瞳孔不同など生命を脅かす重症頭部外傷を疑う場合は最優先で頭部CTを施行する。病歴聴取ではアレルギー歴、既往歴、受傷機転や受傷現場の状況を本人、救急隊、家族、関係者から聴取する。身体所見の観察では頭頂から足の爪先まで視診、聴診、触診で判断していく。検査ではX線撮影、CT検査、気管支鏡、消化管内視鏡などがある。近年ではCT装置の進化に伴い、「切迫するD」での頭部CTに続けて全身CT検査（Trauma Pan-scan）を撮影する流れが主流となってきている。感染予防では開放創の洗浄、抗菌剤の予防的投与などを行う。

この流れで初期診療を行い、そこで明らかになった損傷に対して根本治療を行っていく。

3. 初期診断に必要な画像検査

3-1 Primary Survey における画像診断

Primary Survey では ABCDE アプローチの中でも B と C の異常に対する原因検索のために胸部および骨盤部のポータブル X 線撮影を初療室で行う。胸部画像では B の安定を脅かすフレイルチェスト (図 2)、B-C の安定を脅かす緊張性気胸や大量血胸の有無の確認を行う。

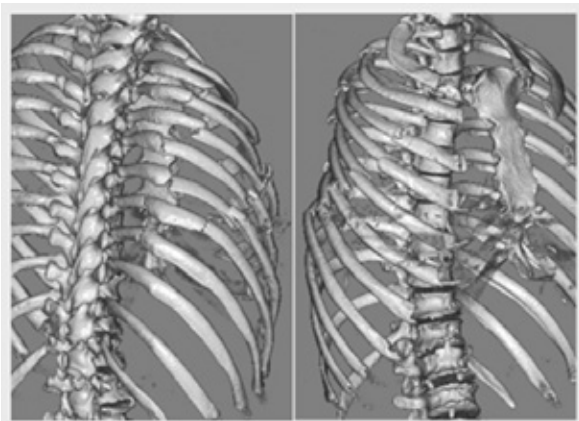


図 2 フレイルチェスト

骨盤画像では C の安定を脅かす不安定型骨盤骨折の有無を観察する。不安定型骨盤骨折とは靭帯損傷があり輪状構造に破綻を来たしている骨折を指し、部分不安定型と完全不安定型に分けられる。部分不安定型は回旋方向に不安定性を示すが垂直方向には安定性を保つのにに対し、完全不安定型では骨盤後方構造が完全に破綻しており、回旋方向にも垂直方向にも著しい不安定性を有する (図 3)。どちらも出血性ショックに至る危険がある重篤な病態であるが後者のほうが、骨盤内血管損傷や他部位損傷を合併することが多く、生命予後が不良な骨折型である。



図 3 骨盤骨折の分類

3-2 Secondary Survey における画像診断

近年の Secondary Survey における CT 検査では、前述したとおり全身 CT 検査の撮影が主流となっている。これは予期せぬ損傷の発見や治療までの時間短縮に有用であるとされているためである。

情報量の多い全身 CT 画像を迅速かつ適切に読影し、治療に結び付けるために 3 段階に分けて読影を行う方法がある。その第 1 段階は緊急度の高い損傷のみに焦点を当て、3 分以内に評価を行う。第 2 段階は第 1 読影後速やかに行い、血腫や腹腔内遊離ガスなど治療方針に大きく関わる情報を探す。第 3 段階は患者の状態が安定した頃、放射線専門医が読影を行う。先入観を持たず読影することで初回読影時での見逃しの発見につながる。

特に、この第 1 段階を FACT (focused assessment with CT for trauma) と呼び、Secondary Survey における画像診断で重要となる。

3-3 FACT

FACT とは直ちに緊急処置を要する項目だけを 3 分以内に評価する、また命の危険がある損傷のみを見つけるという意味をもつ。患者移動時のリスクを考え、患者が CT 台から降りるまでの時間で読影を行うことが望ましいとされている。FACT は ABCDE アプローチとは異なり A-B-C の順に観察するのではなく画像が得られた順に観察する (表 1) (図 4 ~ 8)。

表 1 FACT の観察事項

部位	観察項目	ポイント
① 頭部	緊急減圧開頭術の必要性 (図 4)	細かな出血は第二読影で
② 大動脈 (肺動脈レベル)	大動脈損傷、縦隔気腫 (図 5)	大動脈損傷の好発部位
③ 肺底部 (肺野条件)	広範な肺挫傷、血気胸、心裏血腫 (図 6)	臥位の場合血気胸は肺底部で観察しやすい
④ 骨盤腔	腹腔内出血	大量腹腔内出血はタグラス高までたまる
⑤ 骨盤→脊椎	骨盤骨折、後腹膜血腫 (図 7)	高位後腹膜血腫は primary survey では見つけにくい
⑥ 臓器損傷	実質臓器損傷 (肝臓、脾臓、腎臓、膀胱)、腸間膜血腫 (図 8)	とくに腸間膜血腫は FAST で検出できない

頭部では緊急開頭減圧術の適応を判断する。頭蓋内圧を上昇させるような活動性の血腫は、中枢

神経障害を来すため緊急開頭減圧術の対象となり得る。次いで肺動脈レベルを観察する。大動脈損傷があると循環動態に急激な変化が起こり得るが治療による救命率は高いため早期発見、早期手術を必要とする。肺底部は肺野条件で観察する。臥位の場合、血気胸は肺底部で観察しやすい。呼吸に影響を及ぼし得る広範な肺挫傷、閉塞性ショックに発展し得る気胸や心嚢血腫を確認する。次に循環に影響を及ぼし得る血胸、腹腔内出血、後腹膜血腫を素早く観察する。骨折がわかる程度のWW、WLに設定し骨盤、椎体骨折を確認、さいごに実質臓器の損傷を確認する。緊急止血術の適応となり得る大量の腹腔内出血や血管外漏出が無いか確認し、細かな出血は第2読影以降で行う。



図4 急性硬膜外血腫
急性硬膜外血腫により正中偏位が見られる
外傷性くも膜下出血も併発している

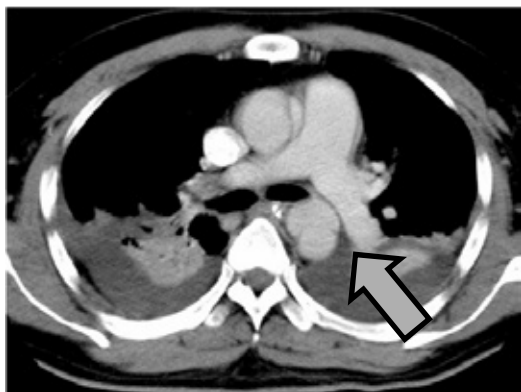


図5 大動脈損傷
矢印の部分に血管損傷がみられる。大動脈損傷の好発部位は左鎖骨下動脈分岐部直下の下行大動脈である大動脈峡部と呼ばれる部位

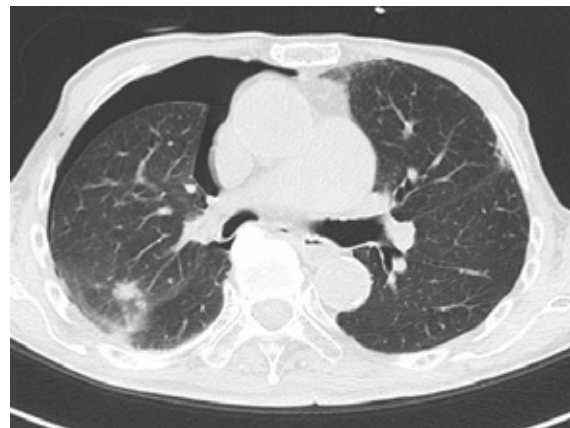


図6 気胸、肺挫傷
右肺野の肺挫傷および気胸を認める。循環に影響を及ぼす気胸や血胸には迅速なトロッカー挿入を必要とする

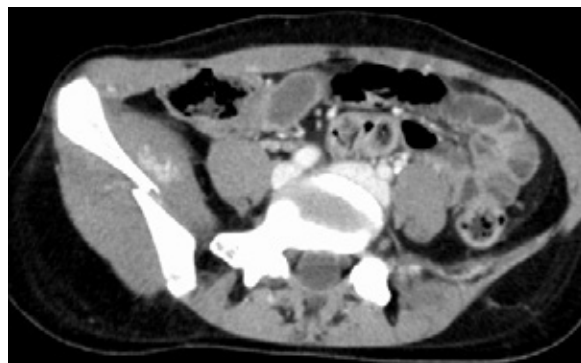


図7 骨盤骨折
右腸骨骨折と血腫を認める



図8 腎損傷
左腎損傷を認める。早期相から血管外漏出を伴う活動性の出血では今後循環動態の悪化につながりかねないため開腹術や血管造影（TAE）の施行を予測する

4. 症例

30歳女性

歩行中に自動車と接触。救急隊現着時、畑の中に左側臥位、外出血量は中等度。高エネルギー外傷と判断しドクターカー要請となった。A-Cは安定していたがJCS200でDの異常を認めた。

・画像所見（ポータブルX線写真）

来院時ポータブルX線写真では胸部では異常を認めなかったが骨盤の輪状構造に破綻を認めた（図9）。



図9 来院時 X-P

・画像所見（CT）

全身CT画像で早期相から血管外漏出を伴う右腸骨骨折、仙腸関節離開、恥骨、座骨骨折を認めた（図10、図11）。

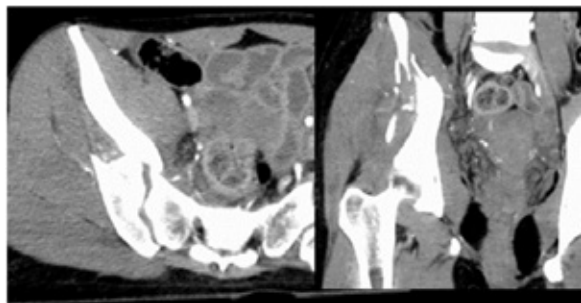


図10 早期相（30秒）CT

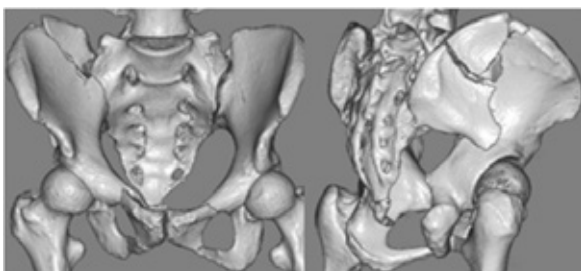


図11 骨盤部3D画像

・治療方針

Primary Surveyにおける画像診断（ポータブルX線）で不安定型骨盤骨折を認めた。またSecondary Surveyにおける画像診断（全身CT検査）で出血性ショックになり得る活動性出血を認めた。以上から緊急で経カテーテル動脈塞栓術（TAE）の方針となり、内腸骨動脈出血部位の塞栓を行った（図12）。

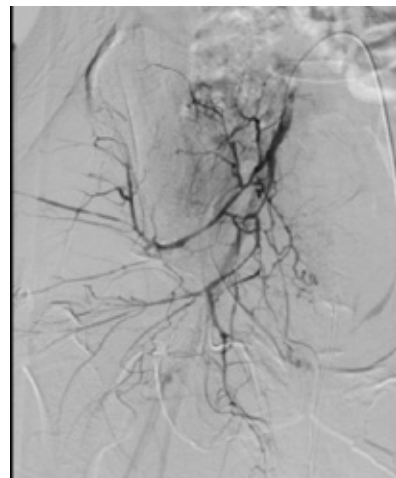


図12 骨盤部血管造影

5. さいごに

画像診断において各モダリティにおける専門的な知識や技術の重み付けが高くなり、それらは一般診療にとどまらず救急診療にも及んできた。救急現場では患者の容体がいつ急変するかわからないといった時間的制限のなかで、的確な情報を提供するスキルを習得していかなければならない。画像だけではなく事前の患者情報やバイタルも把握したうえで「防ぎえる死亡」を回避するために、次に求められる検査や画像を予測しながら臨むことが重要だと考える。

6. 参考文献

- 1) 改定第4版 外傷初期診断ガイドライン
- 2) 改定第2版 救急撮影ガイドライン
救急撮影認定技師標準テキスト

「外傷診療における診療放射線技師の役割」

～外傷診療に対して何を考えるべきか～

国立病院機構 災害医療センター

萩原 健司

1. はじめに

交通事故、労働災害、自然災害などによる外傷患者は相当数に上る。このような外傷診療に対してチーム医療の重要性が説かれている今日であるが、チームの一員として診療放射線技師はどのような役割を担うことができるのか。

本稿では、外傷診療の「一連の流れ」にフォーカスをあて、その中で診療放射線技師がやらなければならないこと、考えなければならないことについて述べていきたい。

2. 外傷診療の基本

2-1 JATEC

外傷診療での大きな目的は「防ぎ得た外傷死」(Preventable Trauma Death: 以下PTD)を避けることである。このPTDは、適切な診療を行えば救命し得たにも関わらず、それらを怠ったために救命できなかった外傷死亡を指す。例えば気管挿管による確実な気道確保、心タンポナーデや緊張性気胸の解除など、適切な処置を行えば救命し得た症例などが該当する。

このPTDを回避するため、日本救急医学会を通じ外傷初期診療ガイドラインJATEC (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)¹⁾ という形でまとめられ、外傷診療の標準化がなされている。このガイドラインは臨床現場の診療指針であると同時に、研修コーステキストとしても使用されている。

診療放射線技師においては、救急認定制度の中で外傷診療の標準としてテキストやセミナーに取り入れ、周知が図られている。

2-2 外傷診療の原則

一般の日常診療では現病歴や既往歴を聴取し、身体所見をとり鑑別診断を行う。しかし、救急診療での外傷患者に対しては日常診療と全く異なる手順で診断を行わなければならない。JATECでは、外傷診療における守るべき戒律(図1)を提言しており、医師はこの戒律を遵守し診療を行っている。特に「時間を重視する」「二次損傷を加えてはならない」の項目に関しては診療放射線技師に深くかわる項目であり、外傷診療チームの一員として戒律を遵守し、診療にあたる必要がある。

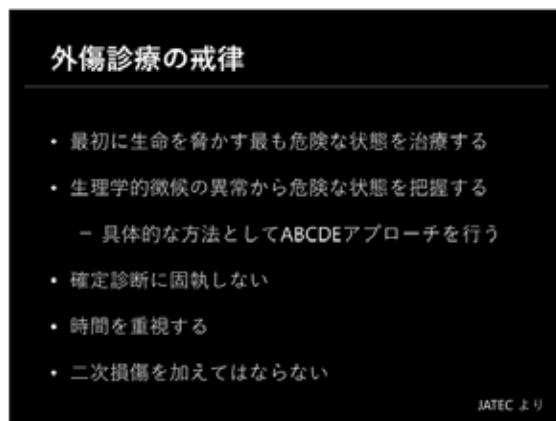


図1 外傷診療の戒律

2-3 時間との戦い

重症外傷ではショックといわれる症状により死に至るケースが多い。ショックとは、主要臓器への有効な血流が低下して組織代謝に異常をきたし、細胞機能が維持できないことによる症候群であると定義される。言い換えれば、細胞、組織の酸素需要と供給量のバランスが崩れた状態である。進行すれば、細胞、組織機能の障害から臓器不全を呈し、最終的には死に至る。

外傷患者におけるショックの9割は出血性

ショックによるものといわれている（残りの1割は心タンポナーデ、緊張性気胸といった閉塞性ショック）。出血性ショックをきたすケースでは、受傷してから止血するまで、血が流れ続けている状態であるといえる。また、外傷後には組織損傷に対する止血・創傷治癒過程の一環として生理的凝固線溶反応が起こる。重症外傷急性期では凝固反応を超えて線溶反応が著しく過剰となり、出血傾向が前面にみられる病態 = 線溶亢進型 DIC（播種性血管内凝固症候群 Disseminated Intravascular Coagulation : DIC）が発現する²⁾。線溶亢進型 DIC が発現している場合、「血が流れ続けている状態」に「出血傾向を前面とする凝固異常」が加わり、より危険な状態に陥る。重症外傷患者においては止血が3分遅れるごとに死亡率が1%上昇するといわれ、いかに早く止血できるか、この時間との戦いが患者の生死に直結することになる。

外傷の急性期に出血性ショックであると判断した場合には、迅速な出血源の検索、適切な止血法を選択し、早急に治療へ移行する必要がある。われわれ診療放射線技師も円滑な診療を行うため、“時間”を意識した行動が求められる。

3. 外傷診療の流れ

3-1 初期外傷診療手順の構成

外傷初期診療での基本的な流れを示す（図2）。



図2 外傷初期診療の流れ

外傷初期診療の手順として、まず生命維持のための生理機能にもとづいたABCDEアプローチ（後述）を最優先する。この最初の手順を外傷初期診療の「Primary Survey」と呼ぶ。ここで生命を危うくする生理学的機能の破綻が明らかになれば、ここで回復させ正常な機能を維持させる。これを「蘇生」といい、循環の安定化を図る。

生命の安全を保障したうえで、各身体部位の損傷を系統的に検索し、根本治療の必要性を決定する。これを「Secondary Survey」という。Primary Surveyで蘇生処置を必要とする病態を検索するために生理学的評価を用いるのに対し、Secondary Surveyでは損傷部位を検索するために解剖学的評価に主眼を置く。

Secondary Surveyで損傷部位が明らかになれば、根本治療を行う。

3-2 ABCDE アプローチ

外傷初期診療における国際的に共通した概念としてABCDEアプローチが定式化されている。外傷患者を救命するためには、最初に生命維持の生理機能にもとづいたアプローチが重要である。Primary SurveyでABCDEの異常を把握し、この順で蘇生を行うことになる。以降、ABCDEアプローチの詳細を述べる

① A : Airway

【気道評価・確保と頸椎保護】

気道が確保されているか評価する。話しかけ、声が出ていればAに異常なしと判断する。異常があれば、吸引、下顎挙上、気管挿管、輪状甲状靭帯切開といった、侵襲度の低いものから蘇生を行い、気道確保に努める。

② B : Breathing

【呼吸評価と致命的な胸部外傷の処置】

頸胸部に対する視診・聴診・触診・打診により、呼吸状態および胸部外傷を評価する。異常があれば、酸素投与、補助換気を行う。

③ C : Circulation

【循環評価および蘇生と止血】

ショックの同定と蘇生を行う。血圧のみで評

価するのではなく、皮膚所見、脈拍、Capillary refill time (CRT)、および意識レベルなどから総合的に判断する。Cの異常が明らかになれば、初期輸液療法、および出血源の検索、止血を行う。

D : Dysfunction of D

【生命を脅かす中枢神経障害の評価】

意識レベル、瞳孔所見、片麻痺などから生命を脅かす重症頭部外傷の有無を評価する。

④ E : Exposure and Environmental control

【脱衣と体温評価】

全身の衣服を取り、活動性出血や開放創の有無をみる。また、輸液や脱衣により体温は急激に低下する。低体温は出血傾向を助長し、生命を脅かす危険な因子となるため、蘇生を妨げない方法で保温に努める。

4. 外傷診療における画像検査

4-1 Primary Survey における画像検査



図3 Primary Survey での画像検査

Primary Survey で行われる画像検査 (図3) は、生命の危機に瀕する可能性のある病態、具体的に致死的な胸部外傷と大量出血の有無を検索する。これはB (呼吸)、C (循環) の評価にあてはまる。この画像診断が蘇生の指針になり得るため、速やかに、かつ正確に行われなければならない。

実際の画像診断では何を診ているのだろうか。実際に評価すべきポイントを示す (図4)。それ

ぞれの病態を示す画像所見は今回割愛するが、身体所見と後述の画像検査から評価し、異常が明らかになれば直ちに蘇生を行う。



図4 Primary Survey で評価が必要な病態

4-1-1 FAST

FAST (Focused Assessment with Sonography for Trauma) とは、ショックの原因となる大量血胸、腹腔内出血、心嚢液貯留の検索を目的とした迅速簡易超音波検査法のことをいう。評価すべき項目に焦点を当てて検査するため、術者による差はほとんどないとされる。FASTは時間をかけず、液体貯留 (出血) の有無のみを検索する。

4-1-2 胸部 X 線撮影

A・B・C・Dに異常を認める場合や高エネルギー外傷の場合には必須の検査である。Primary Surveyにおける胸部 X 線撮影でみるべきポイントに、「大量血胸の有無」、「フレイルチェストの原因となる多発肋骨骨折の有無」があり、撮影後

は詳細をみず、迅速に読影がされる。また、すでに挿入されたチューブ・カテーテル類があれば、それらの位置確認も行う。

4-1-3 骨盤 X 線撮影

Primary Survey での骨盤骨折診断は X 線写真 1 枚で行われる。ここでみるべきポイントは、出血性ショックの原因となり得る「不安定型骨盤骨折の有無」であり、撮影後は迅速に読影される。

4-2 Secondary Survey における画像検査

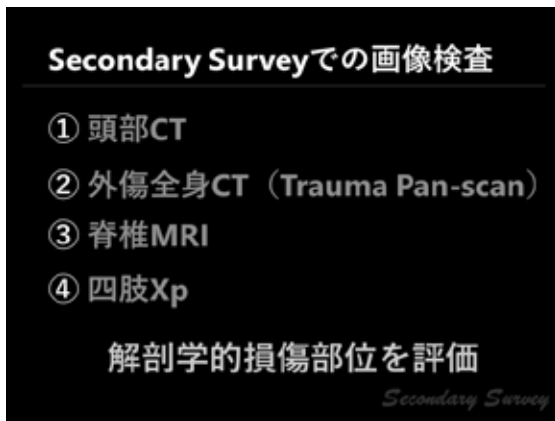


図5 Secondary Survey での画像検査

Secondary Survey は全身の損傷部位を検索する目的で行われ、Primary Survey の完了と蘇生の継続により、A・B・Cが安定していることを確認してから開始する。胸部と骨盤の X 線撮影を行っている場合は再度その読影を行う。身体所見の結果から必要となれば単純 X 線撮影する。基本的に躯幹部は後述の CT で評価するため、単純 X 線撮影の主たる検査部位は四肢となる。また、脊椎・脊髄損傷が疑われる場合は MRI 検査が行われる。

ここでは、Secondary Survey で行われる画像検査の中で、中心的役割を持つ CT 検査について、詳細を述べる。

4-2-1 外傷全身 CT (Trauma Pan-scan)

CT 検査は機器の性能向上と撮影時間の短縮により、近年ますますその有用性が指摘されている。

2009 年に発表された論文では、whole-body CT を行うことにより、予測生存率を上回る実生存率割合が得られたという報告がされ³⁾、一躍外傷患者への CT 撮影に拍車がかかることになった。

Trauma Pan-scan では、全身を網羅するように撮影しなければならないが、各部位によって必要な撮影条件が異なる (表1)。このため、部位ごとに造影・非造影とそのタイミングを工夫しなければならない。プロトコルの 1 例を以下に示す。

- ① 頸部から頭部まで非造影で撮影
- ② 造影動脈優位相で頭蓋底から骨盤まで撮影
- ③ 造影平衡相で胸部から骨盤まで撮影

若年層である場合や、外傷の度合いによって、撮影の一部を省略する (造影動脈優位相を省略する、など) こともある。しかし、予期していなかった部位に損傷が見つかる場合もあるので、撮影範囲には十分注意をする必要がある。

表1 外傷における部位別の CT 撮影条件

頭部	・非造影は必須 ・頭蓋底骨折・顔面骨折の可能性があれば動脈損傷の確認のため動脈優位相が必要
顔面	・水平断・冠状断を骨条件で再構成する ・二相 (動脈優位相・平衡相) 撮影を行うことにより血管外漏出が明瞭化する
頸部	・水平断・矢状断を骨条件で再構成する ・頸椎損傷が疑われるなら椎骨動脈損傷を確認するため動脈優位相が有用
躯幹部	・大動脈損傷や大量血胸が疑われるなら胸部を含めた二相撮影 ・FASTで腹腔内液体貯留があったり、不安定型骨盤骨折があるなら腹部骨盤腔を含めた二相撮影は必須 ・脊椎損傷の可能性があれば、矢状断を再構成

5. 実症例を通してみる診療放射線技師の役割

これまで、実際の外傷診療の流れと画像検査について解説してきた。この章では、当院で経験した 1 症例の外傷診療を、実際の流れに沿って提示しつつ、その中で求められる診療放射線技師の役割 (以下、CHECK ポイント) について述べる。

【症例：21 歳女性】

二人乗りの大型二輪が乗用車と衝突。二輪の後部に座っていた女性が事故現場から 5 メートルは

ど離れた電柱に、くの字になるような形で腹部を打ち付けた状態で倒れていた。

5-1 受入準備

救急隊より収容依頼が入ったため、受入準備を始める（図6）。患者情報の入手や人員確保、機材の準備、標準感染予防策などをして患者の到着を待つ。ストレッチャーの上にはX線透過性のバックボードを用意し、このとき間に枕木を挟むようにしておく。



図6 受入準備

5-2 Primary Survey

5-2-1 入室時所見

入室時の所見を示す（図7）。



図7 入室時所見

5-2-2 胸部・骨盤 X 線撮影

Primary Survey での画像検査として胸部・骨盤 X 線撮影を行い、胸部・骨盤に致死的異常は認められなかった。

このときの CHECK ポイントを示す（図8）。

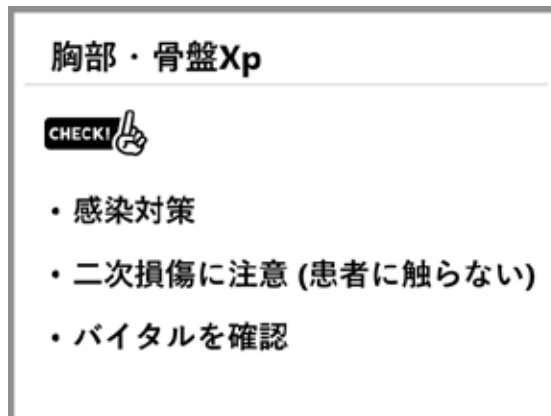


図8 胸部・骨盤 X 撮影での CHECK ポイント

・感染対策

外傷診療は、詳細な情報がない状態で収容される患者に対し診療を行わなければならない。つまり、詳細な感染症の情報もなく診療を開始することになる。医療者自身を守るためにも、収容されるすべての患者が血液などの体液にウイルスや細菌などを含み感染源になる可能性があるとし、感染対策を行う。X線撮影を行う診療放射線技師は、患者の非常に近い場所で作業することになるため、感染対策を徹底する必要がある。

・二次損傷に注意

外傷診療の戒律にもあるように、二次損傷には細心の注意をはらう必要がある。撮影時は、ストレッチャーとバックボードの間に枕木を挟むことで隙間ができるため、そこにCRやFPDを入れるようにする。この際、患者には触れないように注意する。

・バイタルを確認

基本的に、診療放射線技師はこの胸部・骨盤 X 線撮影が患者との初接触になる。このタイミングでバイタルを確認しておくことで、患者の重症度や診療の展開を予測でき、スムーズな検査にもつながる。

5-2-3 Primary Survey の総括

頻脈、血圧低値、FAST 陽性ということから、C（循環）の異常と判断し初期輸液療法を開始。

初期輸液療法後、NBP：106/63 mmHg、RR：36回/分、HR：106回/分となり、輸液に反応し循環はおおむね安定化した。

5-3 Secondary Survey

5-3-1 Trauma Pan-scan

Primary Surveyの完了と循環の安定が保たれたため、Secondary Surveyへ移行。損傷部位の確認のため、Trauma Pan-scanを行った。

撮影されたCTのFACT（後述）による所見として、大量腹腔内出血、脾動脈の途絶、脾損傷、左腎動脈の途絶、左腎損傷、後腹膜血種の形成が認められた。

このときのCHECKポイントを示す（図9）。



図9 Trauma Pan-scanでのCHECKポイント

・CT室滞在時間の短縮

かつて“死のトンネル”といわれていたCTは、技術の進歩と多列化により撮影時間が短くなっていることもあり、今では外傷診療に必須のものとなっている。しかし、重症外傷患者では循環動態が安定していても撮影中、または寝台への移動中に急変する可能性もあるため、注意が必要である。外傷診療は時間との戦いであるため、CT室の滞在時間を短縮させることに意識を向けることは非常に重要である。

・二次損傷に注意

外傷診療の戒律にもあるように、二次損傷には細心の注意をはらう必要がある。ストレッチャーからCTの寝台に移動する際は、バックボードご

と移動する。このとき、点滴類・人工呼吸器・ドレーンなど多くの付帯物がある場合には注意が必要である。

・迅速な画像提供

Trauma Pan-scanは、緊急処置の必要性、今後の治療方針の決定など、外傷診療において重要な位置づけにあり、撮影した画像が医師へ迅速に配信されるよう努める必要がある。また、診断の手助けとして、目的部位に合わせた多断面再構成画像（MPR：Multiplanar Reconstruction）の作成も重要となる。

・FACT

現在、時間を意識した外傷診断として、FACT（Focused Assessment with CT for Trauma）を含む3段階読影が、JATECにおいても標準化されている。FACTは読影の第1段階にあたり、直ちに緊急処置を要する項目だけ（表2）を3分以内に評価することで、全身に生じている損傷の概要を把握し、次に向かうべき大まかな方向性を決定する。FACTの知識を持っておくことで、次に行われる検査の予測が付きスムーズな診療につながる。

表2 FACTでの観察項目

1. 頭部CTで緊急減圧開頭術の必要性を判断
2. 大動脈の弓部から峡部で大動脈損傷の有無、縦郭血種の有無を判断
3. その尾側で広範な肺挫傷、血胸（および気胸）、心嚢血種を確認
4. 横隔膜から骨盤底まで一気のみて腹腔内出血を確認
5. 骨盤骨折や後腹膜出血を確認しながら頭側へ移動
6. 実質臓器（肝・脾・膵・腎）損傷の有無、腸間膜内の血種の確認

5-4 根本治療

5-4-1 TAE

Trauma Pan-scanのFACTから得られた所見より、緊急の経カテーテル的動脈塞栓術（TAE：Transcatheter Arterial Embolization）を行う方針となった。

途絶した脾動脈、左腎動脈に対しコイル塞栓を行い、出血の制御をした。

このときのCHECKポイントを示す(図10)。



図10 TAEでのCHECKポイント

・迅速な準備

外傷診療は時間との戦いである。TAEを行うことが決定した時点で血管撮影室の受入体制を整える。重症外傷患者の受入が分かった段階で血管撮影装置の立ち上げを行うこともひとつの手である。

Trauma Pan-scanを撮影後、初療室に戻らずに直接血管撮影室へ入室する場合もあるため、診療の妨げにならないよう注意する。

・二次損傷に注意

外傷診療の戒律にもあるように、二次損傷には細心の注意を払う必要がある。ストレッチャーから血管造影室の寝台に移動する際は、人数をかけて愛護的に移動する。

・PPP

PPP (Pre-Procedural Planning) は仮想透視画像に血管の走行や、出血点を重ねて表示したものである。どの位置からどの方向に血管が分岐・走行しているかを把握した状態で手技に臨むことで、解剖把握のための不必要なmapping造影や、透視下での盲目的なカテーテル操作による時間の浪費を省き、迅速な血管選択、止血が可能となる。PPPを手技前に医師が作成できない場合、診療放射線技師が作成し提供できれば、手技の大きなアドバンテージとなり得る。詳細は改定第2版救急撮影ガイドライン⁴⁾に記載されているので、参考にしていただきたい。

5-4-2 開腹手術

CTの2段階目の読影でFree Airを認めたため、開腹手術へ移行した。脾臓・左腎摘出、滲出性出血に対するタオルパッキング、損傷部位の縫合を行い仮閉腹した。翌日の2nd look手術で再度臓器の状態を確認し、閉腹した。

6. さいごに

本稿では、外傷診療の一連の流れと診療放射線技師に求められることについてまとめた。外傷診療は「とにかく時間を意識する」ことが必要である。そのためには、外傷診療の流れを知り、医療チームの一員として「共通認識」を持つことが重要となる。外傷診療における診療放射線技師の役割、考えなければならないことをしっかりと認識し、今後の診療に役立てていただければ幸いである。

さいごに、本稿はJATECの内容を中心にまとめてきた。JATEC本編ではより詳細に記載されているため、外傷診療に携わる者として一読しておくことを推奨する。

7. 参考文献

- 1) JATEC 外傷初期診療ガイドライン 改定第4版. 日本外傷学会・日本救急医学会監修:へるす出版. 2012.
- 2) 久志本成樹ほか: 外傷性急性期凝固異常: acute traumatic coagulopathy と trauma-induced coagulopathy: 血栓止血誌 2016;27(4): 399-407
- 3) Huber-Wagner S, et al: Effect of whole-body CT during trauma resuscitation on survival: a retrospective, multicentre study. Lancet.2009 373:1455-1461
- 4) 改定第2版 救急撮影ガイドライン. 日本救急撮影技師認定機構監修:ヘルス出版. 2016.

「医療放射線情報一元管理システム—Radimetrics—」

バイエル薬品株式会社
ラジオロジー事業部 山内 宏祥



■日本国内において、線量管理の重要性が高まりつつある。2015年にはJ-RIMEよりJapan DRLs 2015が発表され、2018年度には診療報酬の改定、2020年4月からは医療法施行規則の改正により医療被ばくの線量管理および線量記録が義務化となる。本稿ではバイエル薬品が販売する線量管理システム、Radimetricsの製品特長について述べたいと思う。

1. Radimetricsの特長

Radimetricsはマルチモダリティに対応したWeb参照型の線量管理システムである。RDSRやDose sheet、DICOM imageなどから検査情報および線量情報を自動取得し、検査ごとの照射線量や被験者の被ばく線量を管理、記録および統計的に分析することができる。

1-1 CTにおける線量管理機能

モンテカルロシミュレーションの実装により、CT検査時の被験者の臓器吸収線量および実効線量を算出することができる。各種撮影条件を変更した場合に増減する線量をシミュレートすることで、プロトコルの最適化をサポートする。SSDE算出機能も有しており、CTのAxial画像や位置決め画像から被験者の体型情報を解析し自動算出する(AAPM TG204、TG220参照)。その際に得られた被験者の実効直径情報を、統計分析時の体型指標とすることもできる。

1-2 血管撮影における線量管理機能

線量レポート画像から検査時の撮影線量や総線量、総透視時間などの線量情報を取得する。

RDSRには線量レポート画像にて出力される情報の他に、透視イベントごとの線量情報や各イベント時の幾何学的位置情報がレポートされている場合がある。この場合には、各撮影や透視における線量(面積線量もしくは基準点線量)を時系列で表示する機能や、入射皮膚線量マップを作製することが可能である。

1-3 その他の管理機能

核医学検査においては、核種投与条件を取得することで、検査情報、核種情報、実投与量、さらには実効線量(ICRP pub. 128参照)を算出し、それらを一元的に管理することができる。また、PET/CTやSPECT/CT検査に対しては、CT撮影時の実効線量(ICRP pub. 103参照)と併せた管理も可能とする。当社のCTインジェクタであるStellant with Certegra Workstationとのコラボレーションにより造影情報の管理も可能となる。線量管理機能を掛け合わせることで、造影検査の精度管理および造影条件の最適化にも役立つ。

■Radimetricsは診断参考レベルの活用と各種ガイドライン順守への一助となり、放射線医療分野の発展のために価値が高い情報を提供し続けることを目指している。

線量指標	CT	XA	RF	CR/DX	MG	NM (PET/SPECT)
CTDI _{vol}	●					
DLP	●					
SSDE	●					
実効線量(ICRP103)	●					
面積線量		●	●	●	●	
透視時間		●	●			
基準点線量		●	●			
入射表面線量		●			●	
EI (Exposure Index)				●		
平均乳腺線量					●	
実投与量						●
実効線量(ICRP128)						●

図1 Radimetricsが対応する線量指標



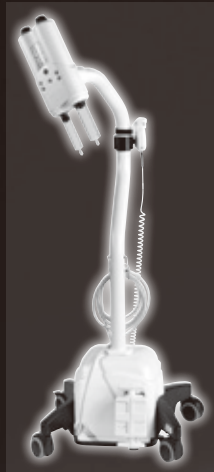
世界で8万台を超える 実績は、信頼の証。

世界の厳しい臨床現場で長年にわたりテクノロジーを進化させ続けてきた、
バイエルの医療機器。

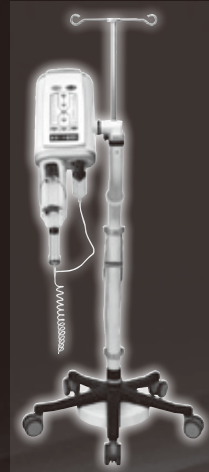
卓越した機能・操作性のインジェクターや最先端のX線線量管理システムで、
医療現場の検査・管理を強力にサポートします。



RadiCO₂lon



MEDRAD® Spectris Solaris EP



MEDRAD® Stellant



MEDRAD® Salient



Radimetrics
Enterprise Platform



MEDRAD® Mark 7 Arterion



MEDRAD® Avanta

製品に関する詳細情報は、各製品の取扱説明書、添付文書をご参照ください。

【販売名および医療機器認証番号】
アバンタ インジェクション システム：219AABZX00075000
MARK7 ARTERION インジェクション システム：223AABZX00121000
炭酸ガス注入装置 GEN2：224AABZX00184000
Salient インジェクション システム：222AABZX00174000
メドラッドCTインジェクター STL/D：21400BZY00411000
スペクトリスソラリス インジェクション システム：21300BZY00292000
Radimetrics ネットワーク型マルチモダリティ対応線量管理システム



製品の詳細は、QRコードから弊社Webサイトでご覧いただけます。

製造販売業者
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
E-Mail: BYL-RAD-CS@bayer.com

第9回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
 会 長 挨 拶
 来 賓 挨 拶
 表 彰
 総会運営委員会報告
 議 長 選 出
 総 会 職 員 任 命
 議 事
 報 告

第1号議案 2019年度 事業報告 (案)
 第2号議案 2019年度 決算報告 (案)
 第3号議案 2019年度 監査報告
 第4号議案 名誉会員の承認
 第5号議案 その他
 2019年度 補正予算 報告
 2020年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

第9回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

2019年度事業報告（案）

2019年度事業報告（案）

1. 総括

2019年9月の全国大会では演題数448演題、参加登録者数2,499人という大成功を収めました。開催期間の3日間はイベント会社を全く入れず、全て実行委員の力で運営を行いました。実行委員一人一人の力の結集が成功を導いたと確信していますし、これまでの全国大会の歴史の1ページを本会の実行委員が作ったと言っても過言ではありません。東京、神奈川、千葉、茨城、栃木、群馬の都県技師会の力を借りて成功したということも大きな意味があったと思います。

また、公益事業では昨年度から学校教育の中で「3DWS 人体解剖学体験」の授業を始めました。現代医療は医療従事者以外のテクノロジーによって支えられているということを知っていただく。また、医療従事者はチーム医療構築のためにコミュニケーション能力が必要だともいわれていますが、コミュニケーションが苦手な人でも医療で貢献できるということを知っていただきたいということを含めた目的でこの事業を始めました。

今回も会員の皆さまの忌憚のないご意見を頂戴致しまして会の運営に反映していきたいと思えます。

どうぞ、よろしくお願い致します。

2019年度の主な出来事

- ①令和元年スタート
- ②ノートルダム大聖堂で火災
- ③仁徳陵世界遺産に登録
- ④京都アニメーション放火
- ⑤台風15号首都圏直撃
- ⑥台風19号首都圏直撃
- ⑦消費税10%スタート
- ⑧首里城火災
- ⑨流行語大賞「ワンチーム」
- ⑩新型コロナウイルスパンデミック

公益活動

例年通り、各支部では各市町村で行われる「健康まつり」へ積極的な参加を行っており、併設された被ばく相談などでは県民から高い評価を得ております。

県立高校での「放射線特別授業」は、継続事業となっております。県立高校の授業の一環として教壇に立ち、文部科学省のカリキュラムに沿って診療放射線技師会が授業を担務しているというのは、非常に意味のあることです。また、委員会を立ち上げ、この事業に関わる会員の皆さまの研鑽の場となると確信しております。

さらには、今年度から中高の学校教育の中で「3DWS 人体解剖学体験」の授業を始めました。浦和明の星高校・中学、埼玉栄高校の2校にて授業を行ったところ、高い評

価を得ており来年度授業の申し込みもいただきました。今後も対象高校を増やし、業務を拡大していきたいと思えます。

学術活動

各モダリティで認定講習会を開催し、基礎からハイレベルまで対応したきめ細かな内容となっています。これまでの事業は継続し発展させていきます。

会員の育成

埼玉県では以前から、講師育成に取り組んでまいりました。多くの埼玉県会員が、他学会・他県技師会などで活躍しております。近年では国際学会で発表する診療放射線技師も増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員の育成

技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。他職種と多くの関わりあいを持ち役員の成長につなげてまいります。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシューズセミナーは今年度も県内外から多数の参加者がありました。今後も会員入会促進事業として継続していきたいと考えております。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている50年、30年の対象者を抽出し返信いただいた会員の方々を日本診療放射線技師会に推薦致しました。表彰は2020年仙台で行われる学術大会にて行われます。埼玉県診療放射線技師会の40年、20年永年勤続表彰は、対象者となる会員の方々を表彰委員会に推薦致しました。こちらの表彰は当会定期総会にて行う予定です。

恒例となりました新春の集いは、会員、賛助会員、新入会員が一堂に会し、例年同様和やかに開催されました。いずれの事業におきましても入会促進また会員の福利厚生事業として継続の必要性があると考えております。

2) 学術

学術活動において、会員が参加したいイベントが、身近に開催していることが大切と考えています。また最新のこのみではなく、診療放射線技師として基本的な内容を掘り下げていくことも本会の役割と思っています。本会においては10年以上前から読影に関してもセミナーを通じて教育のカリキュラムに取り組んでまいりました。平成22年4月、厚生労働省医政局通知にもあったように診療放射

線技師の読影の補助ということが社会的に重要視されるようになったことは本会としても教育指針に関して、方向の整合性が取れていると考えています。本年度学術事業の方向性に関しては、昨年と同様に考え進めてまいりました。近年、外部環境は、各種認定制度や専門技師制度が確立されつつあり、周囲の状況を踏まえ各セミナーおよび、講習会を開催してまいりました。本年度認定講習会は、胸部認定講習会・上部消化管検査認定講習会・CT検査認定講習会を開催しました。胸部認定講習会においては、診療放射線技師の読影やデジタル画像における撮影線量の最適化の講義を充実させました。上部消化管認定講習会・CT検査認定講習会においては、それぞれの認定機構や地域研究会との整合性を図り開催しました。また、内容に関しても充実し、実践的な教育をしてまいりました。一部新型コロナウイルスの影響により開催できなかったものもありますが、多数の参加者が得られました。

3) 編集・情報

埼玉放射線 Vol.67 No.3・4、Vol.68 No.1・2の計4号を発刊しました。編集・情報活動は本会活動の中でも、重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、平成26年から発行回数が年4回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Webサイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針のもと、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や、放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を、専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これらWebサイトの他、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Webサイトやメルマガは即時性の高い情報提供手段と考えています。

今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

2019年度本会公益活動として

- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
 - ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
 - ・ホームページからの被ばく相談（実績12件）
 - ・放射線特別授業（埼玉県内の高校へ放射線関連の授業を行う）を2校3回実施
 - ・被ばく相談事例検討会の開催（COVID-19対策で延期）を行ってきました。
- 公益活動は「不特定かつ多数のものの利益」と考えられ

がちですが、内閣府の公益認定など委員会では公益活動は対象が特定または少数であることが問題なのではなく、その活動が「求められているか」と受益の機会が「開かれているか」という2点をポイントとしています。この2点から2019年度公益活動を振り返り、地域住民ひいては県民とわれわれ診療放射線技師をつなぐ懸け橋としてだけでなく、医療に携わる者としての意識向上とチーム医療推進のために医療関係職種との交流を持った活動を展開していく所存であります。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- | | |
|---|---|
| ア. 第35回日本診療放射線技師学術大会の開催 | ◎ |
| イ. 埼玉県診療放射線技師学術大会の開催 | - |
| ウ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会 | ○ |
| エ. 胸部撮影認定講習会 | ○ |
| オ. 上部消化管検査認定講習会 | ○ |
| カ. フレッシュアップセミナー（SARTセミナー） | ○ |
| キ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー
（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成） | × |
| ク. CT認定講習会 | ○ |
| ケ. MRI基礎講習会 | - |
| コ. 乳腺セミナー | ○ |
| サ. DR計測セミナー | - |
| シ. 救急撮影ケーススタディー
（日本救急撮影技師認定機構との共催） | ○ |
| ス. 読影力向上のための講習会
（支部開催セミナー） | ○ |
| セ. 業務拡大に伴う統一講習会 | ○ |

*新型コロナウイルスの影響により一部開催を中止

- | | |
|-------------------------------|---|
| (2) 会員講師の育成と体制づくり | ○ |
| (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進 | |
| ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 | ○ |
| イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力 | ○ |
| ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援 | ○ |
| エ. 埼玉臨床画像研究会への協力 | × |
| オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 | ○ |
| カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 | ○ |
| キ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） | ○ |

2. 組織運営に関わる事業

- | | |
|---------------------------|---|
| (1) 行政との連携 | ○ |
| (2) 入会促進事業の強化 | ○ |
| 3. 公益目的事業 | |
| (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊 | ○ |
| (2) 市民公開講座の開催 | × |

- (3) 地域自治体主催事業への参画 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○
- (5) 県民向けホームページの充実 ○
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
- (7) 公立学校における放射線教育の担務 △

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実 ○
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報 ○
- (3) メールマガジンの有効利用 ○

5. その他

- (1) 他医療職種団体との連携 ○
- (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

2019年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 2019年度役員は次のとおりである。

役職名	氏名	担当
会長	田中 宏	
副会長	堀江 好一	
	富田 博信	
監事	橋本 里見	
	浅野 克己	
常務理事	結城 朋子	総務
	城處 洋輔	総務
	潮田 陽一	財務
	今出 克利	学術
	八木沢英樹	編集・情報
	佐々木 健	公益
理事	双木 邦博	総務・第一支部
	大西 圭一	総務・第二支部
	大野 哲治	総務・第三支部
	大野 渉	総務・第四支部
	矢崎 一郎	総務・第五支部
	茂木 雅和	総務・第六支部
	寺澤 和晶	学術
	山田 智子	学術
	中根 淳	学術
	清水 邦昭	編集・情報
同	紀陸 剛志	公益

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第8回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を2019年6月17日(日)、埼玉会館において会員47人出席、有効委任状提出662人、合計709人にて開催した。総会では平成30年度事業報告案、平成30年度決算報告案、平成30年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議した。

イ. 理事会は下記のとおり8回開催し、重要案件について審議し決議した。

理事会開催状況

	年月日	開催場所
1	2019. 05. 09	技師会事務所
2	2019. 06. 06	同
3	2019. 06. 16	同
4	2019. 07. 04	同
5	2019. 09. 05	同
6	2019. 11. 07	同
7	2020. 01. 09	同
8	2020. 03. 05	同

ウ. 常務理事会は下記のとおり5回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理した。

常務理事会開催状況

	年月日	開催場所
1	2019. 04. 04	技師会事務所
2	2019. 08. 01	同
3	2019. 10. 03	同
4	2019. 12. 05	同
5	2020. 02. 06	同

エ. その他

連絡会議並びに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理した。

連絡会議

	年月日	開催場所
1	2019. 04. 25	技師会事務所
2	2019. 05. 30	同
3	2019. 10. 31	同

予算会議

	年月日	開催場所
1	2020. 02. 19	埼玉県立小児医療センター

北関東地域会長会議

	年月日	開催場所
1	2019. 06. 30	一橋講堂
2	2019. 11. 30	大宮ソニックシティ

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表のとおりである。

委員会名	開催年月日
総会運営委員会	2019. 06. 17
編集情報委員会	2019. 07. 17
	2019. 09. 03
	2019. 11. 06
	2020. 01. 15
企画班委員会	2019. 08. 07
	2020. 02. 12
学術委員会	2019. 04. 23
	2019. 10. 10
	2019. 12. 17
公益委員会	2019. 05. 21
	2019. 08. 22
	2019. 10. 24
	2020. 01. 23
放射線特別授業運営委員会	公益委員会と合同

表彰委員会

	年月日	開催場所
1	2019. 10. 25	技師会事務所

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役職名	氏名
委員長	藤間 英雄
委員	小島 精一 渡辺 弘
同	田中 宏 堀江 好一
同	富田 博信 結城 朋子
同	城處 洋輔 平野 雅弥

イ. 医療画像展実行委員会 (秩父会場)

役職名	氏名
実行委員長	横田 文克
副実行委員長	大野 渉
実行委員	清水 浩和 大谷 智則
同	増渕 康太 斎藤 幸夫
同	高井 太市 柏瀬 義倫
同	阿佐美裕史 新井 孝史
同	三上 紀之

ウ. 医療画像展実行委員会 (浦和区会場)

役職名	氏名
実行委員長	双木 邦博
実行委員	野々浦成美 石田 貴志
同	高橋 優 坪 あずさ
同	野崎秋香里 傳田 亜巳
同	関口 諒 八木沢英樹
同	佐藤 智哉 平野 香
同	鎌田 靖男 安田 一平
同	酒井 利幸 佐藤夏都美

エ. 医療画像展実行委員会 (川越会場)

役職名	氏名
実行委員長	大野 哲治
実行委員	高瀬 正人 大塚 和也
同	荻野 孝 柳下 友明
同	大友 正人 吉澤 圭
同	村上由花子 細田 菜月
同	石川 真衣 原 真里枝
同	磯野麻衣子 松本 朱音

オ. 医療画像展実行委員会 (越谷市会場)

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	矢部 智 金子 初穂
同	中嶋 幸孝 眞壁 耕平

カ. 医療画像展実行委員会（深谷会場）

役職名	氏名
実行委員長	大野 渉
副実行委員長	清水 浩和
実行委員	増渕 康太 横田 文克
同	斎藤 幸夫 柏瀬 義倫
同	小林 茂幸 大谷 智則
同	坂本 里紗 登坂 崇史
同	長沼紗由美

キ. 医療画像展実行委員会（伊奈町会場）

役職名	氏名
実行委員長	茂木 雅和
副実行委員長	仲西 一真
実行委員	飯島 竜 嶋崎 恭介
同	小野寺将真 石坂紗也加
同	小屋 匠

ク. 医療画像展実行委員会（春日部会場）

役職名	氏名
実行委員長	矢崎 一郎
実行委員	金子 初穂 中嶋 幸孝
同	長坂 純

ケ. 編集・情報委員会

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	肥沼 武司 潮田 陽一
同	宮崎 雄二 吉田 敦
同	大友 哲也 渡部 伸樹
同	堀越 隆之 渡辺 嵩広

コ. 企画班（編集・情報委員会）

役職名	氏名
委員長	八木沢英樹
副委員長	清水 邦昭
委員	河原 剛 眞壁 耕平
同	渡辺 嵩広

サ. 学術委員会

役職名	氏名
委員長	今出 克利
副委員長	寺澤 和晶 山田 智子
同	中根 淳
委員	富田 博信 土田 拓治
同	佐々木 健 大森 正司
同	城處 洋輔 近藤 敦之
同	滝口 泰徳 伊藤 寿哉
同	大根田 純 亀山 枝里
同	持田 朋之 妹尾 大樹

シ. 公益委員会

役職名	氏名
委員長	佐々木 健
副委員長	紀陸 剛志
委員	芦葉 弘志 志藤 正和
同	矢島 慧介 内海 将人
同	眞壁 耕平 石田 仁子
同	坂本 里紗 大河原侑司
同	内田 瑛基 佐藤 克哉

ス. 総務・財務委員会

役職名	氏名
委員長	結城 朋子
副委員長	城處 洋輔 潮田 陽一
委員	堀江 好一 富田 博信
同	双木 邦博 大西 圭一
同	大野 哲治 大野 渉
同	矢崎 一郎 茂木 雅和
同	田中 達也 矢部 智
同	佐々木 剛

セ. 総会運営委員会

役職名	氏名
委員長	飯島 竜
委員	野々浦成美 野口 佳
同	岡部 一弥 横田 文克
同	岩井 悠治

ソ. 総会実行委員会

役職名	氏名
委員長	田中 宏
副委員長	堀江 好一 富田 博信
委員	結城 朋子 城處 洋輔
同	潮田 陽一 今出 克利
同	八木沢英樹 佐々木 健

タ. 選挙管理委員

役職名	氏名
委員長	矢部 智
同	吉澤 圭 新井 偉生
同	福田 栞 尾形 智幸

(5) 表彰

叙勲瑞宝双光章受賞(敬称略)

小川 清、小池 正行

保健衛生知事表彰(敬称略)

なし

公衆衛生功労知事表彰(敬称略)

矢崎 一郎、大森 正司、平野 雅弥

公衆衛生事業功労者(財)日本公衆衛生協会会長表彰(敬称略)

山本 英明、星野 弘

(公社)日本診療放射線技師会表彰

永年30年勤続者表彰(11人、敬称略)

飯野 進、石塚 光次、桑波田景齊、笹川 晃、
佐治 明、鈴木 孝、瀧澤 誠、田中 達也、
豊田 薫、星野 弘、堀江 好一

(公社)埼玉県診療放射線技師会表彰

永年20年勤続者表彰(7人、敬称略)

棹山孔太郎、諏訪 和明、高橋 利聡、中西めぐみ
吉原 信之、村田 雅弘、富田 良枝

(6) 物故者

なし

(7) 会員の動向(2020年3月5日現在)

項目	会員数
2018年度末 会員数	1,272人
2019年度 新入会者数	132人
同 再入会者数	3人
同 転入者数	7人
同 転出者数	13人
同 退会者数	19人
2019年度末 会員数	1,382人

(8) 2019年度賛助会員22社(順不同)

- シーメンスヘルスケア株式会社
- GEヘルスケア・ジャパン株式会社
- キヤノンメディカルシステムズ株式会社
- 株式会社三田屋製作所
- 株式会社日立製作所
- 株式会社メディカル・サービス T&K
- コニカミノルタジャパン株式会社
- 第一三共株式会社
- カイゲンファーマ株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- 日本メジフィジックス株式会社
- 株式会社フィリップス・ジャパン
- バイエル薬品株式会社
- 富士フイルム富山化学株式会社
- 日本放射線防禦株式会社
- ケアストリームヘルス株式会社
- 株式会社サイカンシステム
- 島津メディカルシステムズ株式会社
- 株式会社東日本メディカル
- 株式会社ドクターネット
- 株式会社 neo
- 株式会社アゼモトメディカル

2. 学術教育活動報告

(1) 第18回胸部認定講習会

講師: 滝口泰徳、土田拓治、染野智弘、戸澤僚太、
浅野省二、佐々木健

日時: 2019年11月24日(日)

場所: 済生会川口総合病院

参加者: 19人

(2) 2019年度胸部認定試験

日時: 2020年1月18日(土)

場所: 技師会事務所

参加者: 18人

指導員: 森一也(済生会川口総合病院)

準指導員: 小澤翼(豊岡第一病院)

菊地優貴(川口市立医療センター)

小松英司(宇治病院)

土居旺(伊奈病院)

沼田将太(西大宮病院)

菊地一成(上尾中央総合病院)

市川暁(上尾中央総合病院)

関口諒(済生会川口総合病院)

鈴木雄大(済生会川口総合病院)

(3) 第2回 SART学術ナイトセミナー

~専門家が教えるこれだけは知って欲しい撮影技術~

講師: 亀山枝里、持田朋之、大根田純

日時：2020年1月24日（金）
場所：桶川市民ホール 響の森
参加者：18人

(4) 第11回CT認定講習会

講師：富田博信、染野智弘、八木沢英樹、
寺澤和晶、中根 淳、志藤正和、
城處洋輔

日時：2020年1月19日（日）
場所：済生会川口総合病院
参加者：29人

(5) 上部消化管検査認定講習会

講師：今出克利、大森正司、吉田諭史、
工藤安幸、河村 賢、小西次郎、
志田智樹

日時：2020年2月11日（火・祝）
場所：さいたま赤十字病院
参加者：21人

(6) 2019年度 乳腺セミナー ～腫瘍編～

講師：亀山枝里、新島正美、坂井香澄

日時：2020年2月16日（日）
場所：さいたま赤十字病院
参加者：46人

3. 編集・情報・企画班 活動報告

(1) 編集活動報告

2019年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第67巻257号から第68巻260号まで、計4回発刊致しました。

第67巻7月257号では、誌上講座：平成29年度SART支部合同勉強会抄録集「脊椎（腰椎）MRIの基礎」「日常検査から考える脊椎MRI」「小児外傷撮影と固定法」「当院における小児全身骨撮影項目の検討」、第8回定期総会資料など。

第67巻10月258号では、誌上講座：平成29年度SART支部合同勉強会抄録集「DRL（診断参考レベル）を測定してみよう」「散乱線補正処理技術の活用法」「良肢位を考慮した肩関節撮影」。放射線治療に関して「全国平均に対する埼玉県の放射線治療スタッフの現状」。

第68巻1月259号では、誌上講座：「TAVI術前計測～Bicuspid Aortic Valve編～」「当院におけるサイバーナイフによる放射線治療の現状」。第33回埼玉県診療放射線技師学会大会抄録集など。

第68巻5月260号では、連載企画：③トモシンセシスを用いた乳がん画像診断～現状と課題～。誌上講座：第5回診療放射線技師BRTセミナー（テーマ：救急）若手セミナー抄録集「心電図を学ぼう～胸痛患者の心電図異常～」「三次救急症例から学んだ画像診断」「外傷診療における診療放射線技師の役割」。また前年度に続き、協賛企業

の方々に「技術解説」をご執筆いただき、多くの方から内容について好評をいただきました。

(2) 情報活動報告

ア「会員向けHP」

- 1) 学術案内（76件）
- 2) 巻頭言（4件）258号まで
- 3) 会誌（4件）252～255号まで
- 4) お知らせ（16件）

イ「一般向けHP」

- 1) 「会誌・バックナンバー」252～255号まで
- 2) 第35回日本診療放射線技師学会大会「市民公開講座」のお知らせ
- 3) 診療放射線技師による出前授業「放射線について考えよう」の開催について

ウ「メールマガジン配信」

- 1) 配信6件（no.95からno.100まで）
- 2) 登録11件

(3) 企画班活動報告

ア. 会誌企画

- 1) 2019年7月257号

誌上講座：平成29年度SART支部合同勉強会抄録集

「脊椎（腰椎）MRIの基礎」

「日常検査から考える脊椎MRI」～更なるスキルアップのために～

「小児外傷撮影と固定法」

「当院における小児全身骨撮影項目の検討」～子ども虐待対応・医学診断ガイドをふまえて～

技術解説：「富士フィルム富山化学株式会社のX線造影剤のご紹介」富士フィルム富山化学株式会社

「プレミアムDRカートシステム「CALNEO AQRO」について」富士フィルムメディカル株式会社

- 2) 2019年10月258号

誌上講座：平成29年度SART支部合同勉強会抄録集

「DRL（診断参考レベル）を測定してみよう」～整形外科領域～

「散乱線補正処理技術の活用法」

「良肢位を考慮した肩関節撮影」患者体型にあったやさしい撮影

放射線治療に関して「全国平均に対する埼玉県の放射線治療スタッフの現状」

技術解説：「PET/CT最新機能 Advanced MotionFree 紹介」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社。

- 3) 2020年1月259号
誌上講座：
「TAVI術前計測」～Bicuspid Aortic Valve編～
「当院におけるサイバーナイフによる放射線治療の現状」
- 4) 2020年5月260号
連載企画：
③トモシンセシスを用いた乳がん画像診断
～現状と課題～
誌上講座：
第5回診療放射線技師BRTセミナー（テーマ：救急）若手セミナー抄録集
「心電図を学ぼう～胸痛患者の心電図異常～」
「三次救急症例から学んだ画像診断」
「外傷診療における診療放射線技師の役割」。

4. 新春の集い

開催日時：2020年1月10日（金） 19:00～21:00
会 場：大宮サンパレス GLANZ「ストーリーア」
参加者：会員42人、賛助会員40人、新入会員25人、
合計107人

5. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

6. 公益活動

(1) 医療画像展

- ア. 秩父市保健センターまつり
日 時：2019年6月2日（日）
場 所：秩父市保健センター
- イ. 越谷市民祭り
日 時：2019年10月27日（日）
場 所：越谷市役所庁舎内
- ウ. 深谷市福祉健康まつり
日 時：2019年10月27日（日）
場 所：深谷市総合体育館
- エ. 浦和区健康まつり
日 時：2019年11月3日（日）
場 所：浦和コミュニティセンター
- オ. 川越市健康まつり
開催日時：2019年11月10日（日）
場 所：ウエスタ川越
- カ. 彩の国いきいきフェスティバル
日 時：2019年11月17日（日）
場 所：埼玉県民活動総合センター
- キ. ばぼら春日部イベント
日 時：2019年12月7日（土）～8日（日）
場 所：春日部市民活動センター

- (2) 被ばく相談
ア. 各支部医療画像展にて開催
イ. ホームページにて12件
- (3) 放射線特別授業
ア. 浦和明の星女子高等学校
日 時：2020年1月25日
イ. 埼玉栄高等学校
日 時：2020年2月15日
2020年2月22日
- (4) 被ばく相談事例検討会
日 時：2020年3月14日（延期）

7. 支部報告

第一支部

支部理事	双木 邦博	
監 事	宮澤 浩治	
役 員	八木沢英樹	野々浦成美
	福田 栞	小野寺衣里
	戸澤 僚太	内藤 完大
	佐野 智哉	平野 香
	鎌田 靖男	安田 一平
	酒井 利幸	佐藤夏都美

(1) 地区役員会

日 時：2019年5月21日（火）19:00～
場 所：JCHO 埼玉メディカルセンター
参加人数：10人
内 容：浦和区健康まつり、勉強会内容、
新役員紹介

(2) 浦和区健康まつり2019

日 時：2019年11月3日（日）10:00～15:00
場 所：浦和コミュニティセンター
参加事業：超音波式骨密度測定
医療画像展
放射線検査の啓発・説明

実行委員：15人
来場者数：6,225人
測定人数：403人

(3) 宮澤浩治氏・富田博信氏・結城朋子氏の受章を祝う会

日 時：2020年2月9日（日）16:00～
場 所：ベルヴィ武蔵野
出席者数：54人

第二支部

会 長（支部理事）	大西 圭一
会 計	栗原 真 小田島明子
監 事	仲埜 智文
役 員	瀧澤 誠 近藤 忠晴 山下 隆行 矢幅 俊一

(1) 循環器 CT セミナー 2019 (第2支部・バイエル薬品共催)

日時: 2019年8月31日(土)

場所: 浦和コロソココミュニティプラザ

参加人数: 107人

内容:

ア、基礎講演

座長 AIC 八重洲クリニック 館林 正樹
「冠動脈 CT の読影レポート作成」

講師 かわぐち心臓呼吸器病院 竹本 直哉
「周波数で考える画像の見え方」

講師 神奈川県立循環器呼吸器病センター
太田 陽一郎

イ、ランチョンセミナー「心臓 CT 最新技術報告」

座長 さいたま赤十字病院 池野 裕太

講師

フィリップスエレクトロニクスジャパン 草山 裕介
シーメンス・ジャパン 上垣亜寿美

キヤノンメディカルシステムズ 田口 浩

GEヘルスケア・ジャパン 紫藤 尚利

ウ、技師セッション

『装置特性を活かした Cardiac imaging 2019』

座長 神奈川県立循環器呼吸器病センター
太田 陽一郎

「Revolution CT」

講師 上尾中央総合病院 吉澤 俊佑

「IQon Spectral CT」

講師 みなみ野循環器病院 三澤 慎也

「Aquilion Precision」

講師 所沢ハートセンター 大西 圭一

エ、『日本診療放射線技師会の法改正への取り組みと展望』

講師 日本診療放射線技師会理事 富田 博信

オ、特別講演 I

『心臓 dual-energy CT の可能性』

座長 江戸川病院 佐藤 英幸

講師 杏林大学医学部 放射線医学教室 准教授
町田 治彦 先生

カ、特別講演 II

『心臓の解剖・生理から見直す虚血性心疾患の CT・MRI』

座長 高瀬クリニック 高柳 知也

講師 杏林大学保健学部 診療放射線技術学科
教授 天沼 誠 先生

(2) 2019 年度支部合同勉強会 in 熊谷

日時: 2019年11月9日(土) 13:00~18:00

場所: 森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ

参加人数: 60人(学生2人)

内容:

総合司会 田中 里奈 さいたま赤十字病院

ア、支部合同 セッション

「読影力向上セミナー」

座長 東松山市民病院 増淵 康太

大宮中央総合病院 小屋 匠

「胸部読影~超基礎入門~」

講師 上尾中央総合病院 茂木 大哉

「RI 検査での読影力向上」

講師 羽生総合病院 新井 拓也

「MMG の基礎~読影編~」

さいたま赤十字病院 館沼 理保奈

イ、技師講演 (1)

「今さら聞けない○○」

座長: 羽生総合病院 大野 渉

「今さら聞けない肝臓区域と手術支援」

講師 上尾中央総合病院 仲西 一真

ウ、技師講演 (2)

『法改正に向けて~各施設でやらなきゃならない事~』

座長 上尾中央総合病院 金野 元樹

「医療法一部改正の内容と安全管理体制の構築について」

講師 越谷市立病院 矢部 智

「実際の運用について ~現場はどうすればいいの?~」

講師 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志

エ、基調講演

『温故知新!これが私の原点』

~自分が将来、どんな技師になるのか?を考えよう~

座長 済生会栗橋病院 内海 将人

講師 さいたま市民医療センター 今出 克利

JCHO さいたま北部医療センター 堀江 好一

第三支部

会長(支部理事) 大野 哲治

副会長 高瀬 正人

会計 大塚 和也

監事 今井 昇

役員 荻野 孝 柳下 友明

大友 正人 吉澤 圭

(1) 第1回 支部役員会

日時: 2019年4月15日(月) 19:00~20:10

会場: 埼玉医科大学総合医療センター

参加人数: 7人

内容: 2019年度事業日程について

(2) 第33回川越市健康まつり 実行委員会

日時: 2019年5月27日(月) 13:30~15:00

場所: 川越市総合保健センター

- 内 容：昨年度健康まつりの解説、今年度の概要説明
参加人数：22人
- (3) 第6回埼玉県大腸CT研究会 in KAWAGOE
日 時：2019年6月8日(土) 14:00～17:00
場 所：ウェスタ川越
内 容：テーマ「大腸CT二次健診」
参加人数：80人
- (4) 第1回 支部勉強会
日 時：2019年6月21日(金) 19:00～
場 所：ウェスタ川越
参加人数：51人
内 容：今年度事業予定・役員報告
技師講演
・CT最新技術について
シーメンスヘルスケア株式会社 吉田 博一
・CTの基礎
埼玉医科大学病院 滝田 裕一
・急性膵炎CTでのポイントは
埼玉医科大学病院 山岸 純
- (5) 第3支部納涼会
日 時：2019年7月20日(土) 19:30～
場 所：彩々 川越店
参加人数：27人
- (6) 第33回川越市健康まつり 第2回実行委員会
日 時：2019年8月26日(月) 14:00～15:00
場 所：川越市総合保健センター
参加人数：18人
- (7) 第2回 支部役員会
日 時：2019年9月3日(火) 18:50～
場 所：埼玉医科大学総合医療センター
参加人数：6人
- (8) 第33回川越市健康まつり 第3回実行委員会
日 時：2019年10月3日(木) 13:30～15:00
場 所：川越市総合保健センター
参加人数：19人
- (9) 第三支部ボウリング大会
日 時：2019年10月18日(金) 19:30～21:00
場 所：川越ボウリングセンター
内 容：支部会員親睦
参加人数：28人
- (10) 第3回 支部役員会
日 時：2019年10月18日(金) 19:00～19:30
場 所：川越ボウリングセンター
内 容：川越市健康まつり、合同勉強会
参加人数：7人
- (11) 第33回川越市健康まつり
日 時：2019年11月10日(日) 10:00～15:00
場 所：ウェスタ川越
内 容：医療画像展、パネル展示、骨密度測定など

- 参加人数：9日：7人、10日：13人
来場者数：5,000人(放射線ブース：579人)
- (12) 第33回川越市健康まつり 第4回実行委員会
日 時：川越市総合保健センター
日 時：2020年1月16日(木) 13:30～15:00
内 容：報告会・次年度計画
参加人数：19人
- (13) 第三支部 新年会
日 時：2020年1月25日(土) 19:30～
場 所：GRILL&BEER SAIBOKU 川越店
参加人数：19人
- (14) 第4回 支部役員会
日 時：2020年2月13日(木) 19:00～19:30
場 所：埼玉医科大学国際医療センター
内 容：総会資料について
- (15) 2019年度 第三支部定期総会
日 時：2020年3月19日(木) 19:00～19:30
場 所：埼玉医科大学総合医療センター
内 容：総会
参加人数：7人

第四支部

会 長(支部理事) 大野 涉
副会長 清水 浩和
会 計 高井 太市
役 員 大谷 智則 増淵 康太
横田 文克 柏瀬 義倫
監 事 山田 伸司 斎藤 幸夫

- (1) 第四支部引き継ぎ会
日 時：2019年4月19日(金) 19:00～
場 所：熊谷総合病院
参 加 者：8人
- (2) 第1回 支部勉強会
日 時：2019年5月23日(木) 18:30～20:30
場 所：さくらめいと 第1会議室
内 容：
乳がん検診・乳がん診断に向けて
検査にかかわるすべての人のために…
SenographePristina
GEヘルスケア・ジャパン(株) 山下 清美
Dose Watchのご紹介
GEヘルスケア・ジャパン(株) 辻澤 習
乳房用超音波診断装置 ABUSの使用経験
羽生総合病院 柏瀬 弥生
放射線科の医療安全について
東松山市立市民病院 新井 偉生
新人の皆さまへ 技師歴25年から学んだこと
深谷赤十字病院 齋藤 幸夫
- 参 加 者：41人

- (3) 第1回 支部役員会
 日時：2019年5月23日(木) 20:30～21:30
 場所：さくらめいと 第1会議室
 内容：秩父健康祭り、納涼会、勉強会
 参加者：8人
- (4) 医療画像展(秩父市保健センターまつり)
 日時：2019年6月2日(日) 10:00～14:00
 場所：秩父市保健センター
 内容：骨密度測定、パネル展示、
 スーパーボール釣りなど
 実行委員：12人
 骨密度測定、パネル展示、モニター展示：400人
 スーパーボール釣り：150人
 被ばく相談：0人
- (5) 2019年度 第四支部 納涼会
 日時：令2019年7月26日(金) 19:00～
 場所：旬彩ダイニング 浪漫 熊谷市宮前町2-95
 参加者：53人
- (6) 第2回 支部勉強会
 日時：2019年9月26日(木) 18:30～20:30
 場所：さくらめいと 第1会議室
 メーカー講演：「リードスペースメーカーについて」
 日本メドトロニック株式会社 木村 恵氏
 内容：「四肢のMRI」
 座長 小川赤十字病院 山田 伸司
 「症例検討」
 肩MRIについて 深谷赤十字病院 登坂 崇史
 手・手関節MRI 小川赤十字病院 高井 太市
 股関節MRI 熊谷総合病院 田中 智大
 膝MRI 羽生総合病院 石川 剛浩
 参加者：56人
- (7) 第3回 支部役員会
 日時：2019年9月26日(木) 20:30～21:00
 場所：さくらめいと 第1会議室
 参加者：6人
- (8) 清水文孝氏の瑞宝双光章受章を祝う会
 日時：2019年10月5日(土) 18:00～20:30
 場所：深谷グランドホテル
 参加者：183人
- (9) 医療画像展(深谷市福祉健康まつり)
 日時：2019年10月27日(日) 10:00～15:00
 場所：深谷ビクタートル・深谷市総合体育館
 骨密度測定、パネル展示、モニター展示：326人
 スーパーボール釣り：150人

- 被ばく相談：0人
- (10) 支部合同勉強会 in 熊谷
 日時：2019年11月9日(土)～10日(日)
 場所：森林公園 四季の湯温泉ホテル・ヘリテイジ
 内容：
 総合司会 さいたま赤十字病院 田中 里奈
 開会挨拶 第二支部理事 大西 圭一
 ①支部合同セッション『読影力向上セミナー』
 座長 東松山市民病院 増渕康太
 大宮中央総合病院 小屋 匠
 演者
 「胸部読影～超基礎入門」
 上尾中央総合病院 茂木 大哉
 「RI検査での読影力向上」
 羽生総合病院 新井 拓也
 「MMGの基礎～読影編～」
 さいたま赤十字病院 館沼理保奈
 ②技師講演(1)「今さら聞けない○○」
 座長 羽生総合病院 大野 渉
 演者
 今さら聞けない肝臓区域と手術支援
 上尾中央総合病院 仲西 一真
 今さら聞けない放射線被ばくと相談事例
 深谷赤十字病院 坂本 里紗
 白岡中央総合病院 石田 仁子
 ③技師講演(2)
 「法改正に向けて～各施設でやらなきゃならない事～」
 座長 上尾中央総合病院 金野 元樹
 演者
 医療法一部改正の内容と安全管理体制の構築について
 越谷市立病院 矢部 智
 実際の運用について～現場はどうすればいいの?～
 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
 ④基調講演 「温故知新!これが私の原点～自分が将来、どんな技師になるのか?を考えよう」
 座長 済生会栗橋病院 内海 将人
 演者
 さいたま市民医療センター 今出 克利
 JCHO さいたま北部医療センター 堀江 好一
 閉会挨拶 第五支部理事 矢崎 一郎
 参加者：59人
- (11) 平成30年度 第四支部 忘年会
 日時：2019年11月29日(金) 19:00～
 場所：マロウドイン熊谷
 参加者：74人
- (12) 第3回 支部勉強会
 日時：2020年1月23日(木) 18:30～21:00
 場所：さくらめいと 第1会議室

内 容：

次世代型逐次近似再構成を中心としたCT 最新情報
日立製作所画像診断営業部 清水 一輝
工夫してみた～CT編～

羽生総合病院 岡田 拓司
2018年～2019年の我慢の記録

羽生総合病院 大野 涉

参加者：27人

(13) 第3回 支部役員会

日 時：2020年1月23日(木) 21:00～21:30

場 所：さくらめいと 第1会議室

参加者：7人

(14) 小川清氏の瑞宝双光章受章を祝う会

日 時：2020年2月15日(土) 18:00～

場 所：ラフレさいたま 3階 櫻ホール

参加者：193人

(15) 平成31年度 第四支部 監査会

日 時：2020年2月21日(金) 19:00～

場 所：熊谷総合病院

参加者：8人

(16) 第4回支部勉強会・2019年度第四支部総会

日 時：2020年3月18日(水) 18:30～20:00

場 所：さくらめいと 第1会議室

内 容：「あなたに逢えてよかった」

小川赤十字病院 小川 清

定期総会

(本年度はコロナウイルスの影響で中止)

第五支部

支部理事 矢崎 一郎

支部役員 岩井 悠二

鈴木 孝 石原 優希

矢部 智 村本 圭祐

金子 初穂 中嶋 幸孝

矢作 悠馬 町永 努

加藤 広一

長坂 純 中村 優志

曾根 昌弘 駒崎 和弘

(1) 支部情報交換会

日 時：2019年5月23日(木)

場 所：春日部市民活動センター 4階

内 容：血管撮影装置における

被ばく低減技術&最新トピックス

キヤノンメディカルシステムズ 営業推進部

河村 賢

これだけは知っておこう 心臓カテーテル検査の基礎

春日部市立医療センター 放射線科 中嶋 幸孝

(2) 支部情報交換会

日 時：2019年6月27日(木)

場 所：春日部市民活動センター 4階

内 容：GE CT 最新情報のご紹介

デュアルエネルギー・ディープラーニングが切り拓く
CT新時代

GEヘルスケアジャパン株式会社 山崎 幸弘

(3) 支部情報交換会

日 時：2019年6月27日(木)

場 所：春日部市民活動センター 4階

内 容：上部消化管検査における被ばく線量管理と画
質追求

当院における基準撮影法の検査手法

済生会栗橋病院 放射線技術科 鈴木 孝

(4) 支部情報交換会

日 時：2019年10月24日(木)

場 所：春日部市民活動センター 4階

内 容：MRECの基礎検討

草加市立病院 医療技術部 放射線科

野口 舞

頭部転移性脳腫瘍のMRI撮像プロトコル

草加市立病院 医療技術部 放射線科

佐藤 広崇

当院の急性期脳梗塞におけるCTPの現状

草加市立病院 医療技術部 放射線科

加藤 広一

(5) 越谷市民祭り

日 時：2019年10月27日(日)

場 所：越谷市庁舎内

(6) 支部情報交換会

日 時：2019年11月28日(木)

場 所：春日部市民活動センター 4階

内 容：Monaco AGLのご紹介

エレクタ株式会社 入山 絵梨

キヤノンCT最新技術紹介

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

穴見 和寛

(7) ふれあいキューブフェスティバル

日 時：2019年12月7日(土)

12月8日(日)

場 所：春日部市ふれあいキューブ

(8) 支部情報交換会

日 時：2020年1月23日(木)

場 所：春日部市民活動センター 4階

内 容：臨床に役立つ頭頸部3D-CTAの基礎

越谷市立病院 放射線科 村本 圭祐

医療法施行規則一部改正の概要と

当院の指針策定経過について

越谷市立病院 放射線科 矢部 智

第六支部

会 長 (支部理事)	茂木 雅和	
副会長	仲西 一真	
監 事	尾形 智幸	羽田野和仁
学 術	安川 紘平	飯島 竜
	矢野 健太	
広 報	倉内 克憲	
編 集	菅野みかり	佐越 美香
総 務	木村 浩明	小屋 匠
	吉村 茜	
会 計	田中 里奈	藤畑 将理
	池野 裕太	

(1) 支部役員会

日 時：2019年4月11日(木)
場 所：埼玉県立小児医療センター
参 加 者：13人

(2) 2019年度 第六支部第一回定期講習会

日 時：2019年5月23日(木) 19:00～
場 所：JCHO 埼玉北部医療センター
内 容：『MDL』

ア、MDLの基礎

丸山記念総合病院 志田 智樹

イ、MDLの臨床

さいたま赤十字病院 大森 正司

ウ、JCHO 埼玉北部医療センター施設見学

参 加 者：65人

(3) 第六支部第三回技術交流会

日 時：2019年6月27日(木) 19:00～
場 所：彩の国東大宮メディカルセンター
内 容：『肝臓疾患～診断から手術支援～』

ア、EOBを中心とした肝の画像診断

上尾中央総合病院 木下 友都

イ、肝切除における手術支援画像の作成

彩の国東大宮メディカルセンター 小野寺将真

参 加 者：37人

(4) 第六支部納涼会

日 時：2019年7月25日(木)
場 所：居酒屋一休 大宮店
参 加 者：49人

(5) 支部役員会

日 時：2019年9月10日(火)
場 所：埼玉県立小児医療センター
参 加 者：12人

(6) 2019年度 第六支部第二回定期講習会

日 時：2019年10月17日(木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
内 容：『他職種連携』

ア、患者移乗・移動方法について

上尾中央総合病院 石森 翔太

イ、腹部エコー(超音波)検査について

指扇病院 高津 公子

参 加 者：30人

(7) 支部合同勉強会(熊谷大会)

日 時：2019年11月9日(土)
場 所：ホテルハリテイジ熊谷
参 加 者：59人

(8) 彩の国いきいきフェスティバル

日 時：2019年11月17日(日)
場 所：埼玉県県民活動総合センター
内 容：放射線展

被ばく相談、骨密度測定 166件、パネルクイズ 64件
実行委員：7人

(9) 忘年会

日 時：2019年12月5日(木) 19:00～
場 所：遊食 東山庵 大宮店
参 加 者：29人

(10) 支部役員会

日 時：2020年1月16日(木)
場 所：埼玉県立小児医療センター
参 加 者：13人

(11) 埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会
および2019年度第六支部第三回定期講習会

日 時：2020年2月27日(木) 19:00～
場 所：地域医療教育センター
内 容：総会および役員選出
講 習 会：救急CT・MRIのポイント

ア、救急における頭部MRIの基礎

さいたま赤十字病院 島田 拓

イ、まずはここから～救急領域の頭部CT撮影～

上尾中央総合病院 井田 篤

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、開催を中止とした。

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告

ア、画像の向こうの患者を診よう

1) 第74回 症例検討会

日 時：2019年5月21日(火)
参 加 者：22人

2) 第75回 症例検討会

日 時：2019年6月18日(火)
参 加 者：23人

3) 第76回 症例検討会

日 時：2019年11月26日(火)
参 加 者：32人

4) 第77回 症例検討会

日 時：2020年1月21日(火)
参 加 者：19人

イ、乳腺画像セミナー（腫瘍をとことん読もう）

講師：亀山枝里、新島正美、坂井香澄

日時：2020年2月16日（日）

場所：さいたま赤十字病院

参加者：46人

（2）埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア、第56回 埼玉消化管撮影研究会

講師：中野啓一、大森正司、伊藤寿哉

日時：2019年7月16日（火）

場所：さいたま赤十字病院

参加者：38人

イ、第57回 埼玉消化管撮影研究会

講師：藤井大悟、大森正司、浅見純一、今出克利

日時：2019年12月15日（日）

場所：さいたま赤十字病院

参加者：69人

ウ、第58回 埼玉消化管撮影研究会

講師：今出克利、大森正司、吉田論史

日時：2020年2月11日（火・祝）

場所：さいたま赤十字病院

参加者：33人

2019年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. 名誉会員の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-1）承認
2. 浦和区健康まつりへの参画について、医療画像展開催における予算案、および骨密度測定装置のレンタルについて資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-2）承認
3. 埼玉県診療放射線技師会における永年勤続表彰対象者（20年、40年）の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-3）承認
4. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-4）承認
5. 第10回CT認定講習会入門編、取得者向け講習会の開催について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-5）承認
5. 平成30年度事業報告について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-5）承認
6. 平成30年度決算について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-6）承認
7. 平成30年度監査報告について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-7）承認
8. 第45回越谷市民祭りへの参画に際し、パネルの貸出および予算について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-8）承認
9. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-9）承認
10. 2019、2020年度、会長、副会長、常務理事の選任について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-10）承認
11. 第33回川越市健康まつりへの参画に際し医療画像展開催における予算および展示パネル、のぼりの貸出と骨密度装置のレンタルについて資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-11）承認
12. 深谷市福祉健康まつりへの参画に際し医療画像展開催における予算および展示パネル、のぼりの貸出と骨密度装置のレンタルについて資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-12）承認
13. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-13）承認
14. 2019年度彩の国いきいきフェスティバルへの参画に際し、医療画像展開催における予算案の承認およびのぼりの貸出、骨密度装置レンタルについて資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-14）承認
15. 「ほぼら春日部」8周年記念イベントへの参画に際し、医療画像展開催における予算案の承認および展示パネルの貸出について資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-15）承認
16. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-16）承認
17. 2019年度第18回上部消化管検査認定講習会の開催について、資料を基に審議し予算案および開催について承認した。（議案書番号：理-17）承認
18. 第11回CT認定講習会の開催について、資料を基に審議し予算案および開催について承認した（議案書番号：理-18）承認
19. 第18回胸部認定講習会の開催について、資料を基に審議し予算案および開催について承認した。（議案書番号：理-19）承認
20. 第33回埼玉県診療放射線技師学術大会開催について、資料を基に審議し開催について承認した。（議案書番号：理-20）承認
21. 第33回埼玉県診療放射線技師学術大会参加費について、資料を基に参加費の金額を審議し決定、反対意見などがなかったため承認した。（議案書番号：理-21）承認
22. 会誌埼玉放射線印刷製本会社選定について、2社の見積もり資料を基に審議し印刷会社を決定した。（議案書番号：理-22）承認
23. 第6回救急撮影ケーススタディー開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。（議案書番号：理-23）承認
24. MR基礎講習会の開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。（議案書番号：理-24）承認
25. 乳腺セミナー開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。（議案書番号：理-25）承認

26. 第2回 SART 学術ナイトセミナー開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-26) 承認
27. 新入会員の承認について資料を基に会員資格について審議し承認した。(議案書番号：理-27) 承認
28. 2019年度役員研修会の開催について、資料を基に開催について審議し、反対意見がなかったため承認した。(議案書番号：理-28) 承認
29. 2020年度表彰推薦者について、資料を基に表彰推薦者の推薦資格などを審議し承認した。(議案書番号：理-29) 承認
30. 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(第22回 SART セミナー)開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-30) 承認
31. 第2回 SART 被ばく相談事例検討会の開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-31) 承認
32. 被災会員へのお見舞金支払いについて、資料を基に支払いについて審議し、反対意見がなかったため承認した。(議案書番号：理-32) 承認
33. 「3D ワークステーションを用いた人体解剖学体験」講師料について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-33) 承認
34. 2020年度事業計画について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-34) 承認
35. 名誉会員の承認について議案が上がったが会議当日にまだ叙勲が決まっていなかったため取り下げとなった。(議案書番号：理-35) 棄却
36. 『画像の向こうの患者を診よう』の技師会事業への移行について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-36) 承認
37. 2020年度予算案について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-37) 承認
38. 乳腺勉強会開催について資料を基に審議し、承認した。(議案書番号：理-38) 承認
39. 第22回秩父市保健センターまつりへの参加について資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-39) 承認
40. 新入会の承認について、資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-40) 承認
41. 事務所パソコンの更新について資料を基に審議し現状の OS を無償アップグレードすることとした。(議案書番号：理-41) 棄却

2020年度事業計画（案） 学校教育の中での活躍

日本診療放射線技師会や各都道府県（診療）放射線技師会は（公益）社団法人であり、いわゆる公益法人である。法人の持つ活動内容に、公衆衛生を目的とした事業、国民、県民のための事業、診療放射線技師の質の向上に向けた事業、会員のための福利厚生事業などがある。

これまで、将来の進路を決めた診療放射線学科の大学生に学会や学術大会などに参加していただき、共に研鑽する場を提供してきた。また、埼玉県診療放射線技師会でも大学の校舎をお借りして、学術大会を開催し、交流を深め、技師会に体験していただくことも試みた。

今後は、さらに、中高生を対象とした事業を展開していくことを企画している。2017年埼玉県診療放射線技師学術大会、2019年日本診療放射線技師学術大会では市民公開講座として「3DWS人体解剖学体験」を行った。参加者の中には小中高生はもちろん、父兄や学校の教師など、数多くの方々が参加し大変に好評であった。これらの実績を基に埼玉県内の中高生を対象とした特別授業を展開していきたい。

「3DWS人体解剖学体験」の狙いは診療放射線技師の宣伝ではなく、現代医療は多職種の医療従事者およびさまざまなテクノロジーで支えられて

いるということを体験していただくことと考えている。3DWSの技術は、それを利用する、医師、診療放射線技師およびWSの開発に携わる技術者の方々あってこそその医療であるということを経験していただきたい。チーム医療にはコミュニケーションが大切であるということは昔からいわれているが、コミュニケーションが不得意な方は医療で貢献できないかというところではない。WSの開発技術は現代医療を大きく変えているし、多くの患者を救っていると確信している。

授業は、その学校の要望や生徒のレベルに合わせた内容である。中学生であれば、WSの使い方や解剖学の授業、高校生はそれに加え、医療で使用される手術支援の話などをグループ形式で座学と参加型を交えて、一部クイズ方式を取り入れながらの授業である。昨年度末に数校実施させていただいたが、生徒や学校側からも次年度もお願いしたいという評価をいただいた。

将来をこれから決める中高生だからこそ、この「3DWS人体解剖学体験」を受講していただきたい。

2020年度は公益事業の一環として学校教育の中で活躍を目指していく。

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会の開催
 - イ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会
 - ウ. 胸部撮影認定講習会
 - エ. 上部消化管検査認定講習会
 - オ. フレッシュアップセミナー(SART セミナー)
 - カ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー(医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成)
 - キ. CT 認定講習会
 - ク. MRI 基礎講習会
 - ケ. 乳腺セミナー
 - コ. DR 計測セミナー
 - サ. 救急撮影ケーススタディー(日本救急撮影技師認定機構との共催)
 - シ. 読影力向上のための講習会(支部開催セミナー)
 - ス. AI (Artificial Intelligence) 関連講習会の開催
- ### (2) 会員講師の育成と体制づくり
- ### (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力
 - ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援
 - エ. 埼玉臨床画像研究会への協力
 - オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画
 - カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画

- キ. 各認定機構との合同企画(埼玉開催の推進)

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進事業の強化

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- (7) 中学高校における特別授業の担務

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
 - イ. 学術データベースの充実
- (3) メールマガジンの有効利用

5 その他

- (1) 他医療職種団体との連携
- (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成 24 年 4 月 1 日制定

平成 27 年 5 月 30 日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第 1 条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第 2 章 目的及び事業

(目 的)

第 3 条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
 - (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会などの開催
 - (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
 - (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
 - (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第 3 章 会 員

(種 別)

第 5 条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
 - (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
 - (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体
- 2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第 6 条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第 7 条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して 1 年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

- 2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡、又は解散したとき。

第4章 総会**(構成)**

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬などの額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 15名以上20名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。

3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員報酬などの支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。

2 相談役は、次の職務を行う。

(1) 会長の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。

3 相談役の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会

(構成)

第27条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第29条 この法人に常務理事会を置く。

- 2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。
- 3 常務理事会は、次の職務を行う。
 - (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
 - (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招集)

- 第30条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。
- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決議)

- 第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

- 第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計**(事業年度)**

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第34条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

- 第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
 - (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
 - (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬などの支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第36条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解 散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支 部

(支 部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律の施行に伴う関係法律の整備などに関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額 9,000 円
賛助会員（個人）	年額 9,000 円
賛助会員（法人）	年額 25,000 円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員 理事及び監事をいう。
- (2) 役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- (3) 報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- (4) 費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

(報酬の額及び支給の方法)

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

- 2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。

- 3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。

- 4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(講師及び原稿執筆謝金)

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

(費 用)

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

- 2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

(公 表)

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正
することができない。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が
理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施
行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程

(本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下
「本会」という。）の役員等が、本会の主催する講演
会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会
等」という。）の講師を務めたときは、その謝金とし
て、1回につきその時間が30分以内のときは5,568
円、1時間以内のときは11,137円を、1時間を超える
ときは22,274円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期行物又は書
籍の原稿を当会員または日本診療放射線技師会会員
が執筆したときは、1,000字毎に2,500円を限度とし
て執筆謝金を支払うことができる。但し、1回の限
度額を20,000円とする。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速や
かに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等
から支給の方法について書面による申し出があると
きは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 診療放射線技師以外の者が本会の発行する
定期行物若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第
2条に定める金額に100分の50を乗じた額を加算し
て支給する。

(改正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正

することができない。

(補則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長
が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施
行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

1 この規程は、平成30年6月18日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線
技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放
射線技師または診療エックス線技師を主な対象者と
した、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関す
る研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」
という）の講師への謝礼について必要な事項を定め
ることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等1回ごとに、講師1人につ
き55,685円を上限として支払うものとする。

(旅費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等
の会場まで公共交通機関を使用した場合における交
通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の
近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場
合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近
い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場
まで距離1kmごとに300円を乗じて得た額を加算し
て支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後と
し、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控
除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講
師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給す
る。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

- 2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

- 1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。
- 1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

- 2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、会長が理事会の議決を経て定めたものについては2,000円とする。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、

講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条(1)の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

- (1) 本会が保有する会議室を優先して利用することができる。
- (2) 本会が刊行する会誌を無料で配布を受けること

ができる。

(3) メーリングリストに登録し、メール等による情報提供を受けることができる。

(4) 本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割引料金で参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告
- (5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会

に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うものとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

- (1) 理事
- (2) 監事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関わる事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条 件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認めた者

(種 類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的に行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推 薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選 考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決 定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事項についても理事会において決定する。

(内 容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実 施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。

2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予 算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。

- (2) 学術奨励賞 若干名
- (3) 学術新人賞 若干名

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである

る。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

(1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該当会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し

理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職 務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

(定義)

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

(設置申請)

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式—研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

(承認基準)

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- (1) 学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- (2) 当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- (3) 本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

(解散及び廃止)

第5条 研究会は、研究会解散届（様式—研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。

2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

(名称)

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

(活動)

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。

- (1) 研究会を開催する
- (2) 研究成果を学術大会等に発表する

(報告)

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

(助成)

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

(会議室の利用)

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

- (1) 理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
- (2) 本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
- (3) その他、会長が特に認めた会議、講習会等

(使用手続)

第6条 前条のうち(1)に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

(使用の優先)

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

(1) 09:00～12:00	2,000円
(2) 13:00～17:00	2,000円
(3) 18:00～21:00	2,000円
(4) 09:00～17:00	4,000円
(5) 13:00～21:00	4,000円
(6) 09:00～21:00	5,000円

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

別 表

理事の職務権限

決 裁 事 項	決 裁 権 者		
	会 長	副会長	常務理事
事業計画及び予算の案の作成に関する事	○		
事業報告及び決算の案の作成に関する事	○		
人事及び給与制度の立案に関する事	○		
重要な使用人以外の者の任用に関する事	○		
出張に関する事	○		
契約の締結	○		
支出			
一件 20 万円以上 (理事会承認が必要)	○		
一件 20 万円未満	○		
一件 5 万円以下		○	○

別 紙

選挙立候補届	
現住所	
氏名	年齢
勤務先名および住所	
年 月 日執行の 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(理事・監事) 選挙に立候補します。	
上記の通りお届けします。	
年 月 日	
氏名	印
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿	

選挙候補者推薦届	
候補者住所	
氏名	年齢
勤務先名および住所	
年 月 日執行の 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(理事・監事) 選挙に上記の者を推薦します。	
年 月 日	
推薦者氏名	第○支部代表 印
(理事・監事) 候補への推薦を受諾いたします。	
年 月 日	
候補者署名 印	
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿	

互助給付金申請書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇支部理事 印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所
氏名
当該事項
発生年月日
金額
理事の意見

会費免除申請書

申請日 年 月 日

※会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号	
申請者名	印
連絡先	〒 電話
申請代理者氏名	印
※様により本人が申請できない場合、ご署名下さい。	
続柄	
会費免除申請理由	(1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 ()
※該当する申請理由に○をつけて下さい。	
休業期間	年 月 日～年 月 日まで ※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。
休業証明書の確認	有 ・ 無

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄

受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 5 研究分野、内容 (具体的に)
- 6 研究会履歴
- 7 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

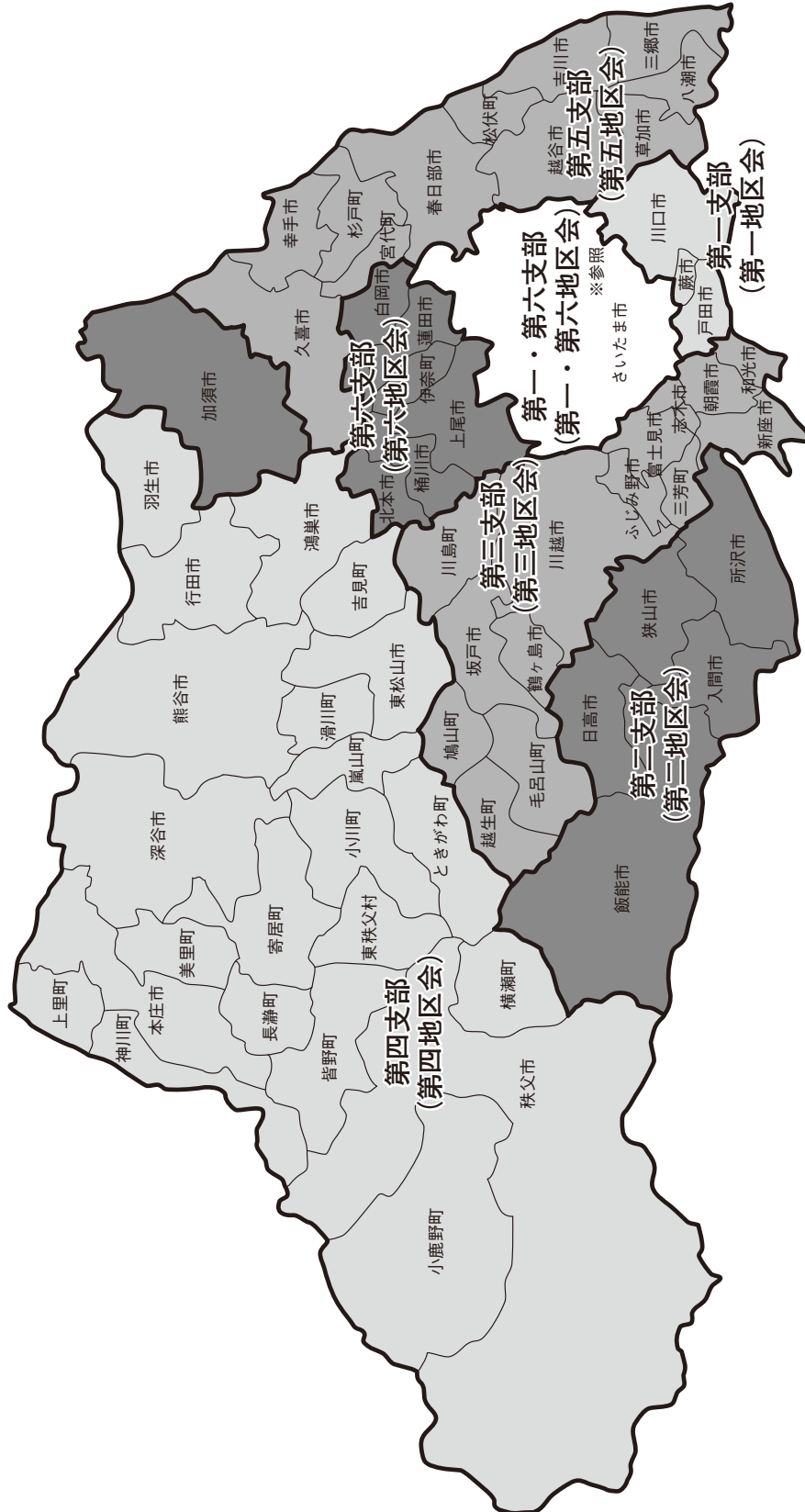
〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

記

- 1 研究会の名称
- 2 代表者、役員等の名前
- 3 連絡先
- 4 廃止の理由
- 5 廃止の年月日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 (2020年4月1日現在)



※第一支部 桜区・浦和区・南区・緑区
第六支部 上記以外のさいたま市内区

- 巻頭言
- 会告
- お知らせ
- 誌上講座
- 技術解説
- 総会資料
- 本会の動き
- 各支部情報
- 各支部掲示板
- 求人
- 議事録
- 会員の動向
- 役員名簿
- 申込書
- 年間スケジュール

2020年度当初予算

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	小計	取1				
I一般正味財産増減の部										
1.経常増減の部										
(1)経常収益										
受取会費	0			3,579,000	3,579,000		0	8,351,000	11,930,000	@9000×1270 新入50 貸部30
正会員受取会費				3,429,000	3,429,000		0	8,001,000	11,430,000	@29000×20
賛助会員受取会費				150,000	150,000		0	350,000	500,000	
事業収益	2,000,000	0	980,000	2,980,000	414,852	414,852	0	3,394,852	3,394,852	14セミナー参加料
講習会受講料等収益	1,400,000			1,400,000			0	1,400,000	1,400,000	@9000×300人 500×150人
学術大会参加登録費収益	600,000			600,000			0	600,000	600,000	@100000X2 @60000X13
会議広告収益	0	980,000	980,000	980,000	0	0	0	980,000	980,000	
福利事業収益				0	0	0	0	0	0	
貸付収益				0	414,852	414,852	0	414,852	414,852	倉庫2F賃借料
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	700,000	0	30,000	730,000	0	0	0	173,300	903,300	預金利息
受取利息				0	0	0	0	100	100	
雑収益	700,000	0	30,000	730,000	0	0	0	173,300	903,300	学術大会機器器具料 30,000円×20社
経常収益計	2,700,000	0	1,010,000	3,579,000	414,852	414,852	0	8,524,300	16,228,152	
(2)経常費用										
事業費										
給与手当	241,200	180,900	180,900	0	603,000	0	0	603,000	603,000	事務員給与振分
福利厚生費	149,200	75,000	0	0	224,200	0	0	224,200	224,200	医業用備品 講習会役員食料
会議費	102,000	40,000	96,000	0	238,000	0	0	238,000	238,000	委員会会議費等
旅費交通費	610,000	252,000	84,000	0	946,000	0	0	946,000	946,000	委員会交通費・自当
通信運搬費	188,522	69,390	710,190	0	968,102	0	0	968,102	968,102	電話・ネット・郵送費等
減価償却費	224,345	80,115	80,115	0	384,575	20,354	0	404,929	404,929	
消耗什器備品費				0	0	0	0	0	0	
消耗品費	181,000	192,591	56,297	0	429,888	0	0	429,888	429,888	
修繕費	5,000	5,000	5,000	0	15,000	0	0	15,000	15,000	学術大会マニュアル 会誌印刷等
印刷製本費	12,000	2,296,140	0	0	2,308,140	0	0	2,308,140	2,308,140	電気・ガス・水道
光熱水料費	46,800	15,600	15,600	0	78,000	0	0	78,000	78,000	会費・リース料等
賃借料	1,194,820	222,900	89,222	0	1,506,942	0	0	1,506,942	1,506,942	
保険料	61,000	21,000	21,000	0	103,000	0	0	103,000	103,000	
諸謝金	2,382,229	475,411	320,000	0	3,177,640	0	0	3,177,640	3,177,640	印刷料・関係料等
租税公課	24,270	8,090	8,090	0	40,450	20,000	0	60,450	60,450	
支払手数料	3,300	3,300	11,440	0	18,040	8,000	0	26,040	26,040	
渉外費	15,000	5,000	5,000	0	25,000	0	0	25,000	25,000	
委託費		361,020	25,000	0	386,020	0	0	386,020	386,020	HP管理他
雑費	2,000	2,000	2,000	0	6,000	0	0	6,000	6,000	

管理費										
役員報酬	103,800								103,800	監事
給与手当	658,685								658,685	事務局長・事務員給与
福利厚生費用	130,000								130,000	
会議費	429,000								429,000	理事会等
旅費交通費	483,470								483,470	理事会交通費等
通信運搬費	587,542								587,542	郵送料・電話・ネット代等
減価償却費	144,116								144,116	
消耗什器備品費									0	
消耗品費	220,077								220,077	会員カード等
修繕費	15,000								15,000	
印刷製本費	15,120								15,120	
光熱水料費	78,000								78,000	
賃借料	13,600								13,600	総会場費等
保険料	99,663								99,663	
諸謝金	1,216,752								1,216,752	税理士 他
租税公課	140,000								140,000	
支払手数料	13,200								13,200	振込手数料等
渉外費	120,000								120,000	
委託費	5,000								5,000	
雑費	100,000								100,000	永年脚帳表影他
経常費用計	5,442,686	1,648,297	4,342,014	0	11,432,997	73,354	0	73,354	4,573,025	
評価損益等調整前当期経常増減額										
評価損益等計										
当期経常増減額	▲2,742,686	▲1,648,297	▲3,332,014	3,579,000	▲4,143,997	341,498	0	341,498	3,951,275	148,776
2.経常外増減の部										
(1)経常外収益										
(2)経常外費用										
当期経常外増減額										
他会計振替額				142,271	142,271	▲142,271	0	▲142,271		0
法人税・住民税及び事業税						▲145,000	0	▲145,000		▲145,000
当期一般正味財産増減額	▲2,742,686	▲1,648,297	▲3,332,014	3,721,271	▲4,001,726	54,227	0	54,227	3,951,275	3,776
一般正味財産増減額										

概要

COVID-19の感染拡大状況により、当初予算書に比べ収支が大幅に変更となる場合があります。

2019年度受賞者
受章おめでとうございます。(敬称略)

瑞宝双光章 (春)	清水 文孝
瑞宝双光章 (秋)	小川 清
埼玉県公衆衛生功労知事表彰	大森 正司
	平野 雅弥
	矢崎 一郎
財団法人日本公衆衛生協会会長表彰	星野 弘
	山本 英明

『瑞宝雙光章』を受章して

清水 文孝

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまにおかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、2019年春の叙勲において、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のご推薦により、瑞宝雙光章の栄に浴せることができました。この受章は、私個人が拝受したのではなく（公社）埼玉県診療放射線技師会の先輩や会員の皆さま、深谷赤十字病院のスタッフ、日本赤十字社診療放射線技師会の先輩や仲間、そして、家族ともども受章させていただけたものと思っております。また皆さまのお支えをいただいたからと思っております。改めまして多年にわたるご指導ご支援に心より感謝申し上げる次第です。

2019年5月21日の紙上発表の後、5月23日に埼玉県知事公館にて上田知事より勲記・勲章を受け、5月24日に厚生労働省での式次。その後皇居に参内し、春秋の間において天皇陛下拝謁、労いのお言葉を賜り夫婦ともども感激の極みでございました。

定年退職して2年。世間では退職後の余生との言葉を投げかけられます。これからの人生は、余ったものでもなく、与えられたものと思っておりますので、与生を謳歌しつつ今後もこの榮譽に恥じることなく精進いたすとともに、微力ではございますが業界に貢献してまいる所存でございますので引き続きご厚誼ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のみまますの発展と会員皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈りし、受章のご報告とお礼のご挨拶とさせていただきます。



2019年度第18回胸部認定試験開催報告

学術委員
土田 拓治

2020年1月18日（土）に、第18回胸部認定試験が開催された。

雪もちらつく天候にもかかわらず認定試験の受験者数は18人であった。筆記試験40問と高精細モニタによる読影試験20症例とした。各受講者には高精細モニタを1台用意することができた。各モニタ輝度の経年劣化やカラーとモノクロが混在しているため多少見え方が異なることは否めないが、すべてのモニタで所見が識別可能なものを選択した。また筆記試験においては、講義内容を反映した問題であるかを担当講師で何度も見直していただいた。今回の試験では、A,B認定者が10人と多く出たことは、うれしい限りである。

さいごに認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の皆さま、また受験いただいた皆さまにかさねてお礼を申し上げます。

【胸部認定者】（敬称略）

A認定：森 一也（済生会川口総合病院）

B認定：小澤 翼（豊岡第一病院）

菊地 優貴（川口市立医療センター）

小松 英司（宇治病院）

土居 旺（伊奈病院）

沼田 将太（西大宮病院）

菊地 一成（上尾中央総合病院）

市川 暁（上尾中央総合病院）

関口 諒（済生会川口総合病院）

鈴木 雄大（済生会川口総合病院）

認定試験に合格した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただきたいと思います。

2019年度 第11回 CT 認定講習会 開催報告

学術理事
中根 淳

2020年1月19日(日)、済生会川口総合病院で第11回CT認定講習会を開催しました。講習会の参加人数は29人でした。10年以上続く講習会ですが、今回は非会員や他県から多くの参加をいただきました。認定講習会なので基本的なカリキュラムは次年度も変わりませんが、受講者の満足度が向上するような講習会を今後も開催したいと考えています。

内容および講師は、以下の通りです。

プログラム

・頭頸部CTの撮影法、読影講義	富田 博信	済生会川口総合病院
・胸部CTの撮影法、読影講義	染野 智弘	羽生総合病院
・腹部CTの撮影法、読影講義	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター
・救急CTの撮影法、読影講義	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院
・造影技術概論	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
・物理特性講義	城處 洋輔	済生会川口総合病院
・実習1 MTF、SSPz、NPS	城處 洋輔	済生会川口総合病院
	志藤 正和	済生会川口総合病院
	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター
・実習2 ファントム作成 (参加自由)	志藤 正和・城處 洋輔	済生会川口総合病院

さいごになりますが、丸一日の講習会にも関わらず、講師の皆さま、講習会に参加していただいた皆さまに、この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



第2回 SART 学術ナイトセミナー ～専門家が教えるこれだけは知って欲しい撮影技術～ 開催報告

学術委員
妹尾 大樹

2020年1月24日（金）に桶川市民ホール 響の森で第2回 SART 学術ナイトセミナー～専門家が教えるこれだけは知って欲しい撮影技術～を開催しました。

内容および講師は、以下の通りです。

プログラム

- ・ A 認定技師が教える乳房撮影のポイント ～ポジショニングを中心に～
熊谷総合病院 亀山 枝里
- ・ 小児専門病院の技師が教える小児撮影のポイント ～固定法を中心に～
埼玉県立小児医療センター 持田 朋之
- ・ 高度救命救急センターの技師が教える救急撮影のポイント～外傷初期診療を中心に～
埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純

このセミナーは、多くの技師が普段直面する撮影について、それぞれの専門家より明日から役立つ撮影のポイントを中心とした情報提供を目的に企画致しました。今回は、2回目の桶川市での開催であり、18人の参加をいただきました。各講演とも明日から役立つ実践的な内容で、参加者の皆さまにも有意義な時間になったことと思います。

さいごになりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



第18回 上部消化管検査認定講習会 開催報告

学術常務理事
今出 克利

2020年2月11日（火・祝）に第18回上部消化管検査認定講習会をさいたま赤十字病院の多目的ホールで開催しました。受講者数は21人で、午前中の講義は埼玉消化管撮影研究会との合同開催となり、全体の参加人数は54人でした。今回の医師講義は、慶應義塾大学予防医療センターの吉田諭史先生をお招きして、読影と病理について講演していただきました。消化管X線検査は年々減少していますが、多くの方に受講していただき、熱心にメモを取る姿が印象的でした。今後も継続して開催していただけるように企画していきたいと改めて思いました。講習会のプログラムは下記の通りです。

プログラム

2020年2月11日（火・祝）：上部消化管撮影 認定講習会
埼玉消化管撮影研究会と合同開催（午前中の講義のみ）

8：30～9：25	上部消化管撮影技術	今出克利（さいたま市民医療センター）
9：30～10：25	精密検査法およびレポート作成	大森正司（さいたま赤十字病院）
10：30～12：30	上部消化管の読影と病理	吉田諭史先生（慶應義塾大学予防医療センター）
12：30～13：30	昼休み	
13：30～14：25	被ばく管理	工藤安幸（東松山市立市民病院）
14：30～15：55	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	河村 賢（キヤノンメディカルシステムズ（株））
16：00～16：25	造影剤のリスクマネジメント	小西次郎（カイゲンファーマ株式会社）
16：30～17：15	受診者管理（検査説明・接遇・情報管理）	志田智樹（丸山記念総合病院）

終わりに、講義を担当していただいた先生方、また、当日、会場準備や運営にお手伝いいただいた埼玉消化管撮影研究会の世話人およびバリウムメーカーの方々にこの場を借りて深く御礼申し上げます。



【吉田諭史先生】



乳腺セミナー ～腫瘍編～ 開催報告

学術理事
山田 智子

2020年2月16日（日）に乳腺セミナーをさいたま赤十字病院で開催した。参加者は、会員35人、非会員11人であった。本セミナーは、腫瘍について学ぶとして、マンモグラフィ、エコー、MRI、それぞれの読影を学び、さいごに症例検討を行った。基礎から実際の症例を通じて腫瘍について学べる機会であった。症例検討では、実際に参加者の方とディスカッションを行うこともできたが、今後はもっと多くの受講生が参加しやすいディスカッションの雰囲気作りなども考慮していきたいと思う。その結果、次回の企画では活発なディスカッションになることを期待したい。

モダリティの垣根を超えて理解することが自らのスキルアップにつながり、担当する検査の質の向上にもなる。それを学べたセミナーであった。

さいごにこの場を借りて、本セミナーを開催するにあたり講演して下さった講師の皆さま、会場スタッフの皆さま、会場を貸して下さったさいたま赤十字病院に深く感謝致します。当日のプログラムは、以下の通りです。

プログラム

12:30～13:30	マンモグラフィの読影（腫瘍）	講師：亀山 枝里 （熊谷総合病院）
13:30～14:30	乳腺エコーの読影（腫瘍性病変）	講師：新島 正美 （熊谷協同病院）
14:40～15:40	乳腺MRIの読影（腫瘍）	講師：坂井 香澄 （関東中央病院）
15:50～16:50	腫瘍病変について総復習！～症例検討～	解説：亀山 枝里（熊谷総合病院） 新島 正美（熊谷協同病院） 坂井 香澄（関東中央病院）

第六支部 2020年度 第1回定期講習会のご案内

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、第6支部では、5月に開催予定であった『第1回定期講習会』を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の通り延期とすることに決定いたしました。

今回の講習会テーマは『救急CT・MRI撮影のポイント』と『メーカー講演による被ばく線量管理の基礎と線量管理システムの紹介』を予定しています。気をつけるべき救急画像、救急撮影時に工夫しているポイント等、救急撮影の際に役立つ内容となっておりますので、お忙しいとは存じますが、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

また、今後も参加される方々の安全を最優先に考え、開催日程は変更となる可能性があります。詳細につきましては、第6支部のホームページ

〔<https://dairokushibu.jimdofree.com/>〕を確認していただきたいと思います。

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

敬具

日時:2020年6月25日(木) 19:00~21:00(予定)

場所:埼玉県立小児医療センター8F

地域医療研修センター研修室(南玄関入口)

参加費:無料

駐車場:なし(公共の交通機関をご利用ください)

テーマ:『救急CT・MRIのポイント』、『被ばく線量管理システムについて』

【プログラム】

1. 開会の辞 19:00~ 茂木 雅和
2. メーカー講演 19:05~19:45
被ばく線量管理システムについて
富士フィルムメディカル
3. 定期講習会 19:50~20:50
 - ①救急における頭部MRIの基礎
さいたま赤十字病院 島田 拓 様
 - ②頭部領域の救急CT撮影
上尾中央総合病院 井田 篤 様
4. 閉会の辞

第一支部

「宮澤浩治氏、富田博信氏、結城朋子氏の受章を祝う会」

日 時：2020年2月9日（日）16：00 開宴

場 所：ベルヴィ武蔵野 2階 アール・プラン

出席者：52人



田中会長あいさつ



宮澤さま



結城さま



富田さま



第三支部



若葉の緑が目にしみる季節となりましたが、皆さまますますご健勝のこととお喜び申し上げます。世界を見ますと COVID-19 の大流行により、オリンピック・パラリンピックの延期をはじめ、さまざまな活動の中止や延期が余儀なくされています。第三支部においても、前年度の勉強会や総会などの予定していた活動が中止となりました。本年度は例年通り多くの活動を予定しております。情勢を見ながらの開催とはなりますが、ご参加の程よろしく申し上げます。

【報告事項】

1. 新年会
 - (ア)開催日時：2020年1月25日(土) 19時30分～
 - (イ)開催場所：GRILL&BEER SAIBOKU 川越店
 - (ウ)内容：会員の親睦を深める
2. 平成31年度 第三支部総会
 - (ア)開催日時：2020年3月19日(木) 19時00分～
 - (イ)開催場所：埼玉医科大学総合医療センター 本館5階 ゼミ2
 - (ウ)内容：COVID-19対応により、役員のみで資料の最終確認
3. 第5回 支部役員会
 - (ア)開催日時：2020年3月19日(木) 19時15分～
 - (イ)開催場所：埼玉医科大学総合医療センター 本館5階 ゼミ2
 - (ウ)内容：年間の会議費支払い

【今後の予定】

1. 2020年度 第1回 第三支部役員会
 - (ア)開催日時：未定
 - (イ)開催場所：埼玉医科大学総合医療センター
 - (ウ)内容：年間の活動予定報告
2. 2020年度 第1回 第三支部勉強会
 - (ア)開催日時：2020年7月3日(金) 19時00分～
 - (イ)開催場所：ウェスタ川越 地域活動室1
 - (ウ)内容：勉強会

※詳細が決定次第、第三支部のホームページにてお知らせします。

第三支部の活動の詳細は、ホームページ (<http://saitama3shibu.jimdo.com/>) をご覧ください。

2019年度 総会開催報告

2020年3月19日(木)に「2019年度 第三支部総会」を開催しました。

COVID-19の影響で、ウェスタ川越で開催予定だった勉強会と総会は行えず、支部の役員のみで開催しました。長い時間の会議は感染予防の観点から望ましくないため、総会資料の確認を行い終了としました。開催時に配布予定の資料ですが、この場を借りて提示させていただきます。

<p>巻頭 目録 1 平成31年度事業報告</p> <p>平成31年度 埼玉県診療放射線技師会 第三支部・地区事業報告 (平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 第1回 支部役員会 開催日時：平成31年4月18日(月) 19:00～20:10 開催場所：埼玉医科大学総合医療センター 本館3階ゼミ2 参加人数：7人 内 容：平成31年度事業日程について</p> <p>(2) 第33回川越内観寒まつり 実行委員会 開催日時：令和元年8月29日(木) 13:50～15:00 開催場所：川越市総合保健センター 1階研修室 内 容：幹事年度報告まつりの概観、今年度の概要説明 参加人数：22名(大野出席)</p> <p>(3) 第1回 支部総会 開催日時：令和元年6月21日(金) 19:00～ 開催場所：ウェスタ川越 会議室1 参加人数：51人 内 容：令和元年事業報告・役員報告 メーカー講演 -CT最新技術について シーメンスヘルスケア株式会社 吉田 博一 医師講演 埼玉医科大学病院 岡田 裕一 -CTの基礎 埼玉医科大学病院 山本 純</p> <p>(4) 第2次支部総会 開催日時：令和元年7月20日(土) 19:00～21:00 開催場所：第4 川越店 参加人数：27人</p>	<p>巻頭 目録 2 平成31年度事業報告</p> <p>(6) 第33回川越内観寒まつり 第2回実行委員会 開催日時：令和元年8月26日(月) 14:00～15:00 開催場所：川越市総合保健センター 3階研修室 参加人数：18人(大野出席)</p> <p>(6) 第2回 支部役員会 開催日時：令和元年9月2日(火) 19:00～19:30 開催場所：埼玉医科大学総合医療センター 本館3階ゼミ2 参加人数：6名</p> <p>(7) 第33回川越内観寒まつり 第3回実行委員会 開催日時：令和元年10月2日(水) 13:30～15:00 開催場所：川越市総合保健センター 研修室動室1 参加人数：19人(大野出席)</p> <p>(8) 第三次放射線若者交流会 開催日時：令和元年10月20日(金) 19:30～21:00 開催場所：川越市ウェスタ川越 内 容：支部役員挨拶 参加人数：19人</p> <p>(9) 第3回 支部役員会 開催日時：令和元年10月28日(金) 19:00～19:30 開催場所：川越市ウェスタ川越 内 容：川越市観寒まつり 参加人数：7名</p> <p>(10) 第33回川越内観寒まつり 開催日時：令和元年11月30日(日) 10:00～15:00 (前日14:00より懇談会あり) 開催場所：ウェスタ川越 多目的ホール 他 内 容：医師講演、パネェル発表、書道展覧会など 参加人数：3名(7人、4日)13人 未帰会費：5,000円(印刷費：379円)</p>	<p>巻頭 目録 1 平成31年度事業報告</p> <p>(1) 第33回川越内観寒まつり 第4回実行委員会 開催日時：令和2年1月16日(水) 13:30～15:00 開催場所：川越市総合保健センター 1階研修室 内 容：報告会・今年度計画 参加人数：19人(大野出席)</p> <p>(2) 第三次支部 総会 開催日時：令和2年1月24日(土) 19:30～21:30 開催場所：GRILLARTS SATOBY 川越店 参加人数：12人</p> <p>(3) 第4回 支部役員会 開催日時：令和2年2月13日(金) 19:00～19:30 開催場所：埼玉医科大学総合医療センター 本館3階ゼミ2 内 容：総会資料作成、案内状作成 参加人数：7名</p> <p>(4) 平成31年度 第三支部総会 開催日時：令和2年3月19日(木) 19:00～19:30 開催場所：埼玉医科大学総合医療センター 本館3階ゼミ2 参加人数：7</p> <p style="text-align: right;">第三支部理事 大野 賢治  第三支部監事 今井 昇 </p>
--	---	--

巻頭 目録 3 令和2年度事業報告書 (R2)

令和2年度 埼玉県診療放射線技師会 第三支部・地区 事業計画 (R2)

第三支部理事・地区内各部長 大野 賢治
(令和2年4月1日～令和2年3月31日まで)



1. 総会
1) 第1次総会 令和2年4月
2) 第2次総会(総会前夜) 令和2年5月
3) 第3次総会 令和2年5月

2. 総務行政事務
1) 総務 令和2年7月
2) オンライン大会 令和2年12月
3) 総務 令和2年1月

3. 広報
1) ソーシャルメディア活用 令和2年8月
2) 川越内観寒まつり 令和2年11月11日(日) 夜祭

4. 役員会
1) 第1回役員会 令和2年4月
2) 第2回役員会 令和2年9月
3) 第3回役員会 令和2年12月
4) 第4回役員会 令和2年1月

5. 地区総務委員会 令和2年1月

第三支部理事・地区内各部長 大野 賢治 
第三支部 総務監事 今井 昇 

日付	取引内容	取引科目	摘要	入金	支出	残高
2018年4月1日	埼玉県診療放射線技師会	会費	会費(前年度)	15000		15000
2018年8月15日	第1回第三支部総会 ウェスタ川越	学術	会費の徴収 会場の確保 講師謝礼 印刷費		4000 2000 7000 7000	11000
2018年10月19日	第1回若者交流会	学術	学術費(100円×20名) プレイ代金(20名) 組合費(20名×100円) 組合費(20名×100円) 雑費 食費 飲み代	42000	32000 7000 3272 1000 3526	7778
2018年11月10日～12日	埼玉県診療放射線技師会 第3支部 総会	学術	印刷費(総会資料)	40000		37778
2018年11月10日～12日	第2回支部総会	学術	第2回支部総会(当日昼食) 第2回支部総会(当日夜食)一人3000 夜食(総会当日夜食)12名分 雑費(印刷品) 雑費		3000 9000 9040 9040 700	28778
2019年1月24日	第3回支部総会	学術	第3回支部総会 雑費		7400	21378
2019年2月11日	第4回支部総会	学術	雑費 雑費		12000 700	20178
2019年3月1日	第5回支部総会	学術	雑費		10040	10138
2019年4月～2021年3月	第三支部役員会	学術	役員会謝金(11人×3000円×5回) 役員 6回 総務 1回 印刷		30000	10138
				入金合計	出金合計	残高合計
				¥258,880	¥221,262	¥37,618

第六支部

～Lock on～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言
2. 第1回定期講習会案内
3. 退任挨拶

巻頭言

ワークライフバランス

埼玉県立小児医療センター 吉村茜

社会人になって5年が経過した。学生の頃は同年代の気の合う仲間としか過ごしてこなかったが、社会に出ると年齢はもちろんだがいろいろな人と出会う。そのような中で、特に自分とは違い、すごいと思う点は趣味についてである。上司の1人はスキー、スノーボード、乗馬、カメラ、釣りが趣味で、またある上司はスキー、ツーリング、農作業、クルージング、サックスが趣味だという。今までこんなにも趣味がある人に出会ったことがなかったし、きっと私が知っているのはほんの一部なだけで、お二人は上記以上にもたくさん趣味があるのだろう。最近になって始めた趣味もあるというのだから驚きである。

なぜそんなにも趣味があるのに、新しく趣味を始めたのか聞いてみたところあるきっかけや、憧れの思いからだそうだ。

またこの多趣味なお二人に共通しているのは、性格の明るさである。多くの趣味を持つことで楽しい生活が送れ、それが性格にも表れ仕事にも生かしているのだろう。まさにワークライフバランスが取れているのだと考える。あらためてワークライフバランスについて調べてみたところ、ワークライフバランスとは一言でいうと「生活と仕事の調整・調和」であり、生活の充実によって仕事ははかどりうまく進み、仕事がうまくいけば私生活も潤うという相乗効果を意味するそうだ。

ある結果によると、ワークライフバランスは社員・職場全体のモチベーションにも好影響を及ぼしており、プライベートが充実していることが仕事のモチベーションの向上へとつながるそうだ。職場のモチベーションが上がることで技術やコミュニケーションの向上も見込めると考える。

私も趣味だけに関わらず、幾つになってもチャレンジ精神を持って、いろいろなことに挑戦することで成長していきたい。

退任挨拶

・丸山記念総合病院 木村 浩明

4年間、第六支部の役員として学術と総務を務めさせていただきました。任期中は、定期講習会や学術交流会などでたくさんのかたがたと接することができ、今までの経験や技術的な話をしたことで自分自身のスキルアップにもつながりました。今後は、第六支部の一会員としてさまざまな行事に参加し貢献していきたいと思っております。

・JCHOさいたま北部医療センター 倉内 克憲

4年間第六支部役員として総務、広報を務めさせていただきました。会長方をはじめ役員の皆さまに支えられ、何とか任期を全うすることができました。任期中は他施設のかたがたに関わる機会が増え、お話できるようになったかたがたもたくさんいて、大変貴重な経験をさせていただきました。これからは第六支部一会員として勉強会やイベントに参加していきたいと思っております。今までありがとうございました。

・彩の国東大宮メディカルセンター 矢野健太

2年間、第六支部役員を務めさせていただいた彩の国東大宮メディカルセンターの矢野です。学術担当として講習会の企画や運営などに携わり、至らないことばかりでご迷惑をお掛け致しましたが、大変貴重な経験をさせていただきました。この経験を生かし、これからは第六支部の発展に一会員として貢献していければと思っております。2年間ありがとうございました。

・埼玉県立小医療センター 藤畑 将理

2年間にわたり、第六支部の会計を務めさせていただきました埼玉県立小児医療センターの藤畑です。3月をもちまして退任させていただくことになりました。会長はじめ他役員の皆さまには大変お世話になりました。至らないことばかりでご迷惑をお掛けしましたが、日常業務では経験できない多くのことを勉強させていただきました。今後も第六支部の活動に積極的に参加し、一会員として第六支部とともに成長していきたいと思っております。2年間ありがとうございました。

・埼玉県立がんセンター 菅野 みかり

3年間第六支部の編集を務めさせていただきました。至らないことばかりでご迷惑をお掛けしましたが、会長をはじめ、役員のかたがたにフォローしていただき、日常業務だけでは学ぶことのできない多くの経験をさせていただくことができました。この経験を生かしつつ、これからは第六支部の発展に一会員として貢献していきたいと思っております。3年間本当にありがとうございました。

求人コーナー

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

施設名 公益財団法人 埼玉県健康づくり事業団

住所	〒355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井 410-1
担当者氏名	事業部 健診調整課 開（ひらき）
TEL	0493-81-6043
FAX	0493-81-6753
E-mail アドレス	ken-chousei@saitama-kenkou.or.jp
募集対象者	診療放射線技師
雇用形態	臨時職員（登録職員）
業務内容	胸部・胃部・乳部（マンモグラフィ）のエックス線撮影業務
待遇	時給 胸部撮影：2,800円 ポータブル撮影：2,900円 白衣貸与・交通費支給 (5時間補償) 胃部撮影：3,200円 乳部撮影：3,800円 早出手当・休日手当あり
勤務時間	健康診断実施先により異なります。 ※健診先の最寄り駅での集合・解散
休日	登録職員のため、土日祝日に勤務を依頼する場合があります。
募集人員	若干名
宿舍の有無	無
社会保険など	労災保険
応募方法	電話連絡の上、面接時に履歴書（写真貼付）と資格免許証（原本）を持参してください。
その他	①巡回健康診断のスタッフを募集しています。 ②登録制で、あなたのライフスタイルに合わせた働き方ができます。 ③結婚、育児などでブランクのある方でも OK！

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

掲載要項

発行部数：約1450部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・5・7・10月中旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：求人広告掲載申し込み用紙でFAX、または同項目を記載し電子メールにて申し込み。
法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
FAX 番号 048-664-2733
電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

2019年度 第4回常務理事会議事録（抄）

日 時：2019年12月5日（木）
18：45～21：00
場 所：公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
事務所
出 席 者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一
常務理事：今出 克利、八木沢 英樹、
結城 朋子、城處 洋輔、
潮田 陽一
欠 席 者：富田 博信

ア. 日時：2019年11月30日（土）
イ. 場所：大宮ソニックシティ 会議室
(6) 第47回埼玉県医学検査学会へ参加した。
ア. 日時：2019年12月1日（日）
イ. 場所：大宮ソニックシティ
(7) あぜもと政経フォーラムへ出席した。
ア. 日時：2019年12月3日（火）
イ. 場所：ホテルニューオータニ
(8) 浦和明の星女子中学・高等学校を訪問した。
ア. 日時：2019年12月4日（水）
イ. 場所：浦和明の星女子中学・高等学校

第1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、堀江 好一
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中会長を議長に選出し、2019年度第4回常務理事会を開催した。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（田中）

- (1) 2019年度支部合同勉強会 in 熊谷へ参加した。
ア. 日時：2019年11月9日（土）
イ. 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
- (2) 埼玉県立入検査に同席した。
ア. 日時：2019年11月13日（水）
イ. 場所：技師会事務所
- (3) 栃木県診療放射線技師会創立70周年式典へ出席した。
ア. 日時：2019年11月23日（土）
イ. 場所：宇都宮ホテルイタヤ
- (4) 第35回日本診療放射線技師学術大会会計報告を行った。
ア. 日時：2019年11月25日（月）
イ. 場所：日本診療放射線技師会本部
- (5) 北関東会長会議に出席した。

2. 総務（結城）

- (1) 2019年度定期総会の日程について報告した。
ア. 日時：2020年6月14日（日）14：00から
イ. 場所：大宮ソニックシティ 会議室（予定）
- (2) 2020年度理事会開催日程変更について報告した。
ア. 第1回理事会
(ア) 日時：2020年5月28日（木）18：45から
(イ) 場所：技師会事務所

3. 総務（城處）

- (1)（公社）日本診療放射線技師会教育委員監事に就任した。

4. 編集情報（八木沢）

- (1) 会誌1月259号について報告した。
ア. 原稿締切：2019年12月2日（月）
イ. 内容
(ア) 誌上企画
トモシンセシスを用いた乳がん画像診断～現状と課題～
慶應義塾大学病院 根本 道子
TAVI術前計測～Bicuspid Aortic Valve編～
東京ベイ・浦安市川医療センター 小島 基揮
当院におけるCyberKnifeの現状
さいたま赤十字病院 鈴木 裕之

(イ) 技術解説 (賛助会員)

バイエル薬品株式会社

富士フィルム富山化学株式会社

日本放射線防禦株式会社(賛助会員さま投稿)

株式会社ドクターネット (広告のみ)

(ウ) 埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集

演題募集期間 11月11日から12月15日

(エ) 受賞にあたり

2019年秋叙勲受章(瑞宝双光章) :

小川 清

知事表彰: 大森 正司、矢崎 一郎、

平野 雅弥

(オ) 編集後記

渡辺 高広

(2) 会誌2号260号について報告した。

ア. 原稿締切: 2020年3月30日(月)

イ. 内容

(ア) 誌上企画

第5回診療放射線技師BRTセミナー【若手セミナー】抄録集

「救急医療に必要な診療放射線技師としての知識～他者の経験を自分のものに～」

①心電図を学ぼう～胸痛患者の心電図異常
～春日部市立医療センター 中嶋 幸孝

②三次救急症例から学んだ画像診断

さいたま赤十字病院 田中 里奈

③外傷診療における診療放射線技師の役割

国立病院機構 災害医療センター 萩原 健司

(イ) 定期総会資料

6. 公益 (佐々木)

(1) 3DWS 人体解剖体験について11月中旬に県内私立中学校へ広報を行った結果、現在2件の申し込みがあった。

(2) 体験講座の運用について、現在は(株)アミンの協力で行っているが、今後は当会単独での運用を検討する必要がある旨を報告した。

第3. 審議・承認事項 なし

次回、2019年度 第5回常務理事会予定2020年2月6日(木)

配布資料(メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 学術資料
- (3) 編集情報資料
- (4) 公益資料
- (5) 議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2019年12月5日(金)

議事録署名人 田中 宏(押印略)

堀江 好一(押印略)

5. 学術(今出)

(1) 2019年度支部合同勉強会 in くまがやに参加した。

ア. 日時: 2019年11月9日(土)

イ. 場所: 森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ

(2) 2019年度第18回胸部認定講習会を開催した。

ア. 日時: 2019年11月24日(日)

イ. 場所: 済生会川口総合病院

ウ. 参加人数: 19人

2019年度 第6回理事会議事録

- 日 時：2019年11月7日（木）
18：45から21：00
- 場 所：技師会事務所 2階 会議室
- 出席者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一、富田 博信
常務理事：今出 克利、八木沢 英樹、
潮田 陽一、佐々木 健、
結城 朋子、城處 洋輔
理 事：中根 淳、山田 智子、
清水 邦昭、紀陸 剛志、
大西 圭一、大野 渉、
矢崎 一郎、茂木 雅和
監 事：橋本 里見、浅野 克彦
顧 問：小川 清
- 欠 席 者：寺澤 和晶、双木 邦博、大野 哲治、
鈴木 正人（顧問）
2. 副会長（堀江）
 - (1) 今年度総会における理事監事変更の申請を埼玉県へ提出した。
 3. 総務（城處）
 - (1) 業務拡大に伴う統一講習会（第14回）を開催した。
 - ア. 日 時：2019年9月28日（土）、29日（日）
 - イ. 場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール
 - ウ. 参加者：63人
 - (3) 会員の被災状況調査について報告した。
 - ア. 被災者：1人
 4. 編集・情報（八木沢）
 - (1) 会誌2020年1月259号について報告した。
 - ア. 内容
 - (ア) 誌上企画
 - a. トモシンセシスを用いた乳がん画像診断～現状と課題～
慶應義塾大学病院 根本 道子
 - b. TAVI術前計測～Bicuspid Aortic Valve編～
東京ベイ・浦安市川医療センター 小島 基揮
 - c. 当院におけるCyberKnifeの現状
さいたま赤十字病院 鈴木 裕之
 - (イ) 技術解説（賛助会員）
 - a. バイエル薬品株式会社
 - b. 日本放射線防禦株式会社
 - c. 株式会社ドクターネット（広告のみ）
 - (ウ) 埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集
 - (エ) 受賞にあたり
 - イ. 2020年1月より、発行部数を1450部から1470部に増刷する。
 - (2) 会誌2020年5月260号について報告した。
 - ア. 原稿締切：2020年3月30日（月）
 - イ. 内容
 - (ア) 誌上企画 第5回診療放射線技師BRTセミナー 抄録集

第1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について

- 議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、橋本 里見
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（田中）
 - (1) 公衆衛生知事表彰授賞式に出席した。
 - ア. 日 時：2019年10月21日（月）
 - イ. 場 所：埼玉会館
 - ウ. 受賞者：矢崎一郎、大森正司、平野雅弥
(敬称略)
 - (2) 医療安全大会に参加した。
 - ア. 日時：2019年11月2日（土）
 - イ. 場所：大宮ソニックシティ大ホール
 - (3) 埼玉県の立入検査予定について報告した。
 - ア. 日時：2019年11月13日（水）
 - イ. 場所：技師会事務所

- a. 「救急医療に必要な診療放射線技師としての知識～他者の経験を自分のものに～」
 (a) 心電図を学ぼう～胸痛患者の心電図異常～ 春日部市立医療センター
 中嶋 幸孝
 (b) 三次救急症例から学んだ画像診断
 さいたま赤十字病院 田中 里奈
 (c) 外傷診療における診療放射線技師の役割 国立病院機構 災害医療センター 萩原 健司
- (イ) 定期総会資料
- (3) 第3回編集情報委員会を開催した。
 ア. 日時：2019年11月6日（水）
 イ. 場所：技師会事務所
 ウ. 内容：会誌校正、企画などについて
5. 編集・情報（清水）
- (1) 会員用 Web サイトへの掲載および更新を行った。
 ア. 2019年度 日本医用画像情報専門技師会主催「医用画像情報の管理・運用における実務者向けセミナー」浦和開催
 イ. 第80回埼玉 CT Technology Seminar 開催のご案内
 ウ. 会誌埼玉放射線バックナンバー 253号の掲載
 エ. 第7回埼玉県大腸 CT 研究会
 オ. 第六支部 第2回定期講習会のお知らせ
 カ. 第36回日本診療放射線技師学術大会 in Sendai
 キ. 第3回 DR 連合フォーラム
 ク. 第五支部情報交換会のお知らせ
 ケ. 第五支部親睦ゴルフコンペのご案内
 コ. R1年度 支部合同勉強会 in くまがや
 サ. (公社) 日本診療放射線技師会 災害対策委員会より
 【各都道府県 台風19号被災状況調査】のお知らせ
 シ. 2019年度 第18回胸部認定講習会のお知らせ
 ス. 第18回神奈川放射線学術大会
- セ. 2019年度 第11回 CT 認定講習会のお知らせ
 ソ. 第8回 Freed セミナーのご案内
- (2) 一般用 Web サイトへの掲載および更新を行った。
 ア. 会誌埼玉放射線バックナンバー 253号掲載
 イ. 診療放射線技師による出前授業「放射線について考えよう」の開催について
- (3) メールマガジンを配信した。
 ア. メールマガ No98 配信
 イ. 登録2件
6. 学術（今出）
- (1) 第2回学術委員会を開催した。
 ア. 日時：2019年10月10日（木）
 19:00 から 21:00
 イ. 場所：技師会事務所
 ウ. 内容（別紙議事録参照）
- (ア) 報告事項
 a. 第35回日本診療放射線技師学術大会開催報告
 b. 第5回理事会報告
 c. 各種認定講習会の進捗状況報告
- (イ) 審議事項
 a. 学術ナイトセミナー開催について
 b. 第33回埼玉県診療放射線技師学術大会について
7. 公益（佐々木）
- (1) 第3回公益委員会を開催した。（別紙議事録参照）
 ア. 日 時：2019年10月24日（木）19:00 から
 イ. 場 所：技師会事務所
 ウ. 参加者：12人
 エ. 内容
 (ア) 2019～2020年度担当について
 (イ) 昨年からの継続項目について
 (ウ) 報告事項
 a. 被ばく相談
 b. 被ばく相談事例検討会について
 c. 放射線特別授業について

- d. 学術大会について
- e. リレーフォーライフについて
- (エ) 協議事項
 - a. 第35回日本診療放射線技師学術大会市民公開学習について
 - b. 臓器移植キャンペーンについて
 - c. 中学生向けスライド作成について
 - d. 施設見学窓口について
- (2) 被ばく相談
 - ア. 8月：3件
 - イ. 9月：1件
 - ウ. 10月：1件
- 8. 公益（紀陸）
 - (1) 第35回日本診療放射線技師学術大会での3DWSの報告を行った。
 - ア. 日時：2019年9月14日（土）から16日（月・祝）
 - イ. 場所：大宮ソニックシティ
 - ウ. 参加人数：93人（一般市民：54人、学生：33人、放射線技師：16人）
- 9. 財務（潮田）
 - (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 - ア. 日時：2019年10月31日（木）
- 10. 第一支部（双木）
 - (1) 健康まつり 第1回説明会に出席した。
 - ア. 日時：2019年10月3日（木）
 - イ. 場所：浦和コミュニティセンター
 - (2) 健康まつり 第2回説明会に出席した。
 - ア. 日時：2019年11月2日（土）
 - イ. 場所：浦和コミュニティセンター
 - (3) 浦和区健康まつりに参加した。
 - ア. 日時：2019年11月3日（日）
 - イ. 場所：浦和コミュニティセンター
 - ウ. 内容：骨密度測定、パネル展示、放射線検査説明
 - エ. 参加者：14人（スタッフ）
 - オ. 測定人数：403人
- 11. 第二支部（大西）
 - (1) 2019年度支部合同勉強会 in くまがやの開催予定について報告した。
 - ア. 日時：2019年11月9日（土）
 - イ. 場所：森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテイジ
 - (2) 骨軟部撮影セミナー2020開催予定について報告した。
 - ア. 日時：2020年2月16日（日）
 - イ. 場所：済生会川口総合病院 東館講堂
- 12. 第三支部（大野）
 - (1) 第33回川越健康まつり第3回実行委員会へ出席した。
 - ア. 日時：2019年8月26日（月）13：30から
 - イ. 場所：川越市総合保健センター
 - ウ. 内容：催しもの、会場レイアウト、ポスター・チラシ、PRについて
 - (2) 第三支部役員会を開催した。
 - ア. 日時：2019年10月18日（金）18：30から19：30
 - イ. 場所：川越ボウリングセンター
 - ウ. 内容：第33回川越市健康まつりに関して
 - (3) 第三支部ボウリング大会を開催した。
 - ア. 日時：2019年10月18日（金）19：30から21：00
 - イ. 場所：川越ボウリングセンター
- 13. 第四支部（大野）
 - (1) 第四支部第2回勉強会を開催した。
 - ア. 日時：2019年9月26日（木）18：30から20：30
 - イ. 場所：さくらめいと第1会議室
 - ウ. 内容：四肢MRIについて
 - エ. 参加者：56人
 - (2) 第2回支部役員会を開催した。
 - ア. 日時：2019年9月26日（木）20：30から21：00
 - イ. 場所：さくらめいと第1会議室
 - ウ. 内容：深谷市健康まつり、支部合同勉強会、

支部忘年会について

エ. 参加者：6人

- (2) 清水文孝氏 瑞宝双光章を祝う会を開催した。

ア. 日時：2019年10月5日(土) 17:00から

イ. 場所：埼玉グランドホテル深谷

ウ. 参加者：183人

- (3) 第15回深谷市健康まつりに参加した。

ア. 日時：2019年10月27日(日)

10:00から15:00

イ. 場所：深谷市総合体育館およびその周辺施設

ウ. 内容：パネル展示、骨密度測定、被ばく相談、スーパーボール釣りなど

エ. 来場者：326人

14. 第五支部(矢崎)

- (1) 支部情報交換会を開催した。

ア. 日時：2019年10月24日(木)

イ. 場所：春日部市民活動センター 4階 会議室

ウ. 内容

(ア) MRECの基礎検討

草加市立病院 医療技術部放射線科

野口 舞

(イ) 頭部転移性脳腫瘍のMRI撮像プロトコル

草加市立病院 医療技術部放射線科

佐藤 広崇

(ウ) 当院の急性期脳梗塞におけるCTPの現状

草加市立病院 医療技術部放射線科

加藤 広一

- (2) 越谷市民祭りに参加した

ア. 日時：2019年10月27日(日)

イ. 場所：越谷市庁舎内

15. 第六支部(茂木)

- (1) 第2回支部役員会を開催した。

ア. 日時：2019年9月10日(火)

イ. 場所：埼玉県立小児医療センター

ウ. 内容：彩の国いききフェスティバル、定期講習会などについて

ウ. 参加者：12人

- (2) 第2回定期講習会を開催した。

ア. 日時：2019年10月17日(木)

イ. 場所：地域包括医療センター

ウ. 内容：他種職連携

(ア) 患者移乗・移動方法について

上尾中央総合病院

リハビリテーション技術科 石森 翔太

(イ) 腹部超音波検査について

指扇病院 臨床検査科 高津 公子

エ. 参加者：30人

第3. 審議・承認事項

- 第33回埼玉県診療放射線技師学術大会参加費について、資料を基に参加費の金額を審議し決定、反対意見などがなかったため承認した。(議案書番号：理-21) 承認
- 会誌埼玉放射線印刷製本会社選定について、2社の見積もり資料を基に審議し印刷会社を決定した。(議案書番号：理-22) 承認
- 第6回救急撮影ケーススタディー開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-23) 承認
- MR基礎講習会の開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-24) 承認
- 乳腺セミナー開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-25) 承認
- 第2回SART学術ナイトセミナー開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などはなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-26) 承認
- 新入会員の承認について資料を基に会員資格に

- について審議し承認した。(議案書番号：理-27) 承認
8. 2019年度役員研修会の開催について、資料を基に開催について審議し、反対意見はなかったため承認した。(議案書番号：理-28) 承認
 9. 2020年度表彰推薦者について、資料を基に表彰推薦者の推薦資格などを審議し承認した。(議案書番号：理-29)
 10. 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー（第22回SARTセミナー）開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-30)
 11. 第2回SART被ばく相談事例検討会の開催について、資料を基に予算案および開催について審議し、反対意見などがなかったため開催を承認した。(議案書番号：理-31) 承認
 12. 被災会員へのお見舞金支払いについて、資料を基に支払について審議し、反対意見がなかった

- ため承認した。(議案書番号：理-32) 承認
- 配布資料（メール配信を含む）
- (1) 会長資料
 - (2) 総務資料
 - (3) 財務資料
 - (4) 編集・情報委員会資料
 - (5) 学術資料
 - (6) 公益委員会資料
 - (7) 各支部資料（第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部）
 - (8) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2019年11月7日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）
橋本 里見（押印略）

2019年度 第7回理事会議事録（抄）

日 時：2020年1月9日（木）
18：45から21：00
場 所：技師会事務所 2階 会議室
出席者：会 長：田中 宏
副 会 長：堀江 好一、富田 博信
常務理事：今出 克利、八木沢 英樹、
潮田 陽一、佐々木 健、
結城 朋子、城處 洋輔
理 事：寺澤 和晶、山田 智子、
清水 邦昭、紀陸 剛志、
双木 邦博、大西 圭一、
大野 哲治、大野 渉、
矢崎 一郎、茂木 雅和
監 事：橋本 里見、浅野 克彦
欠 席 者：中根 淳、小川 清（顧問）、
鈴木 正人（顧問）

第1. 議事録作成、議事録署名人の選出について

議 長 田中 宏
議事録署名人 田中 宏、橋本 里見
議事録作成人 結城 朋子
と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（田中）

- (1) 2019年度支部合同勉強会 in くまがやに参加した。
ア. 日時：2019年11月9日（土）
イ. 場所：ホテルヘリテイジ 四季の湯温泉
- (2) 埼玉県の立入検査実施について報告した。
ア. 日時：2019年11月13日（水）
- (3) 栃木県診療放射線技師会創立70周年記念典に出席した。
ア. 日時：2019年11月23日（土）
イ. 場所：宇都宮ホテルイタヤ
- (4) 第35回JCRT会計についてJART理事会で報告した。
ア. 日時：2019年11月25日（月）
イ. 場所：JART本部
- (5) 北関東地域拡大会長会議に出席した。
ア. 日時：2019年11月30日（土）

- イ. 場所：大宮ソニックシティ
- (6) 第47回埼玉県医学検査学会に参加した。
ア. 日時：2019年12月1日（日）
イ. 場所：大宮ソニックシティ
- (7) あぜもと政経フォーラムへ参加した。
ア. 日時：2019年12月3日（火）
イ. 場所：ホテルニューオータニ
- (8) 浦和明の星女子中学・高等学校を訪問した。
ア. 日時：2019年12月4日（水）
イ. 場所：浦和明の星女子中学・高等学校
- (9) 三ツ林裕巳励ます会へ出席した
ア. 日時：2019年12月12日（木）
イ. 場所：東京プリンスホテル
- (10) 台風19号義援金への参加をお願いした。

2. 副会長（堀江）

- (1) 北関東地域拡大会長会議に出席した。
ア. 日時：2019年11月30日（土）
イ. 場所：大宮ソニックシティ

3. 編集・情報（八木沢）

- (1) 会誌2020年1月260号について報告した。
ア. 原稿締切：2020年3月30日（月）
イ. 内容
(ア) 誌上講座
a. トモシンセシスを用いた乳がん画像診断～現状と課題～
慶應義塾大学病院 根本 道子
b. 第5回診療放射線技師BRTセミナー
【若手セミナー】抄録集
「救急医療に必要な診療放射線技師としての知識～他者の経験を自分のものに～」
(a) 心電図を学ぼう～胸痛患者の心電図異常～
春日部市立医療センター 中嶋 幸孝
(b) 三次救急症例から学んだ画像診断
さいたま赤十字病院 田中 里奈
(c) 外傷診療における診療放射線技師の役割国立病院機構
災害医療センター 萩原 健司
(イ) 技術解説（賛助会員）

- a. バイエル薬品株式会社
 - (ウ) 定期総会資料
 - (3) 委員会開催予定について報告した。
 - ア. 編集情報委員会
 - (ア) 2019年度
 - a. 第4回：2020年1月15日(水)
 - b. 第5回：2020年3月18日(水)
 - (イ) 2020年度
 - a. 第1回：2020年5月13日(水)
 - b. 第2回：2020年7月8日(水)
 - (ウ) 場所：技師会事務所2階 19：00から
 - (エ) 内容：会誌校正・企画など
 - イ. 企画班
 - (ア) 2019年度
 - a. 第2回：2020年2月12日(水)
 - (イ) 2020年度
 - a. 第1回：2020年6月17日(水)
 - b. 第2回：2020年8月5日(水)
 - c. 第3回：2020年11月18日(水)
 - (ウ) 場所：技師会事務所2階 19：00から
 - (エ) 内容：会誌企画など
4. 編集・情報 (清水)
 - (1) 会員用 Web サイトへの掲載および更新を行った。
 - ア. (公社)宮城県放射線技師会「第2支部 総会・研修会」
 - イ. 2019年11月29日(金)(公社)宮城県放射線技師会「第2支部 総会・研修会」
 - ウ. 日本医用画像管理学会 第3回 PACS Administrator Seminar 開催のお知らせ
 - エ. 第81回 埼玉CT Technology Seminar 開催案内
 - オ. 第33回 埼玉県診療放射線技師学術大会 開催案内
 - カ. 第82回 埼玉CT Technology Seminar 学術集会のご案内
 - キ. 2019年度第3回 関東 Angio 研究会のお知らせ
 - ク. 2019年度 埼玉県診療放射線技師会認定試験
 - ケ. 第18回胸部認定試験開催のお知らせ
 - コ. 会誌埼玉放射線バックナンバー 254号の掲載
 - サ. 埼玉消化管撮影研究会のお知らせ
 - シ. 第47回埼玉県医学検査学会のお知らせ
 - ス. 第2回 Pediatric CT 研究会
 - セ. 2019年度 第18回上部消化管検査認定講習会のお知らせ
 - ソ. 第2回 SART 被ばく相談事例検討会のご案内
 - タ. 乳腺セミナー開催のお知らせ
 - チ. 第2回 SART 学術ナイトセミナー～専門家が教えるこれだけは知って欲しい撮影技術～
 - ツ. 2020年『新春の集い』のご案内
 - テ. 2019年度 第6回救急撮影ケーススタディのお知らせ
 - ト. 2020年度 診療放射線技師のためのフレックスセミナー(第22回SARTセミナー)
 - (2) 一般用 Web サイトへの掲載および更新を行った。
 - ア. 会誌埼玉放射線バックナンバー 254号掲載
 - イ. 3Dワークステーション人体解剖学体験特別授業について
 - (3) メールマガジンを配信した。
 - ア. メルマガ No99 配信
 - イ. 登録2件
5. 学術 (今出)
 - (1) 2019年度支部合同勉強会 in くまがやに参加した。
 - ア. 日時：2019年11月9日(土)
 - イ. 場所：ホテルヘリテージ 四季の湯温泉
 - (2) 2019年度第18回胸部認定講習会を開催した。(資料参照)
 - ア. 日時：2019年11月24日(日)
 - イ. 場所：済生会川口総合病院 講堂
 - ウ. 参加者：19人
 - (3) 第3回学術委員会(プログラム委員会)を開催した。
 - ア. 日時：2019年12月17日(火)
 - イ. 場所：技師会事務所2階
 - ウ. 内容：学術大会について
 - (ア) プログラムの審議・承認、ポスターの審議・承認について。
 - (イ) 一般演題採択、採択メール送信作業の実施
 - (ウ) 一般演題座長推薦について
 - (4) 今後予定している講習会などについて報告した。

- ア. 第8回 Freed セミナー
 (ア) 日時: 2020年1月11日(土)
 (イ) 場所: 上尾中央総合病院
- イ. 第18回胸部認定試験
 (ア) 日時: 2020年1月18日(土)
 (イ) 場所: 技師会事務所 2階
- ウ. 第11回 CT 認定講習会
 (ア) 日時: 2020年1月19日(日)
 (イ) 場所: 済生会川口総合病院 講堂
- エ. 第2回 SART 学術ナイトセミナー
 (ア) 日時: 2020年1月24日(金)
 (イ) 場所: 桶川市民ホール 響の森 プチホール
- オ. 第18回上部消化管認定講習会
 (ア) 日時: 2020年2月11日(火・祝)
 (イ) 場所: さいたま赤十字病院
- カ. 乳腺セミナー(読影)
 (ア) 日時: 2020年2月16日(日)
 (イ) 場所: さいたま赤十字病院
- キ. 第33回埼玉県診療放射線技師学術大会
 (ア) 日時: 2020年3月1日(日)
 (イ) 場所: 大宮ソニックシティ
- ク. 救急撮影ケーススタディ
 (ア) 日時: 2020年3月14日(土)
 (イ) 場所: 上尾中央総合病院 臨床研修センター
- ケ. MRI 基礎講習会
 (ア) 日時: 2020年3月29日(日)
 (イ) 場所: 桶川市民ホール 響の森 大会議室
- コ. 第11回 CT 認定試験
 (ア) 日時: 2月中
 (イ) 場所: 未定
- サ. 第18回上部消化管認定試験
 (ア) 日時: 3月下旬
 (イ) 場所: 技師会事務所 2階
6. 公益(佐々木)
 (1) 放射線特別授業の広報および申し込み状況について報告した。
 ア. 11月初旬から中旬にかけて県内の県立高校、私立中学・高校へ広報を行った。
 イ. 埼玉栄高校(2月15日)から申し込みあり。
 (2) 3DWS 人体解剖体験の広報および申し込み状況、今後の運用方法について報告した。
- ア. 11月中旬に県内市中・高校へ広報を行った。
 イ. 浦和明の星(1月25日)、埼玉栄高校(2月22日)県内私立中学より申し込みあり。
 ウ. 体験講座運用方法について
 (ア) 新たに iPad3 台、OsiriX、RadiAnt DICOM を購入、これらを使用して行っていく。
 (3) 被ばく相談
 ア. 11月: 1件
 イ. 12月: 1件
 (4) 埼玉県診療放射線技師学術大会における公益企画について報告した。
 ア. 『まだ間に合う!放射線被ばく管理の下準備』
 (5) 被ばく相談事例検討会開催予定について報告した。
 ア. 日時: 2020年3月14日(土)
 17:30 から 20:00
 イ. 場所: 上尾中央総合病院 臨床研修センター
- (6) 委員会開催予定について報告した。
 ア. 日時: 2020年1月23日(木) 19:00 から
 イ. 場所: 技師会事務所 2階
7. 財務(潮田)
 (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 ア. 日時: 2019年12月28日(土)
 (2) 今年度会計の減価償却の現状について報告した。
8. 第一支部(双木)
 (1) 「宮澤浩治氏、富田博信氏、結城朋子氏の受賞を祝う会」開催予定について報告した。
 ア. 日時: 2020年2月9日(日) 16:00 開演
 イ. 場所: ベルヴィ武蔵野 2階 アール・ブラン
 (2) 第一支部勉強会開催予定について報告した。
 ア. 日時: 2020年3月
 イ. 場所: さいたま市立病院
9. 第二支部(大西)
 (1) 2019年度支部合同勉強会 in くまがやを開催した。
 ア. 日時: 2019年11月9日(土)
 イ. 場所: 森林公園 四季の湯温泉 ホテル・ヘリテージ
 ウ. 内容
 総合司会 田中 里奈 さいたま赤十字病院

- (ア) 支部合同 セッション『読影力向上セミナー』
- a. 座長 東松山市民病院 増渕 康太
大宮中央総合病院 小屋 匠
- b. 『胸部読影～超基礎入門～』
上尾中央総合病院 茂木 大哉
- c. 『RI 検査での読影力向上』
羽生総合病院 新井 拓也
- d. 『MMG の基礎～読影編～』
さいたま赤十字病院 館沼 理保奈
- (イ) 技師講演 『今さら聞けない○○』
- a. 座長 羽生総合病院 大野 涉
- b. 『今さら聞けない肝臓区域と手術支援』
上尾中央総合病院 仲西 一真
- c. 『今さら聞けない放射線被ばくと相談事例』
深谷赤十字病院 坂本 里紗
白岡中央総合病院 石田 仁子
- (ウ) 技師講演 (2) 『法改正に向けて～各施設でやらなきゃならない事～』
- a. 座長 上尾中央総合病院 金野 元樹
- b. 『医療法一部改正の内容と安全管理体制の構築について』
越谷市立病院 矢部 智
- c. 『実際の運用について ～現場はどうすればいいの?～』
埼玉医科大学病院 紀陸 剛志
- (エ) 基調講演 『温故知新!これが私の原点』
～自分が将来、どんな技師になるのか?を考えよう～』
- a. 座長 済生会栗橋病院 内海 将人
- b. 講師 さいたま市民医療センター
今出 克利
JCHO さいたま北部医療センター
堀江 好一様
10. 第三支部 (大野)
- (1) 第33回川越健康まつりへ参加した。
- ア. 日時: 2190年11月10日(日)
10:00から16:00
- イ. 場所: ウェスタ川越
- ウ. 内容: 医療画像展・骨密度測定(380人ほど)・被ばく相談
- (2) 第33回川越健康まつりへ実行委員会出席予定について報告した。
- ア. 日時: 2020年1月16日(木) 13:30から
- イ. 場所: 川越市保健センター 1階地域活動室
- ウ. 内容: 事業報告および実施報告など
- (3) 第三支部新年会開催予定について報告した。
- ア. 日時: 2020年1月24日(金)
- イ. 場所: GRILL&BEER SAIBOKU
- (4) 第4回役員会開催予定について報告した。
- ア. 日時: 2020年1月下旬
- イ. 場所: 埼玉医科大学総合医療センター 会議室
- ウ. 内容: 総会、勉強会について
- (5) 勉強会、総会開催予定について報告した。
- ア. 日時: 2020年3月19日(木)
- イ. 場所: ウェスタ川越 市民活動・生涯学習施設 会議室1
- ウ. 内容: 2019年度第三支部総会、第2回勉強会
11. 第四支部 (大野)
- (1) 2019年度支部合同勉強会 in くまがやに参加した。
- ア. 日時: 2019年11月9日(土)
- イ. 場所: ホテルヘリテイジ 四季の湯温泉
- ウ. 内容:
- (ア) 支部セッション『読影力向上セミナー』
- (イ) 今さら聞けない○○
- (ウ) 法改正に向けて～各施設でやらなきゃならない事～
- (エ) 温故知新!これが私の原点～自分が将来、どんな技師になるのか?を考えよう～
- (2) 支部忘年会を開催した。
- ア. 日時: 2019年11月29日(金) 19:00から
- イ. 場所: マロウドイン熊谷
- ウ. 参加者: 74人
- (3) 第3回勉強会開催予定について報告した。
- ア. 日時: 2020年年1月23日(木)
18:30から20:30
- イ. 場所: さくらめいと第1会議室
- ウ. 内容: CT 関連
- (4) 小川清氏 瑞宝双光章を祝う会開催予定について報告した。
- ア. 日時: 2020年2月9日(土) 18:00開演
- イ. 場所: ラフレさいたま 「櫻ホール」

- (5) 支部監査会開催予定について報告した。
 - ア. 日時：2020年2月21日（金）
19：00 から 20：00
 - イ. 場所：熊谷総合病院
- 12. 第五支部（矢崎）
 - (1) 支部情報交換会を開催した。
 - ア. 日時：2019年11月28日（木）
 - イ. 場所：春日部市民活動センター 4階 会議室
 - ウ. 内容
 - (ア) Monaco AGL のご紹介
エレクトラ株式会社 入山 絵梨
 - (イ) キヤノンCT 最新技術紹介
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
穴見 和寛
 - (2) 越谷市民祭りおよびぼぼらフェスティバル会計報告（資料参照）
 - (3) 支部情報交換会開催予定について報告した。
 - ア. 日時：2020年1月23日（木）
 - イ. 場所：春日部市民活動センター 4階 会議室
 - ウ. 内容：未定
- 13. 第六支部（茂木）
 - (1) 2019年度支部合同勉強会 in くまがやに参加した。
 - ア. 日時：2019年11月9日（土）
 - イ. 場所：ホテルヘリテージ 四季の湯温泉
 - ウ. 内容：
 - (ア) 支部セッション『読影力向上セミナー』
 - (イ) 今さら聞けない〇〇
 - (ウ) 法改正に向けて～各施設でやらなきゃならない事～
 - (エ) 温故知新！これが私の原点～自分が将来、どんな技師になるのか？を考えよう～
 - (2) 彩の国いきいきフェスティバルに参加した。
 - ア. 日時：2019年11月17日（日）
 - イ. 場所：埼玉県民活動総合センター
 - ウ. 内容：パネル展示と説明、放射線医療の啓蒙活動、骨密度測定
 - エ. 参加人数：7人（役員）
 - オ. 来場者数：骨密度測定 166人、パネル閲覧/放射線クイズ 64人

- (3) 支部忘年会を開催した。
 - ア. 日時：2019年12月5日（木）19：00 から
 - イ. 場所：遊食 東山庵 大宮店
 - ウ. 参加者：29人
- (4) 役員会開催予定について報告した。
 - ア. 日時：2020年1月16日（木）19：00 から
 - イ. 場所：埼玉県立小児医療センター
 - ウ. 内容：四半期報告、定期総会、定期講習会について
- (5) 支部定期総会および第3回定期講習会開催予定について報告した。
 - ア. 日時：2020年2月27日（木）
 - イ. 場所：埼玉県立小児医療センター 地域医療教育センター研修室
 - ウ. 内容
 - (ア) 定期総会
 - (イ) 定期講習会
 - a. 救急CT、MRIのポイント

第3. 審議・承認事項

No.	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	「3D ワークステーションを用いた人体解剖学体験」講師料について	無	3	2	承認	会議当日動議により議案として取り上げた	理-34

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 会長資料
- (2) 財務資料
- (3) 編集・情報委員会資料
- (4) 学術資料
- (5) 公益委員会資料
- (6) 各支部資料（第一支部、第二支部、第三支部、第四支部、第五支部、第六支部）
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2019年1月9日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）
橋本 里見（押印略）

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

2019・2020 年度役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	h-tanaka@sart.jp
副会長	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
副会長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
常務理事(総務)	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
常務理事(総務)	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
常務理事(財務)	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
常務理事(編集・情報)	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
理事(学術)	山田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
理事(学術)	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院	048-852-1111	kazuaki-terasawa@sart.jp
理事(学術)	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(公益)	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
理事(総務)第一支部	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
理事(総務)第二支部	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
理事(総務)第三支部	大野 哲治	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	tetsuji-ohno@sart.jp
理事(総務)第四支部	大野 涉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
理事(総務)第五支部	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
理事(総務)第六支部	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	橋本 里見			s-hashimoto@sart.jp
監事	浅野 克彦	参議院議員公設第一秘書		katsuhiko-asano@sart.jp
顧問	小川 清	群馬パース大学		k-ogawa@sart.jp
顧問	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
副委員長	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	大野 哲治	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	tetsuji-ohno@sart.jp
委員	大野 涉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	t-tanaka@sart.jp
委員	矢部 智	越谷市立病院	048-965-2221	s-yabe@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp
委員	齋藤 幸夫	深谷赤十字病院	048-571-1511	y-saito@sart.jp

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	さいたま市民医療センター	048-626-0011	k-imade@sart.jp
副委員長	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院	048-852-1111	kazuaki-terasawa@sart.jp
副委員長	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
副委員長	山田 智子	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-okada@sart.jp
委員	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
委員	土田 拓治	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-tsuchida@sart.jp
委員	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	大森 正司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	s-omori@sart.jp
委員	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
委員	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	a-kondou@sart.jp
委員	滝口 泰徳	上尾中央総合病院	048-773-1111	y-takiguchi@sart.jp
委員	伊藤 寿哉	埼玉石心会病院	04-2953-6611	t-itou@sart.jp
委員	大根田 純	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	jun-oneda@sart.jp
委員	亀山 枝里	熊谷総合病院	048-521-0065	eri-kameyama@sart.jp
委員	持田 朋之	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	tomoyuki-mochida@sart.jp
委員	妹尾 大樹	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-7702	taiki-senoo@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
委員	渡部 伸樹	さいたま赤十字病院	048-852-1111	nobuki-watanabe@sart.jp
委員	堀越 隆之	大宮シテイクリニック	048-645-1256	takayuki-horikoshi@sart.jp
委員	渡辺 嵩広	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takahiro-watanabe@sart.jp

編集・情報委員会（企画班委員）

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員	河原 剛	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	takeshi-kawahara@sart.jp
委員	眞壁 耕平	済生会川口総合病院	048-253-1551	k-makabe@sart.jp
委員	渡辺 嵩広	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takahiro-watanabe@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
委員	芦葉 弘志	丸山記念総合病院	048-757-3511	h-ashiba@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	内海 将人	済生会栗橋病院	0480-52-3611	m-uchiumi@sart.jp
委員	矢島 慧介	上尾中央総合病院	048-773-1111	k-yajima@sart.jp
委員	眞壁 耕平	済生会川口総合病院	048-253-1551	k-makabe@sart.jp
委員	石田 仁子	白岡中央総合病院	0480-93-0661	kimiko-ishida@sart.jp
委員	坂本 里紗	深谷赤十字病院	048-571-1511	risa-sakamoto@sart.jp
委員	大河原侑司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuji-okawara@sart.jp
委員	内田 瑛基	上尾中央総合病院	048-773-1111	eiki-uchida@sart.jp
委員	佐藤 克哉	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	katsuya-sato@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会を申し込みます。

フリガナ		性 別 男・女	生	年	月	日
氏 名			西暦	年	月	日

<p style="text-align: center;">1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
---	---------------	--

フリガナ		TEL	—	—
勤務先名				
フリガナ	〒			
勤務先住所				
フリガナ	〒	TEL	—	—
自宅住所				
E-mail (携帯不可)				

会誌送付先	① 勤務先 ② 自宅	所属支部（地区）
-------	-----------------	----------

診療放射線 技師免許	国家試験	第 回 合格
	登録	第 号 年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦 年 月
	卒業年月日	西暦 年 月
	学校	

関連分野の 最終学歴	学位	ある なし
	学位記番号	
	授与年月	
	授与機関	

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39
TEL 048-664-2728
FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注1) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

注2) 滞納している会費がある場合にはお支払いください。

決算処理

埼放技	
日放技	

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信致しますので、よろしくお願い致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名
	施設名
	〒 施設住所

*郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会員登録変更届

年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入ください			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入ください	
	ふりがな 自宅住所	〒 - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - TEL - -	
	ふりがな 改 姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

2020年度

埼玉県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会など 年間スケジュール表

2020年度(5-7) 予定											
5月		埼玉放技	日放技など	6月		埼玉放技	日放技など	7月		埼玉放技	日放技など
1	金			1	月			1	水		
2	土			2	火			2	木		
3	日			3	水			3	金		
4	月			4	木			4	土		
5	火			5	金			5	日		
6	水			6	土	JART 定期総会		6	月		
7	木			7	日			7	火		
8	金			8	月			8	水		
9	土			9	火			9	木		
10	日			10	水			10	金		
11	月			11	木			11	土		
12	火			12	金			12	日		
13	水			13	土			13	月		
14	木			14	日	SART 定期総会		14	火		
15	金			15	月			15	水		
16	土			16	火			16	木		
17	日			17	水			17	金		
18	月			18	木			18	土		
19	火			19	金			19	日		
20	水			20	土			20	月		
21	木			21	日			21	火		
22	金			22	月			22	水		
23	土			23	火			23	木		
24	日			24	水			24	金		
25	月			25	木			25	土		
26	火			26	金			26	日		
27	水			27	土			27	月		
28	木			28	日			28	火		
29	金			29	月			29	水		
30	土			30	火			30	木		
31	日							31	金		

2020年度(8-10) 予定											
8月		埼玉放技	日放技など	9月		埼玉放技	日放技など	10月		埼玉放技	日放技など
1	土			1	火			1	木		
2	日			2	水			2	金		
3	月			3	木			3	土		
4	火			4	金			4	日		
5	水			5	土			5	月		
6	木			6	日			6	火		
7	金			7	月			7	水		
8	土			8	火			8	木		
9	日			9	水			9	金		
10	月			10	木			10	土		
11	火			11	金			11	日		
12	水			12	土			12	月		
13	木			13	日			13	火		
14	金			14	月			14	水		
15	土			15	火			15	木		
16	日			16	水			16	金		
17	月			17	木			17	土		
18	火			18	金			18	日		
19	水			19	土			19	月		
20	木			20	日			20	火		
21	金			21	月			21	水		
22	土			22	火			22	木		
23	日			23	水			23	金		
24	月			24	木			24	土	第36回日本診療放射線技師学術大会(宮城県)	
25	火			25	金			25	日		
26	水			26	土			26	月		
27	木			27	日			27	火		
28	金			28	月			28	水		
29	土			29	火			29	木		
30	日			30	水			30	金		
31	月							31	土		

—編 集 後 記—

4月より、各施設に新人・転勤者が新しい仲間として加わり約1カ月がすぎようとしている頃だと思えます。さまざまな年代・性格の方と働くことは良くも悪くも刺激になります。物事の考え方が同じ仲間と一緒にいると固定化されてしまうことがあるためです。人の動きがあると組織環境・人間関係なども大きく変わってきます。とある医療系の退職者アンケートによると「退職理由」として、(1位)人間関係…24.2% (2位)会社の将来が不安だった…20.6% (3位)キャリアアップできない環境だった…19.3% なぜ退職理由なのかというと、個人の問題もあるが、職場環境の改善が進んでいないところほど離職者が多いからです。1位である人間関係は、皆さんも同感とするところだと思えます。人間関係は職場環境と密接に関係しています。少しでも環境を良くするためには、部内での進むべき指針などを明確に示して、一人ひとりが仕事また職場の雰囲気などについて話しやすい環境づくりが必要であると感じます。改善ないところに良い人間関係・環境は作れないからです。スキルアップに関しては、日本診療放射線技師会・埼玉県診療放射線技師会・各研究会などで盛んに勉強会・各種認定などを行っているので利用していただければと思います。勉強会など参加で他施設の仲間を作っていただき広い視野を持つのも楽しみの一つだと思います。自分の施設にこもらず、たまには外の景色も見てください。きっと何かが変わるはずですよ。(くろヤギ)

お詫びと訂正

109ページの「会員の動向」における新入会の技師会番号2057の氏名です。

市川愛梨沙 (誤) ⇒ 市村愛梨沙 (正)

『川』が間違いで、正しくは『村』でした。

表紙の解説

「春」

写真提供 吉田 敦 氏

埼玉放射線 第260号

印刷	2020年5月19日
発行日	2020年5月25日
発行所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp
発行人	公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会 長 田 中 宏 編集代表 八木沢 英樹
編集委員	清水 邦昭 大友 哲也 吉田 敦 宮崎 雄二 潮田 陽一 渡部 伸樹 堀越 隆之 肥沼 武司 渡辺 嵩広
表紙デザイン	肥沼 武司
印刷	〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 望月印刷株式会社 電話 048-840-2111

事 務 所

〒331-0812

さいたま市北区宮原町2丁目51番39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

電 話 048-664-2728 FAX 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡 辺 弘

事務員 植 松 敏 江

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00



写真提供 「コロナに負けない」 肥沼 武司 氏



〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

<http://www.sart.jp>

sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格 1,000円(会誌購読料は会費に含まれる)

